

令和8年度 1年 国語 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	1学年 生徒20名		くらしに役立つ国語

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりするようにする。 (思判表力) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。 (学・人) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期 (1-3)	2	(知及技) ・社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。 (思判表力) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。 (学・人) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようとする。	(知・技) ・社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。 (思・判・表) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 (主学) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようとする。	・自己紹介文をつくろう	・自分についての紹介文を作成し、互いに発表する。 ・インタビューを通して互いのことを知る。
	1	(知及技) ・文章の構成や内容の大体を意識しながら音読したり、朗読したりすることができる。 (思判表力) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。 (学・人) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようとする。	(知・技) ・文章の構成や内容の大体を意識しながら音読したり、朗読したりしている。 (思・判・表) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 (主学) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようとする。	・詩を書こう	・いろいろな詩のリズムや表現に触れながら、朗読する。 ・「平和について」詩を作成する。
	3	(知及技) ・情報と情報との関係付けの仕方を理解し使うことができる。 (思判表力) ・文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめることができる。 (学・人) ・文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめようとする。	(知・技) ・情報と情報との関係付けの仕方を理解し使っている。 (思・判・表) ・文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめている。 (主学) ・文章を読んで理解したことに基いて、自分の考えをまとめようとしている。	・新聞を読もう	・グループを編成し、地域に関わるさまざまなことをタブレットなどで調べる。 ・興味ある記事を選び、要約し感想をまとめる。
	2	(知及技) ・用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列など決めて書くことができる。 (思判表力) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。 (学・人) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようとする。	(知・技) ・用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列など決めて書いている。 (思・判・表) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 (主学) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようとしている。	・暑中見舞い	・暑中見舞いを書くことをとおして、はがきや封書など、郵便について理解する。 ・手紙や SNS などの利用の仕方を学び、コミュニケーションの大切さや楽しさを理解する。
	5	(知及技) ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、語や文章の中で使うとともに、語意を豊かにすることができる。 (思判表力) ・話し手の目的や自分の聞きたいこと、中心を捉えることができる。 (学・人) ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高めようとする。	(知・技) ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、語や文章の中で使うとともに、語意を豊かにしている。 (思・判・表) ・話し手の目的や自分の聞きたいこと、中心を捉えている。 (主学) ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高めようとしている。	・言葉の学習①	・小学校高学年程度の漢字を学習する。 ・慣用句・四字熟語・ことわざを学習する。 ・新聞スクラップ

2 学期 (14)	2	<p>(知及技) ・親しみやすい古文の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 (思判表力) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。 (学・人) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようとする事ができる。</p>	<p>(知・技) ・親しみやすい古文の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。 (思・判・表) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 (主学) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようとしている。</p>	・俳句を作ろう	・17音の形式を理解し、俳句を詠むことができる。
	4	<p>(知及技) ・目的に応じて使用する筆記用具を選び、その特徴を生かして書くことができる。 (思判表力) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。 (学・人) ・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫しようとする事ができる。</p>	<p>(知・技) ・目的に応じて使用する筆記用具を選び、その特徴を生かして書いている。 (思・判・表) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 (主学) ・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫しようとしている。</p>	・自分新聞を作ろう	<p>・自分に関わる事柄の中から、記事の材料やレイアウトなどを決める。 ・模造紙1枚にまとめて清書し、発表する。</p>
	3	<p>(知及技) ・用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列など決めて書くことができる。 (思判表力) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。 (学・人) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようとする事ができる。</p>	<p>(知・技) ・用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列など決めて書いている。 (思・判・表) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 (主学) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようとしている。</p>	・お礼状を書く	<p>・お礼状の形式に則って文章を作成する。 ・封筒の表記の仕方を覚える。</p>
	5	<p>(知及技) ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、語や文章の中で使うとともに、語意を豊かにすることができる。 (思判表力) ・話し手の目的や自分の聞きたいことの中心を捉えることができる。 (学・人) ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高めようとする事ができる。</p>	<p>(知・技) ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、語や文章の中で使うとともに、語意を豊かにしている。 (思・判・表) ・話し手の目的や自分の聞きたいことの中心を捉えている。 (主学) ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高めようとしている。</p>	・言葉の学習②	<p>・小学校高学年程度の漢字を学習する。 ・慣用語・四字熟語・ことわざを学習する。 ・新聞スクラップ</p>
3 学期 (8)	2	<p>(知及技) ・親しみやすい古文の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 (思判表力) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。 (学・人) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようとする事ができる。</p>	<p>(知・技) ・親しみやすい古文の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。 (思・判・表) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 (主学) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようとしている。</p>	・百人一首かるた	<p>・短歌の形式を理解し、有名な作品を鑑賞する。 ・百人一首でゲームを行う。</p>
	2	<p>(知及技) ・社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる動きがあることに気づくことができる。 (思判表力) ・話し手の目的や自分の聞きたいことの中心を捉えることができる。 (学・人) ・互いの立場や意図を明確にしなが、計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしようとする事ができる。</p>	<p>(知・技) ・社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる動きがあることに気づいている。 (思・判・表) ・話し手の目的や自分の聞きたいことの中心を捉えている。 (主学) ・互いの立場や意図を明確にしなが、計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしようとしている。</p>	<p>・身近なテーマに沿って話し合ってみよう</p>	<p>・グループを作り、身近なテーマで話し合う。 ・模造紙にそれぞれの意見と結論がどうなったかをまとめる。 ・ワークシートを用いて、それぞれメモを取りながら話し合いを進める。</p>
	4	<p>(知及技) ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、語や文章の中で使うとともに、語意を豊かにすることができる。 (思判表力) ・話し手の目的や自分の聞きたいことの中心を捉えることができる。 (学・人) ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高めようとする事ができる。</p>	<p>(知・技) ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、語や文章の中で使うとともに、語意を豊かにしている。 (思・判・表) ・話し手の目的や自分の聞きたいことの中心を捉えている。 (主学) ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高めようとしている。</p>	・言葉の学習③	<p>・小学校高学年程度の漢字を学習する。 ・慣用語・四字熟語・ことわざを学習する。 ・新聞スクラップ</p>
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 2年 国語 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	2学年 生徒20名		くらしに役立つ国語

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりできるようにする。 (思判表力) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。 (学・人) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期 (26)	5	(知及技) ・社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。 (思判表力) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。 (学・人) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようとするすることができる。	(知・技) ・社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。 (思・判・表) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 (主学) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようとするすることができる。	・他己紹介	・インタビューを通して互いのことを知る。 ・インタビューした相手についての紹介文を作成し、発表する。
	1	(知及技) ・文章の構成や内容の大体を意識しながら音読したり、朗読したりすることができる。 (思判表力) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。 (学・人) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようとするすることができる。	(知・技) ・文章の構成や内容の大体を意識しながら音読したり、朗読したりしている。 (思・判・表) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 (主学) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようとするすることができる。	・詩を書こう	・いろいろな詩のリズムや表現に触れながら、朗読をする。 ・「平和について」詩を作成する。
	6	(知及技) ・文章を音読したり、朗読したりすることができる。 (思判表力) ・登場人物の相互関係や心情などについて、描写をもとに捉えることができる。 (学・人) ・人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしようとするすることができる。	(知・技) ・文章を音読したり、朗読したりしている。 (思・判・表) ・登場人物の相互関係や心情などについて、描写をもとに捉えている。 (主学) ・人物像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしようとしている。	・物語を読もう	・物語文とその他の作品を数点取り上げて、その違いを知るとともに、現実と虚構について考える機会とする。
	4	(知及技) ・用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列など決めて書くことができる。 (思判表力) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。 (学・人) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようとするすることができる。	(知・技) ・用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列など決めて書いている。 (思・判・表) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 (主学) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようとしている。	・お礼状を書く	・お礼状を書くことをとおして、はがきや封書など、郵便について理解する。 ・手紙や SNS などの利用の仕方を学び、コミュニケーションの大切さや楽しさを理解する。
	10	(知及技) ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、語や文章の中で使うとともに、語意を豊かにすることができる。 (思判表力) ・話し手の目的や自分の聞きたいことの内容を捉えることができる。 (学・人) ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高めようとするすることができる。	(知・技) ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、語や文章の中で使うとともに、語意を豊かにしている。 (思・判・表) ・話し手の目的や自分の聞きたいことの内容を捉えている。 (主学) ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高めようとしている。	・言葉の学習①	・小学校高学年程度の漢字を学習する。 ・慣用句・四字熟語・ことわざを学習する。 ・新聞スクラップ

2 学期 (28)	4	(知及技) ・親しみやすい古文の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 (思判表力) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。 (学・人) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようすることができる。	(知・技) ・親しみやすい古文の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。 (思・判・表) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 (主学) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようとしている。	・短歌を作ろう	・31音の形式を理解し、短歌を詠むことができる。
	8	(知及技) ・情報と情報との関係付けの仕方を理解し使うことができる。 (思判表力) ・目的や意図に応じて、話題を決め、集めた材料を比較して伝え合う内容を検討することができる。 (学・人) ・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫しようすることができる。	(知・技) ・情報と情報との関係付けの仕方を理解し使っている。 (思・判・表) ・目的や意図に応じて、話題を決め、集めた材料を比較して伝え合う内容を検討している。 (主学) ・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫しようとしている。	・修学旅行先について調べよう	・各々の iPad を使いながら、グループごとに修学旅行先のことについて調べる。 ・修学旅行の記憶をたどりながら、感想文を書く。
	6	(知及技) ・用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列など決めて書くことができる。 (思判表力) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。 (学・人) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようすることができる。	(知・技) ・用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列など決めて書いている。 (思・判・表) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 (主学) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようとしている。	・お礼状を書く	・お礼状の形式に則って文章を作成する。 ・封筒の表記の仕方を覚える。
	10	(知及技) ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、語や文章の中で使うとともに、語意を豊かにすることができる。 (思判表力) ・話し手の目的や自分の聞きたいことの中心を捉えることができる。 (学・人) ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高めようすることができる。	(知・技) ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、語や文章の中で使うとともに、語意を豊かにしている。 (思・判・表) ・話し手の目的や自分の聞きたいことの中心を捉えている。 (主学) ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高めようとしている。	・言葉の学習②	・小学校高学年程度の漢字を学習する。 ・慣用句・四字熟語・ことわざを学習する。 ・絵本の読み聞かせ ・新聞スクラップ
3 学期 (16)	4	(知及技) ・親しみやすい古文の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 (思判表力) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。 (学・人) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようすることができる。	(知・技) ・親しみやすい古文の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。 (思・判・表) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 (主学) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようとしている。	・百人一首かるた	・短歌の形式を理解し、有名な作品を鑑賞する。 ・百人一首でゲームを行う。
	4	(知及技) ・社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。 (思判表力) ・話し手の目的や自分の聞きたいことの中心を捉えることができる。 (学・人) ・互いの立場や意図を明確にしなが、計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしようすることができる。	(知・技) ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、語や文章の中で使うとともに、語意を豊かにしている。 (思・判・表) ・話し手の目的や自分の聞きたいことの中心を捉えている。 (主学) ・互いの立場や意図を明確にしなが、計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。	・気になる新聞記事やニュースについて話し合ってみよう	・グループを作り、気になる新聞記事やニュースについて話し合う。 ・それぞれの意見と結論がどうなったかをスライドにまとめる。 ・ワークシートを用いて、それぞれメモを取りながら話し合いを進める。
	8	(知及技) ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、語や文章の中で使うとともに、語意を豊かにすることができる。 (思判表力) ・話し手の目的や自分の聞きたいことの中心を捉えることができる。 (学・人) ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高めようすることができる。	(知・技) ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、語や文章の中で使うとともに、語意を豊かにしている。 (思・判・表) ・話し手の目的や自分の聞きたいことの中心を捉えている。 (主学) ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高めようとしている。	・言葉の学習③	・小学校高学年程度の漢字を学習する。 ・慣用句・四字熟語・ことわざを学習する。 ・新聞スクラップ
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 3年 国語 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	3学年 生徒20名		くらしに役立つ国語

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりするようにする。 (思判表力) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げることができるようにする。 (学・人) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語を大切にその能力の向上を図る態度を養う。
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期 (2 6)	5	(知及技) ・社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。 (思判表力) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。 (学・人) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようとするすることができる。	(知・技) ・社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づいている。 (思・判・表) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 (主学) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようとするすることができる。	・スピーチ(抱負など)	・語彙を増やし、自分の話したい内容を相手に伝わるように工夫して話す。
	1	(知及技) ・文章の構成や内容の大体を意識しながら音読したり、朗読したりすることができる。 (思判表力) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。 (学・人) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようとするすることができる。	(知・技) ・文章の構成や内容の大体を意識しながら音読したり、朗読したりしている。 (思・判・表) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 (主学) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようとすることができる。	・詩を書く	・いろいろな詩のリズムや表現に触れながら、朗読をする。 ・「平和について」詩を作成する。
	6	(知及技) ・社会生活に係る人とのやり取りを通して、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気づくことができる。 (思判表力) ・話し手の目的や自分の聞きたいことの中心を捉えることができる。 (学・人) ・互いの立場や意図を明確にしながら、計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしようとするすることができる。	(知・技) ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、語や文章の中で使うとともに、語意を豊かにしている。 (思・判・表) ・話し手の目的や自分の聞きたいことの中心を捉えている。 (主学) ・互いの立場や意図を明確にしながら、計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりしている。	・興味のあるニュースについて話し合ってみよう	・グループを作り、気になる新聞記事やニュースについて話し合う。 ・それぞれの意見と結論がどうなったかスライドにまとめる。 ・ワークシートを用いて、それぞれメモを取りながら話し合いを進める。
	4	(知及技) ・用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列など決めて書くことができる。 (思判表力) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。 (学・人) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようとすることができる。	(知・技) ・用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列など決めて書いている。 (思・判・表) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 (主学) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようとしている。	・お礼状を書く	・お礼状を書くことをとおして、はがきや封書など、郵便について理解する。 ・手紙や SNS などの利用の仕方を学び、コミュニケーションの大切さや楽しさを理解する。
	10	(知及技) ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、語や文章の中で使うとともに、語意を豊かにすることができる。 (思判表力) ・話し手の目的や自分の聞きたいことの中心を捉えることができる。 (学・人) ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高めようとするすることができる。	(知・技) ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、語や文章の中で使うとともに、語意を豊かにしている。 (思・判・表) ・話し手の目的や自分の聞きたいことの中心を捉えている。 (主学) ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高めようとしている。	・言葉の学習①	・小学校高学年程度の漢字を学習する。 ・慣用句・四字熟語・ことわざを学習する。 ・新聞スクラップ

2 学期 (28)	4	<p>(知及技) ・親しみやすい古文の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 (思判表力) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。 (学・人) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようすることができる。</p>	<p>(知・技) ・親しみやすい古文の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。 (思・判・表) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 (主学) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようとしている。</p>	<p>・川柳や短歌を作ろう</p>	<p>・17音の形式を理解し、川柳を詠むことができる。 ・31音の形式を理解し、短歌を詠むことができる。</p>
	8	<p>(知及技) ・用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列など決めて書くことができる。 (思判表力) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。 (学・人) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようすることができる。</p>	<p>(知・技) ・用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列など決めて書いている。 (思・判・表) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 (主学) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようとしている。</p>	<p>・履歴書を書く</p>	<p>・履歴書とは何かなど理解を深め、書き方を身に付ける。 ・知っている丁寧な言葉の数を増やし、普段から使えるように練習する。</p>
	6	<p>(知及技) ・用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列など決めて書くことができる。 (思判表力) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。 (学・人) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようすることができる。</p>	<p>(知・技) ・用紙全体との関係に注意して、文字の大きさや配列など決めて書いている。 (思・判・表) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 (主学) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようとしている。</p>	<p>・お礼状を書く</p>	<p>・お礼状の形式に則って文章を作成する。 ・封筒の表記の仕方を覚える。</p>
	10	<p>(知及技) ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、語や文章の中で使うとともに、語意を豊かにすることができる。 (思判表力) ・話し手の目的や自分の聞きたいことの中心を捉えることができる。 (学・人) ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高めようすることができる。</p>	<p>(知・技) ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、語や文章の中で使うとともに、語意を豊かにしている。 (思・判・表) ・話し手の目的や自分の聞きたいことの中心を捉えている。 (主学) ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高めようとしている。</p>	<p>・言葉の学習②</p>	<p>・小学校高学年程度の漢字を学習する。 ・慣用句・四字熟語・ことわざを学習する。 ・新聞スクラップ</p>
3 学期 (16)	4	<p>(知及技) ・親しみやすい古文の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 (思判表力) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。 (学・人) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようすることができる。</p>	<p>(知・技) ・親しみやすい古文の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。 (思・判・表) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 (主学) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり、分類したりして、伝えたいことを明確にしようとしている。</p>	<p>・百人一首かるた</p>	<p>・短歌の形式を理解し、有名な作品を鑑賞する。 ・百人一首でゲームを行う。</p>
	4	<p>(知及技) ・目的に応じて使用する筆記用具を選び、その特徴を生かして書くことができる。 (思判表力) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。 (学・人) ・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫しようすることができる。</p>	<p>(知・技) ・目的に応じて使用する筆記用具を選び、その特徴を生かして書いている。 (思・判・表) ・目的や意図に応じて、書くことを決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にしている。 (主学) ・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫しようとしている。</p>	<p>・卒業を迎えて</p>	<p>・さまざま(喜怒哀楽)な思い出を文章で表現する。 ・18年間の自分の年表を作成する。</p>
	8	<p>(知及技) ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、語や文章の中で使うとともに、語意を豊かにすることができる。 (思判表力) ・話し手の目的や自分の聞きたいことの中心を捉えることができる。 (学・人) ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高めようすることができる。</p>	<p>(知・技) ・表現したり理解したりするために必要な語句の量を増やし、語や文章の中で使うとともに、語意を豊かにしている。 (思・判・表) ・話し手の目的や自分の聞きたいことの中心を捉えている。 (主学) ・社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高めようとしている。</p>	<p>・言葉の学習③</p>	<p>・小学校高学年程度の漢字を学習する。 ・慣用句・四字熟語・ことわざを学習する。 ・新聞スクラップ</p>
	留意点 引継ぎ等				

令和 8 年度 1 年 社会 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材		
1/35	1学年（20名）		〔改訂新版〕くらしに役立つ 社会/ 私たちが拓く日本の未来		
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技)地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化及び外国の様子について様々な資料や具体的な活動を通して理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (思判表力)社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考え、自分の生活と結びつけて考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。 (学・人)社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期 (13)	5	(知及技) ・地域における公共施設や公共物の役割とその必要性を理解することができる。 (思判表力) ・地域における公共施設や公共物の利用の仕方を調べ、適切な活用を考え、表現することができる。 (学・人) ・よりよい社会の実現を考え、学習したことを社会生活に生かそうとすることができる。	(知・技) ・地域における公共施設や公共物の役割とその必要性を理解している。 (思・判・表) ・地域における公共施設や公共物の利用の仕方を調べ、適切な活用を考え、表現している。 (主学) ・よりよい社会の実現を考え、学習したことを社会生活に生かそうとしている。	第1章 社会参加と公共施設の利用 1. 社会参加と地域での役割 2. 公共施設の役割と利用の仕方	・バス、モノレール等の公共交通機関の利用の仕方やマナーについて話し合う。 ・地域の公共施設の場所をインターネットで調べ、まとめる。 ・各公共施設の役割、生活とのつながりを学習する。
	6	(知及技) ・社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりを理解し、社会生活に必要な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について考え、表現することができる。 (学・人) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について、学んだことを生かそうとすることができる。	(知・技) ・社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりを理解し、社会生活に必要な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について考え、表現している。 (主学) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について、学んだことを振り返り社会生活に生かそうとしている。	第2章社会参加ときまり 1. 社会参加ときまり 2. 政治のしくみやはたらき	・日本国憲法の三大原則や国民の権利と義務、基本的人権についてまとめる。 ・労働者を守るきまりやしくみをまとめる。 ・18歳選挙権、18歳成人について情報機器等を活用して調べ、まとめる。 ・契約についての基本事項を確認する。(参考資料:社会への扉、18歳を迎える君へ)
	2	(知及技) ・我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、情報を適切に調べまとめる技術を身に付けることができる。 (思判表力) ・我が国の歴史上の主な事象を捉え、世の中の様子の変化を考え、表現することができる。 (学・人) ・我が国の歴史上の主な事象の学習の意味に気付くことができる。	(知・技) ・我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、情報を適切に調べまとめる技術を身に付けている。 (思・判・表) ・我が国の歴史上の主な事象を捉え、世の中の様子の変化を考え、表現している。 (主学) ・我が国の歴史上の主な事象の学習を振り返り、学んだことの意味に気付いている。	私たちの郷土 ・第二次世界大戦と沖縄戦	・沖縄戦についての動画を視聴する。 ・戦争はどのように展開し、それによって人々の生活はどのように変化したのか、写真や資料、動画などから読み取る。 ・平和について考える。(平和教育講演会、参考資料:沖縄県平和祈念資料館資料、新聞等)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
2 学期 (14)	7	(知及技) ・世界における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などを大まかに理解することができる。 (思判表力) ・世界の大陸と海洋、主な国の位置などに着目して我が国の国土の様子を捉え、その特色を表現することができる。 (学・人) ・我が国の国土の様子を学習を自分の生活と結びつけて考え生活に生かそうとすることができる。	(知・技) ・世界における我が国の国土の位置、国土の構成、領土の範囲などを大まかに理解している。 (思・判・表) ・世界の大陸と海洋、主な国の位置などに着目して我が国の国土の様子を捉え、その特色を表現している。 (主学) ・我が国の国土の様子を学習を自分の生活と結びつけて考え生活に生かそうとしている。	第3章我が国の国土と自然環境 1. 国土の様子 2. 特色ある地域の人々の生活の様子	・さまざまな地図、地球儀を活用し、国土の位置や構成、領土について調べる。
	7	(知及技) ・我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、国民の食糧を確保する重要な役割を果たしていることを理解することができる。(1段階エ(ア)㉗) (思判表力) ・生産物の種類や分布、生産量の変化などに着目して、食料生産の概要を捉え、食用生産が国民生活に果たす役割を考え、表現することができる。(1段階エ(ア)㉘) (学・人) 食料生産が国民生活に果たす役割を自分の生活と結びつけて考え、生活に生かそうとすることができる。	(知及技) ・我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、国民の食糧を確保する重要な役割を果たしていることを理解している。 (思・判・表) ・生産物の種類や分布、生産量の変化などに着目して、食料生産の概要を捉え、食用生産が国民生活に果たす役割を考え、表現している。 (主学) 食料生産が国民生活に果たす役割を自分の生活と結びつけて考え、生活に生かそうとしている。	第4章産業と生活 1. 自然を生かした食料生産 2. 食料の輸送や販売 3. 食料生産にかかわる人々の努力と工夫	・日本における食料生産の概要、食料生産が国民生活に果たす役割について、地図帳や統計資料、インターネット等で調べ、まとめ、発表する。
3 学期 (8)	4	(知及技) ・平和な世界の実現のために国際連合の一員としての役割を果たしているということを理解することができる。 (思判表力) ・地球規模で発生している課題解決に向け、国際社会において我が国が果たしている役割を考え、表現することができる。 (学・人) ・多角的な思考や理解を通して、国際社会の一員としての自覚を持つことができる。	(知・技) ・平和な世界の実現のために国際連合の一員としての役割を果たしているということを理解している。 (思・判・表) ・地球規模で発生している課題解決に向け、国際社会において我が国が果たしている役割を考え、表現している。 (主学) ・多角的な思考や理解を通して、地域社会の一員としての自覚を持ち、身に付けた考え方を新たな問いに生かしている。	第5章世界とのつながり ・世界の人々の暮らし	・日本と世界の関わり(歴史)や世界の国々と地域、国旗を確認する。 ・「国際連合」について調べ、その役割についてまとめる。 ・ニュースなどから日本と国際社会の関わりを見つける。 ・国際法、条約の意味を学習する。
	4	(知及技) ・我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、世の中の様子や関連する先人の業績を理解することができる。 (思判表力) ・我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、世の中の様子や関連する先人の業績について調べ、表現することができる。 (学・人) ・多角的な思考や理解を通して、我が国の国土と歴史に対する愛情を持つことができる。	(知・技) ・我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、世の中の様子や関連する先人の業績を理解している。 (思・判・表) ・我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、世の中の様子や関連する先人の業績について調べ、表現している。 (主学) ・多角的な思考や理解を通して、我が国の国土と歴史に対する愛情を持ち、身に付けた考え方を新たな問いに生かしている。	第6章人物で学ぶ我が国の歴史 日本を変えた歴史上の人物	・日本の歴史上の主な事象や人物について、本や資料、インターネット等で調べ、年表にまとめる。 ・沖縄の歴史上の主な事象や人物について、本や資料、インターネット等で調べ年表にまとめる。 ・時代を比較しながら、暮らしの変化についてまとめ、発表する。
留意点 引継ぎ等		※日々の出来事に広く興味・関心を持つことができるよう、時事問題を取り上げ、活動の中に主権者教育やNIE、SDGsの視点を取り入れるようにする。 ※定期的に確認テストを行う。			

令和 8 年度 2 年 社会 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材		
1/35	2 学年（20 名）		〔改訂新版〕くらしに役立つ 社会/ 私たちが拓く日本の未来		
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標		(知及技)地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化及び外国の様子について様々な資料や具体的な活動を通して理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (思判表力)社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考え、自分の生活と結びつけて考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。 (学・人)社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期 (13)	4	(知及技) ・我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、情報を適切に調べまとめる技術を身に付けることができる。 (思判表力) ・我が国の歴史上の主な事象を捉え、世の中の様子の変化を考え、表現することができる。 (学・人) ・我が国の歴史上の主な事象の学習の意味に気付くことができる。	(知・技) ・我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、情報を適切に調べまとめる技術を身に付けている。 (思・判・表) ・我が国の歴史上の主な事象を捉え、世の中の様子の変化を考え、表現している。 (主学) ・我が国の歴史上の主な事象の学習を振り返り、学んだことの意味に気付いている。	我が国の歴史 ・歴史の流れと年代の表し方 ・日本各地の歴史 ・琉球の歴史	・年表作成を通して時代の変化を理解する。 ・日本本土の歴史と琉球の歴史を比較しながら暮らしの違いについて考える。 ・各地域に残る遺跡や文化財について調べ、ワークシート及びスライドにまとめる。
	7	(知及技) ・我が国の様々な工業の種類、工業の盛んな地域の分布、工業生産が国民生活に果たす役割を理解することができる。 (思判表力) ・工業生産の概要を捉え、工業生産が国民生活に果たす役割を考え、表現することができる。 (学・人) ・我が国の様々な工業の種類、工業の盛んな地域の分布、工業生産が国民生活に果たす役割についての学習を自分の生活と結びつけて考え、生活に生かそうとすることができる。	(知・技) ・我が国の様々な工業の種類、工業の盛んな地域の分布、工業生産が国民生活に果たす役割を理解している。 (思・判・表) ・工業生産の概要を捉え、工業生産が国民生活に果たす役割を考え、表現している。 (主学) ・我が国の様々な工業の種類、工業の盛んな地域の分布、工業生産が国民生活に果たす役割について主体的に調べわかっていくと、課題を意欲的に追究している。	産業と生活 ・生産から消費への流れ ・いろいろな仕事	・産業分類表の作成をする。 ・日本における産業の割合や分布について、地図帳や統計資料等で調べ、まとめる。 ・「日本はどのような工業が盛んか」「工業の盛んな地域はどのように広がっているか」「工業製品はどのように改良されてきたか」「工業製品が国民生活に果たす役割」など、インターネット等を活用して調べ、まとめて、発表する。
	2	(知及技) ・我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、情報を適切に調べまとめる技術を身に付けることができる。 (思判表力) ・我が国の歴史上の主な事象を捉え、世の中の様子の変化を考え、表現することができる。 (学・人) ・我が国の歴史上の主な事象の学習の意味に気付くことができる。	(知・技) ・我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、情報を適切に調べまとめる技術を身に付けている。 (思・判・表) ・我が国の歴史上の主な事象を捉え、世の中の様子の変化を考え、表現している。 (主学) ・我が国の歴史上の主な事象の学習を振り返り、学んだことの意味に気付いている。	私たちの郷土 第二次世界大戦と沖縄戦	・沖縄戦についての動画を視聴する。 ・戦争はどのように展開し、それによって人々の生活はどのように変化したのか、写真や資料、動画などから読み取る。 ・平和について考える。(平和教育講演会、参考資料：沖縄県平和祈念資料館資料、新聞等)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
2 学期 (14)	4	(知及技) ・社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりを理解し、社会生活に必要な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について考え、表現することができる。 (学・人) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について、学んだことを生かそうとすることができる。	(知・技) ・社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりを理解し、社会生活に必要な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について考え、表現している。 (主学) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について、学んだことを振り返り社会生活に生かそうとしている。	国や社会のしくみ ・国のしくみ ・地方公共団体のしくみ	・三権分立:それぞれの機関の役割を知る。 ・国民の政治参加の方法や意味について考える。
	6	(知及技) ・生活に関係の深い制度について理解することができる。 (思判表力) ・生活に関係の深い制度について調べ、その活用を考え、表現することができる。 (学・人) ・多角的な思考や理解を通して、地域社会の一員としての自覚を持つことができる。	(知・技) ・生活に関係の深い制度について理解している。 (思・判・表) ・生活に関係の深い制度について調べ、その活用を考え、表現している。 (主学) ・多角的な思考や理解を通して、地域社会の一員としての自覚を持ち、身に付けた考え方を新たな問いに生かしている。	国や社会のしくみ ・働く人を守るきまり	・労働法○×クイズや様々な事例から、労働に関するきまり(労働法)を理解する。 ・労働条件通知書の見方を知り、必要な情報を正しく読み取ることができるようにする。
	4	(知及技) ・工業生産に関わる人は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解することができる。 (思判表力) ・製造の工程、工場相互の協力関係。優れた技術などに着目して、工業生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現することができる。 (学・人) ・工業生産が国民生活に果たす役割についての学習を自分の生活と結びつけて考え、生活に生かそうとすることができる。	(知・技) ・工業生産に関わる人は、消費者の需要や社会の変化に対応し、優れた製品を生産するよう様々な工夫や努力をして、工業生産を支えていることを理解している。 (思・判・表) ・製造の工程、工場相互の協力関係。優れた技術などに着目して、工業生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現している。 (主学) ・工業生産が国民生活に果たす役割について主体的に調べかわらうとして、課題を意欲的に追究している。	私たちのくらしと経済 ・生産から消費への流れ ・食品の流通 ・工業製品の流通	・流通のしくみについて学習する。 卸売市場、問屋、物流センターの役割、コンピュータによる商品管理、インターネットによる買い物 ・動画や資料、各実習先の仕事内容なども参考にしながら、工業生産の概要を捉える。
3 学期 (8)	4	(知及技) ・社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりを理解し、社会生活に必要な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について考え、表現することができる。 (学・人) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について、学んだことを生かそうとすることができる。	(知・技) ・社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりを理解し、社会生活に必要な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について考え、表現している。 (主学) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について、学んだことを振り返り社会生活に生かそうとしている。	社会参加ときまり ・契約社会 ・消費者保護制度	・契約の基本、成立、拘束力などについて学習する。 (参考資料:社会への扉、18歳を迎える君へ) ・消費者生活センターについて知る。 ・消費者の行動と責任について考える。
	4	(知及技) ・自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解することができる。 (思判表力) ・国土の環保全について、自分たちにできることなどを考え、表現することができる。 (学・人) ・国土の環保全について、自分たちにできることなどを考えることができる。	(知・技) ・自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解している。 (思・判・表) ・国土の環保全について、自分たちにできることなどを考え、表現している。 (主学) ・国土の環保全について、自分たちにできることなどを考えようとしている。	我が国の国土と自然環境 ・自然災害を防ぐ工夫	・災害の種類や発生の位置や時期、防災対策について、地図帳、各種資料、インターネット等で調べ、まとめる。 ・学校、地域の避難場所や経路、ハザードマップを確認する。 ・国土の保全について、自分たちにできることを考える。
留意点 引継ぎ等		※日々の出来事に広く興味・関心を持つことができるよう、時事問題を取り上げ、活動の中に主権者教育やNIE、SDGsの視点を取り入れるようにする。 ※定期的の確認テストを行う。			

令和 8 年度 3 年 社会 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材		
2/70	3 学年 (20名)		[改訂新版] くらしに役立つ 社会/ 私たちが拓く日本の未来		
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技)地域や我が国の国土の地理的環境、現代社会の仕組みや働き、地域や我が国の歴史や伝統と文化及び外国の様子について様々な資料や具体的な活動を通して理解するとともに、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (思判表力)社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考え、自分の生活と結びつけて考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりする力、考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。 (学・人)社会に主体的に関わろうとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、地域社会に対する誇りと愛情、地域社会の一員としての自覚、世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期 (26)	4	(知及技) ・社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりを理解し、社会生活に必要な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について考え、表現することができる。 (学・人) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について、学んだことを生かそうとすることができる。	(知・技) ・社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりを理解し、社会生活に必要な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について考え、表現している。 (主学) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について、学んだことを振り返り社会生活に生かそうとしている。	社会参加ときまり ・社会生活ときまり ・政治のしくみやはたらき	・三権分立:それぞれの機関の役割を知る。 ・国民の政治参加の方法や意味について考える。
	8	(知及技) ・生活に関係の深い制度について理解することができる。 (思判表力) ・生活に関係の深い制度について調べ、その活用を考え、表現することができる。 (学・人) ・多角的な思考や理解を通して、地域社会の一員としての自覚を持つことができる。	(知・技) ・生活に関係の深い制度について理解している。 (思・判・表) ・生活に関係の深い制度について調べ、その活用を考え、表現している。 (主学) ・多角的な思考や理解を通して、地域社会の一員としての自覚を持ち、身に付けた考え方を新たな問いに生かしている。	社会参加ときまり ・働く人を守るきまり	・労働法○×クイズや様々な事例から、労働に関するきまり(労働法)を理解する。 ・労働条件通知書の見方を知り、必要な情報を正しく読み取ることができるようにする。
	4	(知及技) ・我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、情報を適切に調べまとめる技術を身に付けることができる。 (思判表力) ・我が国の歴史上の主な事象を捉え、世の中の様子の変化を考え、表現することができる。 (学・人) ・我が国の歴史上の主な事象の学習の意味に気付くことができる。	(知・技) ・我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、情報を適切に調べまとめる技術を身に付けている。 (思・判・表) ・我が国の歴史上の主な事象を捉え、世の中の様子の変化を考え、表現している。 (主学) ・我が国の歴史上の主な事象の学習を振り返り、学んだことの意味に気付いている。	第二次世界大戦と沖縄戦	・沖縄戦についての動画を視聴する。 ・戦争はどのように展開し、それによって人々の生活はどのように変化したのか、写真や資料、動画などから読み取る。 ・平和について考える。(平和教育講演会、参考資料:沖縄県平和祈念資料館資料、新聞等)
	10	(知及技) ・生活に関係の深い制度について理解することができる。 (思判表力) ・生活に関係の深い制度について調べ、その活用を考え、表現することができる。 (学・人) ・多角的な思考や理解を通して、地域社会の一員としての自覚を持つことができる。	(知・技) ・生活に関係の深い制度について理解している。 (思・判・表) ・生活に関係の深い制度について調べ、その活用を考え、表現している。 (主学) ・多角的な思考や理解を通して、地域社会の一員としての自覚を持ち、身に付けた考え方を新たな問いに生かしている。	社会参加ときまり ・裁判員制度 ・18歳選挙権について	・裁判員制度についての動画を視聴し、ワークシートをまとめ、裁判員制度の意味を理解する。 ・有権者としての意識を持ち、選挙のしくみを理解する。模擬投票を行う(副読本「私たちが拓く日本の未来」の活用)

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
2 学期 (32)	10	(知及技) ・社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりを理解し、社会生活に必要な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について考え、表現することができる。 (学・人) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について、学んだことを生かそうとすることができる。	(知・技) ・社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりを理解し、社会生活に必要な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について考え、表現している。 (主学) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について、学んだことを振り返り社会生活に生かそうとしている。	社会参加ときまり ・私たちの消費生活 ・消費者トラブルを解決するための消費者保護制度	・契約の基本、成立、拘束力、トラブルなどについて学習する。(参考資料:社会への扉、18歳を迎える君へ) ・悪徳商法を事例から考える。実際のトラブルを例にどのように対処したらよいか、どこに相談したらよいかを知る。 ・消費者生活センターについて。 ・消費者の行動と責任について考える。
	8	(知及技) ・社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりを理解し、社会生活に必要な知識や技能を身に付けることができる。 (思判表力) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について考え、表現することができる。 (学・人) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について、学んだことを生かそうとすることができる。	(知・技) ・社会の慣習、生活に関係の深い法やきまりを理解し、社会生活に必要な知識や技能を身に付けている。 (思・判・表) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について考え、表現している。 (主学) ・国民としての権利及び義務、それに伴う責任について、学んだことを振り返り社会生活に生かそうとしている。	社会参加ときまり ・国民としてのかかわり方	・ダイヤモンドランキングの手法を用いて、沖縄県の現状や課題について深く考え、主権者としての自覚を促す。 グループ活動を通して、自分の意見と他者の意見との違いを認め共有しながら意見をまとめ表現する
	6	(知及技) ・平和な世界の実現のために国際連合の一員としての役割を果たしているということを理解することができる。 (思判表力) ・地球規模で発生している課題解決に向け、国際社会において我が国が果たしている役割を考え、表現することができる。 (学・人) ・多角的な思考や理解を通して、国際社会の一員としての自覚を持つことができる。	(知・技) ・平和な世界の実現のために国際連合の一員としての役割を果たしているということを理解している。 (思・判・表) ・地球規模で発生している課題解決に向け、国際社会において我が国が果たしている役割を考え、表現している。 (主学) ・多角的な思考や理解を通して、地域社会の一員としての自覚を持ち、身に付けた考え方を新たな問いに生かしている。	世界とのつながり ・国際社会のしくみ ・国際社会のきまり	・我が国は国際連合の一員として諸外国の発展のために援助や協力をを行っていることについて理解する。 ・地球規模で発生している課題の解決に向けて、我が国が果たしている役割を考え、具体的な活動について理解する。
	8	(知及技) ・平和な世界の実現のために国際連合の一員としての役割を果たしていることを理解することができる。 (思判表力) ・地球規模で発生している課題解決に向け、国際社会において我が国が果たしている役割を考え、表現することができる。 (学・人) ・多角的な思考や理解を通して、国際社会の一員としての自覚を持つことができる。	(知・技) ・平和な世界の実現のために国際連合の一員としての役割を果たしていることを理解している。 (思・判・表) ・地球規模で発生している課題解決に向け、国際社会において我が国が果たしている役割を考え、表現している。 (主学) ・多角的な思考や理解を通して、地域社会の一員としての自覚を持ち、身に付けた考え方を新たな問いに生かしている。	世界とのつながり ・SDGsについて ・条約について	・SDGsの達成に向けて取り組む意義と各目標の内容を理解し、自分たちができる活動を話し合ったり調べたりする。 ・「子どもの権利条約」を取り上げ、世界や日本の取り組みについて理解する。
3 学期 (12)	4	(知及技) ・自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解することができる。 (思判表力) ・国土の環保全について、自分たちができることなどを考え、表現することができる。 (学・人) ・国土の環保全について、自分たちができることなどを考えることができる。	(知・技) ・自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などが様々な対策や事業を進めていることを理解している。 (思・判・表) ・国土の環保全について、自分たちができることなどを考え、表現している。 (主学) ・国土の環保全について、自分たちができることなどを考えようとしている。	我が国の国土と自然環境 ・公害を防ぐ取り組み ・自然災害を防ぐ工夫	・環境基本法について学習する。 公害:大気汚染、水質汚濁、騒音、振動、地盤の沈下および悪臭 ・生活様式の変化や都市型の進展がもたらした都市・生活型の公害、産業がもたらした公害など ・国民一人一人が協力できることを考える。 ・今ある取り組みや、自分たちができることを考える。
	8	(知及技) ・国際社会における社会的事象等について理解し、情報を適切に調べまとめることができる。 (思判表力) ・社会的事象の特色や相互の関連、意味を考えたり、自分の生活と結びつけて考えたりしながら、適切に表現することができる。 (学・人) ・多角的な思考や理解を通して、地域社会の一員としての自覚を持つことができる。	(知・技) ・国際社会における社会的事象等について理解し、情報を適切に調べまとめている。 (思・判・表) ・社会的事象の特色や相互の関連、意味を考えたり、自分の生活と結びつけて考えたりしながら、適切に表現している。 (主学) ・多角的な思考や理解を通して、地域社会の一員としての自覚を持ち、身に付けた考え方を新たな問いに生かしている。	「気になるニュースをくわしく調べて、伝えよう」	・自分が興味あるニュースについて調べる。 ・調べたことをシートにまとめる。相手に伝えることを意識し、工夫してまとめる。 ・ポイントをまとめて発表する。
留意点 引継ぎ等		※日々の出来事に広く興味・関心を持つことができるよう、時事問題を取り上げ、活動の中に主権者教育やNIE、SDGsの視点を取り入れるようにする。 ※定期的に確認テストを行う。			

令和8年度 1年 数学 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	1学年 (20名)		くらしに役立つ 数学 くらしに役立つワーク 数学

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力,判断力,表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解し、数学的に表現する技能を身に付けるようにする。 (思判表力)日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力や数学的な表現を用いて事象を簡潔に表現したり目的に応じて表したりする力を養う。 (学・人)数学的活動の楽しさを実感し、数学的に表現したことを振り返り、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	10	【C 測定：長さ・重さ】 (知及技) ・身の回りにある長さ、重さの単位と測定の意味について理解し、それらを測定することができる。 (思判表力) ・身の回りの事象を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現することができる。 (学・人) ・量の測定に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、量の学習で学んだことよきよきに気付き、そのことを日常生活の計量する場面に活用することができる。	(知・技) ・身の回りにある長さ、重さの単位と測定の意味について理解し、それらを測定しようとしている。 (思判表力) ・身の回りの事象を量に着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現しようとしている。 (主学) ・量の測定に進んで関わり、数学的に表現・処理するとともに、量の学習で学んだことよきよきに気付き、そのことを日常生活の計量する場面に活用しようとしている。	【長さ・重さ】 (1)長さを測ろう (2)重さを量ろう (3)色々な単位を知ろう (4)長さや重さの計算	「くらしに役立つ数学 (P43~47)」 ・長さ、重さの単位 ・測り方,量り方 ・単位の読み方 ものさしやノギス、秤を使ってそれぞれに適した測り方について考える機会を設ける。
	3	【数と計算：大きい数】 (知及技) ・万や億、兆の単位について知り、十進位取り記数法について理解を深めることができる。 ・10倍、100倍の大きさの数及びその表し方の理解を深めることができる。 (思判表力) ・数のまとまりに着目し、大きな数の大きさ比べを統合的に捉えることができる。 ・数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、それらを日常生活に生かすことができる。 (学・人) ・大きな数について数学的に表現したことを振り返り、大きな数を扱うよきよきに気付き、学習したことをものの個数を数える場面や金額の大きな買い物をする場面などに活用したりすることができる。	(知・技) ・万や億、兆の単位について知り、十進位取り記数法について理解を深めようとしている。 ・10倍、100倍の大きさの数及びその表し方の理解を深めようとしている。 (思・判・表) ・数のまとまりに着目し、大きな数の大きさ比べを統合的に捉えようとしている。 ・数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、それらを日常生活に生かそうとしている。 (主学) ・大きな数について数学的に表現したことを振り返り、大きな数を扱うよきよきに気付き、学習したことをものの個数を数える場面や金額の大きな買い物をする場面などに活用しようとしている。	【大きい数】 (1)大きい数について知ろう (2)大きい数を比べよう	「くらしに役立つ数学 (P8,9)」 ・大きな数の読み方 ・大きな数の書き方 ・万より大きい数 ・整数の10倍、100倍 ・大きな数の大小比較 ・数のまとまりを作ろう ・振り返り 教科書を中心に学習し、ワークブックやプリントを用いて定着を図る。 ペア活動やグループ活動を行うことで数学的活動を充実させる。
	6	【数と計算：およその数】 (知及技) ・概数が用いられる場面や四捨五入について知り、それらを活用して計算をすることができる。 (思判表力) ・日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理の仕方を考えるときに、それを日常生活に生かすことができる。 (学・人) ・およその数について数学的に表現・処理したことを振り返り、およその数のよきよきに気付き学習したことを買い物をする場面などに活用することができる。	(知・技) ・概数が用いられる場面や四捨五入を活用して計算をしようとしている。 (思・判・表) ・日常の事象における場面に着目し、目的に合った数の処理の仕方考えるときに、それを日常生活に生かそうとしている。 (主学) ・およその数について数学的に表現・処理したことを振り返り、およその数のよきよきに気付き学習したことを買い物をする場面などに活用しようとしている。	【およその数】 (1)およその数について知ろう	「くらしに役立つ数学 (P26,27)」 ・およその数(概数) ・四捨五入 ・切り上げ・切り捨て ・四捨五入で考えるクイズ ・振り返り 教科書を中心に学習し、ワークブックやプリントを用いて定着を図る。 ペア活動やグループ活動を行うことで数学的活動を充実させる。
	7	【数と計算：四則演算】 (知及技) ・整数の計算について意味を理解し、それらを計算することができる。 (思判表力) ・数量の関係に着目し、目的に合った表現方法を用いて計算の仕方を考察することができる。 (学・人)整数の計算について数学的に表現・処理したことを振り返り、整数の計算のよきよきに気付き学習したことを生活や学習に活用することができる。	(知・技) ・整数の計算について意味を理解し、それらを計算しようとしている。 (思・判・表) ・数量の関係に着目し、目的に合った表現方法を用いて計算の仕方を考察している。 (主学) 整数の計算について数学的に表現・処理したことを振り返り、整数の計算のよきよきに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	【四則演算】 (1)3けたの計算をしよう (2)かけ算・わり算について考えよう (3)文章問題を作ってみよう	「くらしに役立つ数学 (P17~25)」 ・3けたの計算(筆算) ・かけ算の文章問題 ・わり算の文章問題 ・電卓を使った検算 教科書を中心に学習し、ワークブックやプリントを用いて定着を図る。

2 学 期	5	<p>【図形：多角形】 (知・技) ・図形の形や大きさが決まる要素について理解することができる。 (思・判・表) ・図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察することができる。 (学・人) ・多角形について数学的に処理したことを振り返り、多角形のように気づき学習したことを生活に活用することができる。</p>	<p>(知・技) ・図形の形や大きさが決まる要素について理解しようとしている。 (思・判・表) ・図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察しようとしている。 (主学) ・多角形について数学的に処理したことを振り返り、多角形のように気づき学習したことを生活に活用しようとしている。</p>	<p>【図形の基本・多角形】 (1)図形の基本を知ろう (2)多角形について (3)いろいろな三角形・四角形 (4)正多角形を書こう</p>	<p>「くらしに役立つ数学 (P29～32)」 ・図形の基本 (名称) ・多角形 ・三角形・四角形 ・正多角形のきき方(作図) 教科書を中心に学習し、ワークブックやプリントを用いて定着を図る。 ペア活動やグループ活動を行うことで数学的活動を充実させる。</p>
	7	<p>【図形：円と球】 (知・技) ・図形の形や大きさが決まる要素について理解し、図形を作図することができる。 (思・判・表) ・図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察することができる。 (学・人) ・円と球について数学的に処理したことを振り返り、円と球のように気づき学習したことを生活に活用することができる。</p>	<p>(知・技) ・図形の形や大きさが決まる要素について理解し、図形を作図しようとしている。 (思・判・表) ・図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、構成の仕方を考察しようとしている。 (主学) ・円と球について数学的に処理したことを振り返り、円と球のように気づき学習したことを生活に活用しようとしている。</p>	<p>【円と球】 (1)円・球について知ろう (2)円をかこう</p>	<p>「くらしに役立つ数学 (P33～35)」 ・円の性質 ・球の性質 ・円のかき方(作図) 教科書を中心に学習し、ワークブックやプリントを用いて定着を図る。 ペア活動やグループ活動を行うことで数学的活動を充実させる。</p>
	7	<p>【図形：立体図形】 (知・技) ・立体の形が決まる要素や立体を構成する要素の位置関係について理解することができる。 (思・判・表) ・立体を構成する要素に着目し、立体の平面上での表現や構成の仕方を考察することができる。 (学・人) ・立体について数学的に表現・処理したことを振り返り、立体のように気づき学習したことを生活や学習に活用することができる。</p>	<p>(知・技) ・立体の形が決まる要素や立体を構成する要素の位置関係について理解しようとしている。 (思・判・表) ・立体を構成する要素に着目し、立体の平面上での表現や構成の仕方を考察しようとしている。 (主学) ・立体について数学的に表現・処理したことを振り返り、立体のように気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。</p>	<p>【立方体・立体】 (1)立体について知ろう (2)立体を作ろう</p>	<p>「くらしに役立つ数学 (P36～38)」 ・立方体の形と特徴 ・立体の組み立て 立体についての確認事項を教科書やワークで学習し、展開図から基本的な立体や複雑な立体を組み立てる。</p>
3 学 期	9	<p>【数と計算：分数】 (知・技) ・ある量の何倍かを表すのに小数を用いることを知ることができる。 ・小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知るとともに、数の相対的な大きさについて理解を深めることができる。 (思・判・表) ・数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、計算の仕方を考えることができる。 (学・人) ・小数について数学的に表現・処理したことを振り返り、小数のように気づき学習したことを生活に活用することができる。</p>	<p>(知・技) ・ある量の何倍かを表すのに小数を用いることを知ろうとしている。 ・小数が整数と同じ仕組みで表されていることを知るとともに、数の相対的な大きさについて理解を深めようとしている。 (思・判・表) ・数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、計算の仕方を考えようとしている。 (主学) ・小数について数学的に表現・処理したことを振り返り、小数のように気づき学習したことを生活に活用しようとしている。</p>	<p>【小数】 (1)小数で表そう (2)小数の構成について知ろう (3)小数の大きさについて考えよう</p>	<p>・小数の何倍 ・小数の構成 ・小数の大きさ</p>
	4	<p>【測定：時刻と時間】 (知・技) ・日常生活に必要な時刻や時間を求めることができる。 (思・判・表) ・時間の単位に着目し、簡単な時刻や時間の求め方を日常生活に生かすことができる。 (学・人) ・時間や時刻について数学的に表現・処理したことを振り返り、学習したことを生活に活用することができる。</p>	<p>(知・技) ・日常生活に必要な時刻や時間を求めようとしている。 (思・判・表) ・時間の単位に着目し、簡単な時刻や時間の求め方を日常生活に生かそうとしている。 (主学) ・時間や時刻について数学的に表現・処理したことを振り返り、学習したことを生活に活用しようとしている。</p>	<p>【時刻と時間】 (1)時刻と時間</p>	<p>「くらしに役立つ数学 (P50～52)」 ・時間の単位変換 ・1日と時刻 ・時刻と時間の計算 教科書を中心に学習し、ワークブックやプリントを用いて定着を図る。 ペア活動やグループ活動を行うことで数学的活動を充実させる。</p>
	6	<p>【データの活用：表とグラフ】 (知・技) ・データを表や折れ線グラフで表す表し方や読み取り方を理解し、それらを問題解決において用いることができる。 (思・判・表) ・身の回りの事象について整理されたデータの特徴に着目し、事象を簡潔に表現したり、適切に判断したりすることができる。 (学・人) ・表とグラフについて数学的に表現・処理したことを振り返り、表やグラフのよさに気づき学習したことを生活や学習に活用することができる。</p>	<p>(知・技) ・データを表や折れ線グラフで表す表し方や読み取り方を理解し、それらを問題解決において用いようとしている。 (思・判・表) ・身の回りの事象について整理されたデータの特徴に着目し、事象を簡潔に表現したり、適切に判断したりしようとしている。 (主学) ・表とグラフについて数学的に表現・処理したことを振り返り、表やグラフのよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。</p>	<p>【表とグラフ】 (1)表・折れ線グラフの見方を知ろう</p>	<p>「くらしに役立つ数学 (P53, 54)」 ・表の見方 ・折れ線グラフの見方 教科書を中心に学習し、ワークブックやプリントを用いて定着を図る。 ペア活動やグループ活動を行うことで数学的活動を充実させる。</p>
6	<p>【変化と関係：割合】 (知・技) ・二つの数量の関係を割合によって比べることができる。 (思・判・表) ・伴って変わる二つの数量関係に着目し、割合を用いて考察することができる。 (学・人) ・割合について数学的に処理したことを振り返り、割合のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用することができる。</p>	<p>(知・技) ・二つの数量の関係を割合によって比べようとしている。 (思・判・表) ・伴って変わる二つの数量関係に着目し、割合を用いて考察しようとしている。 (主学) ・割合について数学的に処理したことを振り返り、割合のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。</p>	<p>【割合】 (1)比べられる量ともとにする量 (2)百分率について知ろう</p>	<p>「くらしに役立つ数学 (P55, 56)」 ・割合 教科書を中心に学習し、ワークブックやプリントを用いて定着を図る。</p>	
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 2年 数学 年間指導計画

単位数 ／ 配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1 / 3 5	2学年 (20名)		くらしに役立つ 数学 くらしに役立つワーク 数学

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力,判断力,表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現したりする技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見いだし統合的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭に表現したり目的に応じて表したりする力を養う。 (学・人) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて考える態度、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	6	【数と計算：小数・四則演算】 (知及技) ・ 小数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算ができる。 ・ 乗数や除数が整数及び小数である場合の小数の乗法及び除法の意味について理解し、それらの計算ができる。 (思判表力) ・ 乗法及び除法の意味に着目し、乗法や除法が小数である場合まで数の範囲を広げて乗法及び除法の意味を捉え直すとともに、それらの計算の仕方を考えたり、それらを日常生活に生かしたりすることができる。 (学・人) ・ 数量について数学的に処理したことを振り返り、学習したことを生活や学習に活用したりすることができる。	(知・技) ・ 小数の加法及び減法の意味について理解し、それらを計算しようとしている。 ・ 乗数や除数が整数及び小数である場合の小数の乗法及び除法の意味について理解し、それらを計算しようとしている。 (思・判・表) ・ 乗法及び除法の意味に着目し、乗法や除法が小数である場合まで数の範囲を広げて乗法及び除法の意味を捉え直すとともに、それらの計算の仕方を考えたり、それらを日常生活に生かしたりしている。 (主学) ・ 数量について数学的に処理したことを振り返り、学習したことを生活や学習に活用したりしている。	【小数・四則演算】 (1)小数の計算をしよう	・ 加法 ・ 減法 ・ 乗法 ・ 除法 教科書等を利用してしながら筆算のやり方や繰り上げや繰り下げを確認し、習熟度に応じたプリントで学習する。
	5	【図形：面積】 (知及技) ・ 三角形や平行四辺形の面積の求め方ができる。 (思判表力) ・ 三角形や平行四辺形の面積の求め方を考え、その表現方法を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導くことができる。 (学・人) ・ 面積について数学的に表現・処理したことを振り返り、面積の考え方のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用することができる。	(知・技) ・ 三角形や平行四辺形の面積の求めようとしている。 (思・判・表) ・ 三角形や平行四辺形の面積の求め方を考え、その表現方法を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高め、公式として導きようとしている。 (主学) ・ 面積について数学的に表現・処理したことを振り返り、面積の考え方のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	【面積】 (1)面積について知ろう (2)面積の単位と公式について (3)面積を測ろう	「くらしに役立つ数学 (P39, 40)」 ・ 面積について ・ 面積の単位 ・ 教室の面積 教科書を中心に学習し、ワークブックやプリントを用いて定着を図る。 実測を行い、各値の「広さ」がどれくらい大ききであるか調べる。
	2	【図形：図形の性質】 (知及技) ・ 立体を構成する要素の位置関係や多角形の性質について理解することができる。 (思判表力) ・ 図形を構成する要素に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見いだしたりすることができる。 (学・人) ・ 図形について数学的に処理したことを振り返り、図形のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用することができる。	(知・技) ・ 立体を構成する要素の位置関係や多角形の性質について理解することができる。 (思・判・表) ・ 図形を構成する要素に着目し、構成の仕方を考察したり、図形の性質を見いだしたりすることができる。 (主学) ・ 図形について数学的に処理したことを振り返り、図形のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用することができる。	【図形の性質】 (1)図形の利点を考えよう (2)図形の特徴を利用しての製品を調べよう	「くらしに役立つ数学 (P41, 42)」 ・ 図形の特徴と性質 ペア活動やグループ活動を行うことで数学的活動を充実させる。
2 学期	6	【変化と関係：比例】 (知及技) ・ 簡単な場合について、比例の関係があることを知ることができる。 (思判表力) ・ 伴って変わる二つの数量を見だして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察することができる。 (学・人) ・ 比例について数学的に表現・処理したことを振り返り、比例関係のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用することができる。	(知・技) ・ 簡単な場合について、比例の関係があることを知ろうとしている。 (思・判・表) ・ 伴って変わる二つの数量を見だして、それらの関係に着目し、表や式を用いて変化や対応の特徴を考察している。 (主学) ・ 比例について数学的に表現・処理したことを振り返り、比例関係のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとしている。	【伴って変わる二つの量】 (1)比例について知ろう	「くらしに役立つ数学 (P57, 58)」 ・ 比例 教科書を中心に学習し、ワークブックやプリントを用いて定着を図る。

2 学 期	4	<p>【変化と関係：速さ】 (知及技) ・速さなど単位量あたりの大きさの意味及び表し方について理解し、それを求めることができる。 (思判表力) ・異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを調べたり、表現したりする方法を考察し、それらを日常生活に生かすことができる。 (学・人) ・速さについて数学的に表現・処理したことを振り返り、速さのよさに気付き学習したことを生活や学習に活用することができる。</p>	<p>(知・技) ・速さなど単位量あたりの大きさの意味及び表し方について理解し、それを求めようとしている。 (思・判・表) ・異種の二つの量の割合として捉えられる数量の関係に着目し、目的に応じて大きさを調べたり、表現したりする方法を考察し、それらを日常生活に生かしている。 (主学) ・速さについて数学的に表現・処理したことを振り返り、速さのよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしている。</p>	<p>【伴って変わる二つの量】 (1)速さについて知ろう (2)単位量あたりの大きさ</p>	<p>「くらしに役立つ数学 (P59, 60)」 ・時速 ・台風と速さ 教科書を中心に学習し、ワークブックやプリントを用いて定着を図る。</p>
	4	<p>【データの活用：平均】 (知及技) ・平均の意味や求め方を理解することができる。 (思判表力) ・目的に応じて、データを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について判断することができる。 (学・人) ・平均について数学的に処理したことを振り返り、平均のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用することができる。</p>	<p>(知・技) ・平均の意味や求め方を理解しようとしている。 (思・判・表) ・目的に応じて、データを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について判断しようとしている。 (主学) ・平均について数学的に処理したことを振り返り、平均のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしている。</p>	<p>【平均】 (1)平均に求め方</p>	<p>「くらしに役立つ数学 (P61, 62)」 ・平均 ペア活動やグループ活動を行うことで数学的活動を充実させる。 教科書を中心に学習し、ワークブックやプリントを用いて定着を図る。</p>
3 学 期	8	<p>【データの活用：表とグラフ】 (知及技) ・目的に応じてデータを収集したり、適切な手法を選択したりすることができる。 (思判表力) ・目的に応じて、データを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、その妥当性について批判的に考察することができる。 (学・人) ・データの活用について数学的に処理したことを振り返り、多面的に捉え検討しよりよいものを求めて粘り強く考える態度を養うことができる。</p>	<p>(知・技) ・目的に応じてデータを収集したり、適切な手法を選択したりしようとしている。 (思・判・表) ・目的に応じて、データを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、その妥当性について批判的に考察しようとしている。 (主学) ・データの活用について数学的に処理したことを振り返り、多面的に捉え検討しよりよいものを求めて粘り強く考える態度を見せようとしている。</p>	<p>【表とグラフ】 (1)健康的な生活と数 (2)平熱を調べよう (3)睡眠時間を調べよう (4)摂取カロリーを調べよう</p>	<p>「くらしに役立つ数学 (P64~66)」 ・体温の測定 ・表の活用 ・データの収集、考察 教科書を中心に学習し、ワークブックやプリントを用いて定着を図る。 ペア活動やグループ活動を行うことで数学的活動を充実させる。</p>
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 3年 数学 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	3学年 (20名)		くらしに役立つ 数学 くらしに役立つワーク 数学 ひとりだらしするための算数・数学ワーク

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	<p>(知及技) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形などの性質を見だし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現したり目的に応じて柔軟に表現したりする力を養う。 (学・人) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学を生活や学習に活用しようとする態度を養う。</p>
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	2	<p>【数と計算：分数】 (知及技) ・分数の意味と表し方について理解を深めることができる。 (思判表力) ・数の表し方の仕組みに着目し、それらを日常生活に生かすことができる。 (学・人) ・分数について数学的に表現したことを振り返り、学習したことを生活や学習に活用することができる。</p>	<p>(知・技) ・分数の意味と表し方について理解を深めようとしている。 (思・判・表) ・数の表し方の仕組みや数を構成する単位に着目し、それらを日常生活に生かそうとしている。 (主学) ・分数について数学的に表現したことを振り返り、学習したことを生活や学習に活用しようとしている。</p>	<p>【分数】 (1)分数について知ろう</p>	<p>「くらしに役立つ数学 (P12,13)」 ・分数の読み方、表し方 ・分数のしくみ 教科書を中心に学習し、ワークブックやプリントを用いて定着を図る。 ペア活動やグループ活動を行うことで数学的活動を充実させる。</p>
	5	<p>【数と計算：分数】 (知及技) ・異分母の分数の加法及び減法の計算ができる。 ・分数の乗法及び除法の意味について理解することができる。 (思判表力) ・分数の意味や表現の仕方を考えることができる。 ・数の意味と表現、計算について成り立つ性質について着目し、計算の仕方を多面的に捉えることができる。 (学・人) ・分数の加法及び減法、乗法及び除法について数学的に表現・処理したことを振り返り、学習に活用することができる。</p>	<p>(知・技) ・異分母の分数の加法及び減法の計しようとしている。 (思・判・表) ・分数の乗法及び除法の意味について理解しようとしている。 (思・判・表) ・分数の意味や表現の仕方を考えようとしている。 (主学) ・数の意味と表現、計算について成り立つ性質について着目し、計算の仕方を多面的に捉えようとしている。 (主学) ・分数の加法及び減法、乗法及び除法について数学的に表現・処理したことを振り返り、学習に活用しようとしている。</p>	<p>【分数】 (1)加法と減法を図で考えよう (2)加法と減法の計算をしよう (3)乗法と除法の意味を考えよう (4)乗法と除法の計算をしよう</p>	<p>・加法の計算に関するグループ学習 ・減法の計算に関するグループ学習 ・プリントを用いた個別学習 (加法・減法) ・乗法と除法の意味を考えるグループ学習 ・プリントを用いた個別学習 (乗法・除法) ペア活動やグループ活動を行うことで数学的活動を充実させる。</p>
	2	<p>【データの活用：表とグラフ】 (知及技) ・目的に応じてデータを収集したり、適切な手法を選択したりすることができる。 (思判表力) ・目的に応じて、データをまとめて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、その妥当性について批判的に考察することができる。 (学・人) ・データの活用について数学的に処理したことを振り返り、多面的に捉え検討しよりよいものを求めて粘り強く考える態度を養うことができる。</p>	<p>(知・技) ・目的に応じてデータを収集したり、適切な手法を選択したりしようとしている。 (思・判・表) ・目的に応じて、データをまとめて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、その妥当性について批判的に考察しようとしている。 (主学) ・データの活用について数学的に処理したことを振り返り、多面的に捉え検討しよりよいものを求めて粘り強く考える態度を見ている。</p>	<p>【表とグラフ】 (1)表やグラフを用いる (2)変化を調べよう</p>	<p>「くらしに役立つ数学 (P64～66)」 ・身体計測の結果をまとめよう ・BMIを調べよう ・数値の変化を調べる 実生活に即した内容の学習を行い、卒業後に向けた進路指導と合わせた指導する。</p>
	2	<p>【測定：測り方】 (知及技) ・身の回りにおける長さなどの単位と測定の意味について理解し、それらを測定することができる。 (思判表力) ・身の回りの事象を良医着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現することができる。 (学・人) ・測定について数学的に処理したことを振り返り、多面的に捉え検討しよりよいものを求めて粘り強く考える態度を養うことができる。</p>	<p>(知・技) ・身の回りにおける長さなどの単位と測定の意味について理解し、それらを測定しようとしている。 (思・判・表) ・身の回りの事象を良医着目して捉え、量の単位を用いて的確に表現しようとしている。 (主学) ・測定について数学的に処理したことを振り返り、多面的に捉え検討しよりよいものを求めて粘り強く考える態度を見ている。</p>	<p>【測り方】 ・洋服のサイズについて ・サイズの読み取り方 ・衣類を購入しよう ・スポーツテストの結果をまとめよう</p>	<p>「くらしに役立つ数学 (P64～66)」 ・サイズの測り方 ・サイズの読み取り方 ・スーツを購入しよう ・靴や靴下を購入しよう 実生活に即した内容の学習を行い、卒業後に向けた進路指導と合わせた指導する。</p>
	2	<p>【データの活用：天気予報や季節】 (知及技) ・データを表や円グラフで表す表し方や読み取り方について理解することができる。 (思判表力) ・目的に応じてデータを収集しデータの特徴や傾向に着目して表やグラフに的確に表現し、それらを用いて問題解決することができる。 (学・人) ・表やグラフの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り、表のよさに気づき学習したことを生活に活用することができる。</p>	<p>(知・技) ・データを表や円グラフで表す表し方や読み取り方について理解しようとしている。 (思・判・表) ・目的に応じてデータを収集しデータの特徴や傾向に着目して表やグラフに的確に表現し、それらを用いて問題解決しようとしている。 (主学) ・表やグラフの活用について数学的に表現・処理したことを振り返り、表のよさに気づき学習したことを生活に活用しようとしている。</p>	<p>【天気予報や季節】 (1)天気予報と体感について (2)天気予報を読み取ろう (3)気候の変化と季節について (4)気温を測ってみよう</p>	<p>「くらしに役立つ数学 (P75～80)」 ・天気予報と体感 ・天気予報を読み取ろう ・気候の変化と季節 ・1日の気温を測ってみよう 実生活に即した内容の学習を行い、卒業後に向けた進路指導と合わせた指導する。</p>

2 学 期	6	<p>【数と計算：買い物しよう】 (知・技) ・整数、小数の意味と表し方や四則の関係について理解するとともに、整数、小数の計算についての意味や性質について理解し、それらを計算することができる。 (思判表力) ・数とその表現や計算の意味に着目し、発展的に考察して問題を見出したり目的に応じて多様な表現方法を用いながら、計算の仕方などを考察したりすることができる。 (学・人) ・数の計算について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めようとする態度を養うことができる。</p>	<p>(知・技) ・整数、小数の意味と表し方や四則の関係について理解するとともに、整数、小数の計算についての意味や性質について理解し、それらを計算しようとしている。 (思・判・表) ・数とその表現や計算の意味に着目し、発展的に考察して問題を見出したり目的に応じて多様な表現方法を用いながら、計算の仕方などを考察したりしている。 (主学) ・数の計算について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めようとする態度を見せている。</p>	<p>【買い物しよう】 (1)見取りについて (2)現金以外の払い方について (3)インターネットでの買い物</p>	<p>「暮らしに役立つ数学 (P81~86)」 ・合計金額の見積もり ・現金以外の払い方 ・インターネットでの買い物 ・現金以外で買い物するときに気を付けること ・実生活に即した内容の学習を行い、卒業後に向けた進路指導と合わせた指導する。</p>
	4	<p>【数と計算：調理しよう】 (知・技) ・整数、小数の意味と表し方や四則の関係について理解するとともに、整数、小数の計算についての意味や性質について理解し、それらを計算することができる。 (思判表力) ・数とその表現や計算の意味に着目し、発展的に考察して問題を見出したり目的に応じて多様な表現方法を用いながら、計算の仕方などを考察したりすることができる。 (学・人) ・数の計算について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めようとする態度を養うことができる。</p>	<p>(知・技) ・整数、小数の意味と表し方や四則の関係について理解するとともに、整数、小数の計算についての意味や性質について理解し、それらを計算しようとしている。 (思・判・表) ・数とその表現や計算の意味に着目し、発展的に考察して問題を見出したり目的に応じて多様な表現方法を用いながら、計算の仕方などを考察したりしている。 (主学) ・数の計算について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めようとする態度を見せている。</p>	<p>【調理しよう】 (1)人数分のレシピについて (2)値引きについて (3)栄養成分表示とバランス</p>	<p>「暮らしに役立つ数学 (P87~91)」 ・人数分のレシピについて計算しよう ・値引きと値引き後の値段 ・食品栄養表示ラベルの見方と情報の読み取り方 ・栄養成分表示と食事の栄養バランス ・調理家電の火力と加熱時間の注意点 ・実生活に即した内容の学習を行い、卒業後に向けた進路指導と合わせた指導する。</p>
	4	<p>【数と計算：四則演算】 (知・技) ・整数の計算について意味を理解し、それらを計算することができる。 (思判表力) ・数量の関係に着目し、目的に合った表現方法を用いて計算の仕方を考察することができる。 (学・人)整数の計算について数学的に表現・処理したことを振り返り、整数の計算のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用することができる。</p>	<p>(知・技) ・整数の計算について意味を理解し、それらを計算しようとしている。 (思・判・表) ・数量の関係に着目し、目的に合った表現方法を用いて計算の仕方を考察している。 (主学) ・整数の計算について数学的に表現・処理したことを振り返り、整数の計算のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしている。</p>	<p>【四則演算】 (1)3けた以上の計算 (2)電卓を使って計算しよう (3)電卓を使って検算しよう</p>	<p>・加法 ・減法 ・乗法 ・除法 電卓検定の問題集を活用したり、ワークブックの問題を計算したりと、実用的な計算演習を行い、卒業後に向けた進路指導と合わせた学習を行う。</p>
3 学 期	8	<p>【数と計算：1ヶ月の生活費】 (知・技) ・整数の計算について意味を理解し、それらを計算することができる。 (思判表力) ・数量の関係に着目し、目的に合った表現方法を用いて計算の仕方を考察することができる。 (学・人)整数の計算について数学的に表現・処理したことを振り返り、整数の計算のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用することができる。</p>	<p>(知・技) ・整数の計算について意味を理解し、それらを計算しようとしている。 (思・判・表) ・数量の関係に着目し、目的に合った表現方法を用いて計算の仕方を考察している。 (主学) ・整数の計算について数学的に表現・処理したことを振り返り、整数の計算のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとしている。</p>	<p>【1ヶ月の生活費】 ・生活費について考えよう</p>	<p>「暮らしに役立つ数学 (P115~121)」 ・生活に必要なもの ・家賃や生活に合った部屋選び ・電気、水道料金 ・食費、1ヶ月の食費 ・娯楽費、娯楽費の調整</p>
留意点 引継ぎ等					

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	1学年 生徒20名		【改訂新版】くらしに役立つ理科

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力)観察、実験などを行い、解決の方法を考える力とより妥当な考えをつくりだす力を養う。 (学・人)自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとする態度を養う。
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	25	(知及技) 生命の連続性についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 生命の連続性について調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を養う。 (学・人) 生命の連続性について進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。	(知・技) 植物の発芽、成長及び結実とそれらに関わる条件について観察、実験の過程や結果を適切に記録したり、理解することができる。 (思・判・表) 植物の発芽、成長及び結実に関わる条件に気づき、それらを制御したり、予想や仮説を確かめる方法を理解したり、検討したりして、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。 (主学) 植物の発芽、成長及び結実に関わる条件について進んで調べ、学んだことを様々な生活場面に当てはめて考えようとしていたり、行動しようとしている。	第1章 生命 1 植物の発芽、成長、結実 2 植物の養分と水の通り道	・授業開始時に本時のめあてを確認し、学習内容を把握する。 ・教科書の読み合わせを行う。 ・ワークシートを使用し、本時の内容の理解を深める。 ・本時に関する画像や動画を視聴し、内容の理解を深める。 ・授業終わりに本時のまとめを確認する。 ・実験の際は、仮説を立て、実験を行う。実験後は実験の結果を確認し、自分の仮説と照らし合わせながら考察し、自分の考えをまとめ、発表する。
	1	(知及技) 手順を確認し、手順通りに実験を進める。 (思判表力) 仮説を立てて実験へ取り組み、実験結果を考察して自分の考えをまとめる。 (学・人) 積極的に実験へ取り組み、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。	(知・技) 手順を確認し、手順通りに実験を進めることができる。 (思・判・表) 仮説を立てて実験へ取り組み、実験結果を考察して自分の考えをまとめることができる。 (主学) 積極的に実験へ取り組み、学んだことを生活に生かそうとしている。	おもしろ科学実験	・実験の結果について仮説を立てる。 ・実験を行う。 ・実験の結果を確認し、自分の仮説と照らし合わせながら考察し、自分の考えをまとめ、発表する。
2 学期	27	(知及技) 生物の体のつくりと働き、生命の連続性についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 生物の体のつくりと働きについて調べる中で、主にそれらの働きや関わりについて、より妥当な考えをつくりだす力を養う。 生命の連続性について調べる中で、主に予想や仮説を基に、解決の方法を考える力を養う。 (学・人) 生物の体のつくりと働き、生命の連続性について進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。	(知・技) 人は受精した卵が母体内で少しずつ成長して体ができていくことがわかる。 母体内でへその緒を通して養分をもらって成長することがわかる。 食べ物口、胃、腸などを通る間に消化、吸収され、吸収されなかった物は排出されることがわかる。 (思・判・表) 時間の経過による胎児の成長の様子についての予想や仮説を基に、解決の方法を考え、表現することができる。 人体のつくりと働きについて調べる中で、体のつくりと呼吸、消化、排出及び循環の働きについて、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。 (主学) 人体のつくりと働き、生命の連続性について進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとしている。	第1章 生命 3 動物の誕生 4 人の体のつくりとはたらき	・授業開始時に本時のめあてを確認し、学習内容を把握する。 ・教科書の読み合わせを行う。 ・ワークシートを使用し、本時の内容の理解を深める。 ・本時に関する画像や動画を視聴し、内容の理解を深める。 ・授業終わりに本時のまとめを確認する。 ・実験の際は、仮説を立て、実験を行う。実験後は実験の結果を確認し、自分の仮説と照らし合わせながら考察し、自分の考えをまとめ、発表する。

2 学期	1	<p>(知及技) 手順を確認し、手順通りに実験を進める。 (思判表力) 仮説を立てて実験へ取り組み、実験結果を考察して自分の考えをまとめる。 (学・人) 積極的に実験へ取り組み、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 手順を確認し、手順通りに実験を進めることができる。 (思・判・表) 仮説を立てて実験へ取り組み、実験結果を考察して自分の考えをまとめることができる。 (主学) 積極的に実験へ取り組み、学んだことを生活に生かそうとしている。</p>	おもしろ科学実験	<ul style="list-style-type: none"> ・実験の結果について仮説を立てる。 ・実験を行う。 ・実験の結果を確認し、自分の仮説と照らし合わせながら考察し、自分の考えをまとめ、発表する。
3 学期	15	<p>(知及技) 生物と環境についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 生物と環境について調べる中で、生物と環境との関わりについて、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。 (学・人) 生物と環境について進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 生物と環境について調べる中で、生物の間に食う食われるという関係があること、生物は水及び空気を通して周囲の環境と関わって生きていることがわかる。 (思・判・表) 生物と環境について調べる中で、生物と環境との関わりについて、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。 (主学) 環境とよりよく関わっていくためにはどのようにすればよいか等、学んだことを生活に生かそうとしている。</p>	第1章 生命 5 生物と環境	<ul style="list-style-type: none"> ・授業開始時に本時のめあてを確認し、学習内容を把握する。 ・教科書の読み合わせを行う。 ・ワークシートを使用し、本時の内容の理解を深める。 ・本時に関する画像や動画を視聴し、内容の理解を深める。 ・授業終わりに本時のまとめを確認する。 ・実験の際は、仮説を立て、実験を行う。実験後は実験の結果を確認し、自分の仮説と照らし合わせながら考察し、自分の考えをまとめ、発表する。
	1	<p>(知及技) 手順を確認し、手順通りに実験を進める。 (思判表力) 仮説を立てて実験へ取り組み、実験結果を考察して自分の考えをまとめる。 (学・人) 積極的に実験へ取り組み、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 手順を確認し、手順通りに実験を進めることができる。 (思・判・表) 仮説を立てて実験へ取り組み、実験結果を考察して自分の考えをまとめることができる。 (主学) 積極的に実験へ取り組み、学んだことを生活に生かそうとしている。</p>	おもしろ科学実験	<ul style="list-style-type: none"> ・実験の結果について仮説を立てる。 ・実験を行う。 ・実験の結果を確認し、自分の仮説と照らし合わせながら考察し、自分の考えをまとめ、発表する。
留意点 引継ぎ等	人の体のつくりや働き「新しい命を育てる」では、人の受精に至る過程は取り扱わない。				

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1 / 35	2学年 生徒20名		【改訂新版】くらしに役立つ理科

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力)観察、実験などを行い、解決の方法を考える力とより妥当な考えをつくりだす力を養う。 (学・人)自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとする態度を養う。
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技) 月の形の見え方と太陽との位置関係についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 月の形の見え方と太陽との位置関係について調べる中で、主に月の位置や形と太陽の位置との関係についてより妥当な考えをつくりだし、表現する力を養う。 (学・人) 月の形の見え方と太陽との位置関係について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。	(知・技) 月は日によって形が変わって見え、月の輝いている側に太陽があることや月の形の見え方は太陽と月との位置関係によって変わることがわかる。 (思・判・表) 月の形の見え方について調べる中で、月の位置や形と太陽の位置との関係について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。 (主学) 月の形の見え方と太陽との位置関係について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとしている。	第2章 地球・自然 3 天気の変化 4 月と太陽	・授業開始時に本時のめあてを確認し、学習内容を把握する。 ・教科書の読み合わせを行う。 ・ワークシートを使用し、本時の内容の理解を深める。 ・本時に関する画像や動画を視聴し、内容の理解を深める。 ・授業終わりに本時のまとめを確認する。 ・実験の際は、仮説を立て、実験を行う。実験後は実験の結果を確認し、自分の仮説と照らし合わせながら考察し、自分の考えをまとめ、発表する。
	1	(知及技) 手順を確認し、手順通りに実験を進める。 (思判表力) 仮説を立てて実験へ取り組み、実験結果を考察して自分の考えをまとめる。 (学・人) 積極的に実験へ取り組み、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。	(知・技) 手順を確認し、手順通りに実験を進めることができる。 (思・判・表) 仮説を立てて実験へ取り組み、実験結果を考察して自分の考えをまとめることができる。 (主学) 積極的に実験へ取り組み、学んだことを生活に生かそうとしている。	おもしろ科学実験	・実験の結果について仮説を立てる。 ・実験を行う。 ・実験の結果を確認し、自分の仮説と照らし合わせながら考察し、自分の考えをまとめ、発表する。
2学期	13	(知及技) 土地のつくりと変化についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 土地のつくりと変化について調べる中で、主に土地のつくり方やでき方について、より妥当な考えをつくりだし、表現する力を養う。 (学・人) 土地のつくりと変化について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。	(知・技) 土地は、礫、砂、泥などからできており、幾重にも層状に重なった地層をつくって広がっているものがあることがわかる。 (思・判・表) 土地のつくりと変化について調べる中で、土地のつくり方やでき方について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。 (主学) 土地のつくりと変化について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとしている。	第2章 地球・自然 1 流れる水のはたらきと土地の変化 2 土地のつくりと変化	・授業開始時に本時のめあてを確認し、学習内容を把握する。 ・教科書の読み合わせを行う。 ・ワークシートを使用し、本時の内容の理解を深める。 ・本時に関する画像や動画を視聴し、内容の理解を深める。 ・授業終わりに本時のまとめを確認する。 ・実験の際は、仮説を立て、実験を行う。実験後は実験の結果を確認し、自分の仮説と照らし合わせながら考察し、自分の考えをまとめ、発表する。

2 学 期	1 (知及技) 手順を確認し、手順通りに実験を進める。 (思判表力) 仮説を立てて実験へ取り組み、実験結果を考察して自分の考えをまとめる。 (学・人) 積極的に実験へ取り組み、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。	(知・技) 手順を確認し、手順通りに実験を進めることができる。 (思・判・表) 仮説を立てて実験へ取り組み、実験結果を考察して自分の考えをまとめることができる。 (主学) 積極的に実験へ取り組み、学んだことを生活に生かそうとしている。	おもしろ科学実験	<ul style="list-style-type: none"> ・実験の結果について仮説を立てる。 ・実験を行う。 ・実験の結果を確認し、自分の仮説と照らし合わせながら考察し、自分の考えをまとめ、発表する。
3 学 期	7 (知及技) 自然災害についての理解を図り、正しい防災知識を身に付けるようにする。 (思判表力) 自然災害について調べる中で、自然災害による天気の変化や土地の変化等について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。 (学・人) 自然災害について進んで調べ、生命を尊重する態度や学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。	(知・技) 自然災害について調べる中で、自然災害のメカニズムがわかる。 (思・判・表) 自然災害について調べる中で、自然災害による天気の変化や土地の変化等について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。 (主学) 自然災害があった時、被害に遭わないようにするためにはどのようにすればよいか等、学んだことを生活に生かそうとしている。	第2章 地球・自然 5 自然と災害	<ul style="list-style-type: none"> ・授業開始時に本時のめあてを確認し、学習内容を把握する。 ・教科書の読み合わせを行う。 ・ワークシートを使用し、本時の内容の理解を深める。 ・本時に関する画像や動画を視聴し、内容の理解を深める。 ・授業終わりに本時のまとめを確認する。 ・実験の際は、仮説を立て、実験を行う。実験後は実験の結果を確認し、自分の仮説と照らし合わせながら考察し、自分の考えをまとめ、発表する。
	1 (知及技) 手順を確認し、手順通りに実験を進める。 (思判表力) 仮説を立てて実験へ取り組み、実験結果を考察して自分の考えをまとめる。 (学・人) 積極的に実験へ取り組み、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。	(知・技) 手順を確認し、手順通りに実験を進めることができる。 (思・判・表) 仮説を立てて実験へ取り組み、実験結果を考察して自分の考えをまとめることができる。 (主学) 積極的に実験へ取り組み、学んだことを生活に生かそうとしている。	おもしろ科学実験	<ul style="list-style-type: none"> ・実験の結果について仮説を立てる。 ・実験を行う。 ・実験の結果を確認し、自分の仮説と照らし合わせながら考察し、自分の考えをまとめ、発表する。
留意点 引継ぎ等				

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	3学年 生徒20名		【改訂新版】くらしに役立つ理科

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)自然の事物・現象についての基本的な理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力)観察、実験などを行い、解決の方法を考える力とより妥当な考えをつくりだす力を養う。 (学・人)自然を愛する心情を養うとともに、学んだことを主体的に生活に生かそうとする態度を養う。
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	12	(知及技) 電気の利用についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 電気の性質や働きについて調べの中で、発電や蓄電、電気の変換について、より妥当な考えをつくりだす力を養う。 (学・人) 電気の利用について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。	(知・技) 電気はつくりだしたり蓄えたりできることがわかる。 電気は、光、音、熱、運動などに変換できることがわかる。 身の回りにある電気の性質や働きを利用した道具がわかる。 (思・判・表) 電気の性質や働きについて調べの中で、発電や蓄電、電気の変換について、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。 (主学) 電気の利用について進んで調べ、学んだことを様々な生活場面に当てはめて考えようとしていく、生活に生かそうとしている。	第3章 物質・エネルギー 1. さまざまな物質 (1) 金属について (2) プラスチックについて (3) その他の物質 3. 電流のはたらき 4. 電気の利用	・授業開始時に本時のめあてを確認し、学習内容を把握する。 ・教科書の読み合わせを行う。 ・ワークシートを使用し、本時の内容の理解を深める。 ・本時に関する画像や動画を視聴し、内容の理解を深める。 ・授業終わりに本時のまとめを確認する。 ・実験の際は、仮説を立て、実験を行う。実験後は実験の結果を確認し、自分の仮説と照らし合わせながら考察し、自分の考えをまとめ、発表する。
	1	(知及技) 手順を確認し、手順通りに実験を進める。 (思判表力) 仮説を立てて実験へ取り組み、実験結果を考察して自分の考えをまとめる。 (学・人) 積極的に実験へ取り組み、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。	(知・技) 手順を確認し、手順通りに実験を進めることができる。 (思・判・表) 仮説を立てて実験へ取り組み、実験結果を考察して自分の考えをまとめることができる。 (主学) 積極的に実験へ取り組み、学んだことを生活に生かそうとしている。	おもしろ科学実験	・実験の結果について仮説を立てる。 ・実験を行う。 ・実験の結果を確認し、自分の仮説と照らし合わせながら考察し、自分の考えをまとめ、発表する。
2学期	13	(知及技) てこの規則性及び燃焼のしくみについての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力) てこの規則性及び燃焼のしくみについて調べの中で、主にそれらの規則性やしきみについて、より妥当な考えをつくりだす力を養う。 (学・人) てこの規則性及び燃焼のしくみについて進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。	(知・技) 空気中に含まれる酸素の一部が使われて二酸化炭素ができるなど、物が燃えたときの空気の変化がわかる。 (思・判・表) てこの規則性及び燃焼のしくみについて多面的に調べ、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。 (主学) てこの規則性及び燃焼のしくみについて進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとしている。	第3章 物質・エネルギー 2. 「てこ」のしくみとはたらき 8. 燃焼のしくみ	・授業開始時に本時のめあてを確認し、学習内容を把握する。 ・教科書の読み合わせを行う。 ・ワークシートを使用し、本時の内容の理解を深める。 ・本時に関する画像や動画を視聴し、内容の理解を深める。 ・授業終わりに本時のまとめを確認する。 ・実験の際は、仮説を立て、実験を行う。実験後は実験の結果を確認し、自分の仮説と照らし合わせながら考察し、自分の考えをまとめ、発表する。

2 学期	1	<p>(知及技) 手順を確認し、手順通りに実験を進める。 (思判表力) 仮説を立てて実験へ取り組み、実験結果を考察して自分の考えをまとめる。 (学・人) 積極的に実験へ取り組み、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 手順を確認し、手順通りに実験を進めることができる。 (思・判・表) 仮説を立てて実験へ取り組み、実験結果を考察して自分の考えをまとめることができる。 (主学) 積極的に実験へ取り組み、学んだことを生活に生かそうとしている。</p>	おもしろ科学実験	<ul style="list-style-type: none"> ・実験の結果について仮説を立てる。 ・実験を行う。 ・実験の結果を確認し、自分の仮説と照らし合わせながら考察し、自分の考えをまとめ、発表する。
3 学期	7	<p>(知及技) 水溶液の性質についての理解を図り、観察、実験などに関する初歩的な技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 水溶液の性質や働きについて調べ、溶けているものによる性質や働きの違いについて、より妥当な考えをつくりだす力を養う。 (学・人) 水溶液の性質について進んで調べ、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 水溶液には、酸性、アルカリ性及び中性のものがあることがわかる。 (思・判・表) 水溶液の性質や働きについて調べ、溶けているものによる性質や働きの違いについて、より妥当な考えをつくりだし、表現することができる。 (主学) 水溶液の性質について進んで調べ、学んだことを様々な生活場面に当てはめて考えようとしたり、生活に生かそうとしている。</p>	<p>第3章 物質・エネルギー 5. 物の溶け方 6. 水溶液の性質 7. 身の回りの医薬品</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業開始時に本時のめあてを確認し、学習内容を把握する。 ・教科書の読み合わせを行う。 ・ワークシートを使用し、本時の内容の理解を深める。 ・本時に関する画像や動画を視聴し、内容の理解を深める。 ・授業終わりに本時のまとめを確認する。 ・実験の際は、仮説を立て、実験を行う。実験後は実験の結果を確認し、自分の仮説と照らし合わせながら考察し、自分の考えをまとめ、発表する。
	1	<p>(知及技) 手順を確認し、手順通りに実験を進める。 (思判表力) 仮説を立てて実験へ取り組み、実験結果を考察して自分の考えをまとめる。 (学・人) 積極的に実験へ取り組み、学んだことを生活に生かそうとする態度を養う。</p>	<p>(知・技) 手順を確認し、手順通りに実験を進めることができる。 (思・判・表) 仮説を立てて実験へ取り組み、実験結果を考察して自分の考えをまとめることができる。 (主学) 積極的に実験へ取り組み、学んだことを生活に生かそうとしている。</p>	おもしろ科学実験	<ul style="list-style-type: none"> ・実験の結果について仮説を立てる。 ・実験を行う。 ・実験の結果を確認し、自分の仮説と照らし合わせながら考察し、自分の考えをまとめ、発表する。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 1年 音楽 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2 / 70	1学年 20名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	<p>(知及技) ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身につけるようにする。</p> <p>(思判表力) ・音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよきや美しさを味わって聴くことができるようにする。</p> <p>(学・人) ・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	5	<p>(知及技) ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身につけることができる。</p> <p>(思判表力) ・歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫することができる。</p> <p>(学・人) ・音楽活動の楽しさを体験することを通して音楽に親しんでいく態度を養うことができる。</p>	<p>(知・技) ・創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能が身につけている。</p> <p>(思・判・表) ・歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。</p> <p>(主学) ・音楽活動の楽しさを体験することを通して音楽に親しむ、学校生活や日常生活に生かそうとしている。</p>	<p>【歌唱】 ・校歌を覚えて歌おう。</p>	<p>・校歌の歌詞を覚える。 ・正しい姿勢を意識して歌う。 ・歌詞を覚えて歌う。</p>
	10	<p>(知及技) ・楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりを理解し、他者と合わせて演奏する技能を身につけることができる。</p> <p>(思判表力) ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を工夫することができる。</p> <p>(学・人) ・音楽活動の楽しさを体験することを通して郷土の音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むことができる。</p>	<p>(知・技) ・楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりを理解し、他者と合わせて演奏する技能が身につけている。</p> <p>(思・判・表) ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を工夫している。</p> <p>(主学) ・音楽活動の楽しさを体験することを通して郷土の音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育み、日常生活に生かそうとしている。</p>	<p>【器楽】【歌唱】 ・三線に挑戦しよう。 ・歌いながら弾いてみよう。</p>	<p>・三線のルーツについて知る ・三線の持ち方や奏法について学ぶ ・勘所を理解し、正しい音程を意識して演奏する。 ・工工四を見ながら演奏する。 ・歌と合わせて演奏する。(ていんさぐぬ花・三線の花など)</p>
	5	<p>(知及技) ・鑑賞の活動を通して、曲想及びその変化と音楽の構造と関わりについて理解できる。</p> <p>(思判表力) ・曲や演奏のよさなどについて自分なりの考えを発表できる。</p> <p>(学・人) ・主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組み、音楽文化に親しむことができる。</p>	<p>(知・技) ・鑑賞の活動を通して、曲想及びその変化と音楽の構造と関わりについて理解している。</p> <p>(思・判・表) ・曲や演奏のよさなどについて自分なりの考えを伝えようとしている。</p> <p>(主学) ・主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組み、音楽文化に親しむ、学校生活や日常生活に生かそうとしている。</p>	<p>【鑑賞】 曲想について学ぼう。</p>	<p>・映画音楽等の曲を鑑賞し、曲想を表す言葉などを学ぶ。 ・楽曲の雰囲気やリズム等について感想を発表する。</p>

2 学期	4	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形作っている要素及びそれらに関わる用語や記号などについて理解することができる。 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し表現を創意工夫することができる。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学習に取り組み音楽活動の楽しさを体験することを通して生活を明るく豊かにする態度を養うことができる。 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形作っている要素及びそれらに関わる用語や記号などについて理解している。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し表現を創意工夫しようとしている。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学習に取り組み音楽活動の楽しさを体験することを通して生活を明るく豊かにし、学校生活や日常生活に生かそうとしている。 	<p>【楽典】</p> <p>音楽用語について学ぼう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音符の名前や長さ、音楽記号、強弱記号について学ぶ。
	24	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりを理解し、他者と合わせて演奏する技能を身につけることができる。 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を工夫することができる。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽活動の楽しさを体験することを通して音楽に親しんでいく態度を養うことができる。 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりを理解し、他者と合わせて演奏する技能が身につけている。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を工夫している。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽活動の楽しさを体験することを通して音楽に親しみ、学校生活や日常生活に生かそうとしている。 	<p>【器楽】【歌唱】</p> <p>キーボードに挑戦しよう。 ドラムに挑戦しよう。 ウクレレに挑戦しよう。 ハンドベル、トーンチャイムに挑戦しよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・(キーボード) ・奏法を学ぶ。 ・テンポに合わせて演奏する。 ・友達や教師と簡単な連弾をする。(ドラゴンクエスト序曲など) ・(ドラム) ・ドラムの名称、奏法について学ぶ。 ・4ビートの習得。 ・8ビートの習得。(ウクレレ) ・持ち方や奏法について学ぶ ・簡単なコードを覚えて演奏する。 ・歌と合わせて演奏する。(ハンドベル・トーンチャイム) ・自分のパートを理解して演奏する。 ・テンポに合わせて演奏する。
	6	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞の活動を通して、曲想及びその変化と音楽の構造と関わりについて理解できる。 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲や演奏のよさなどについて自分なりの考えを発表できる。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組み、音楽文化に親しむことができる。 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞の活動を通して、曲想及びその変化と音楽の構造と関わりについて理解している。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲や演奏のよさなどについて自分なりの考えを伝えようとしている。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組み、音楽文化に親しみ、学校生活や日常生活に生かそうとしている。 	<p>【鑑賞】</p> <p>楽器について学ぼう オーケストラの楽曲</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器の名称を覚える。 ・管楽器、弦楽器、鍵盤楽器の特徴や違いについて知る。 ・演奏形態を知る。 ・曲の雰囲気を感じ取り、楽器の音色とモチーフとの関わりを知る。
3 学期	12	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫を生かした表現を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音を身につけ、全体の響きを聴きながら他者と合わせて歌うことができる。 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫することができる。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的・協働的に学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創意工夫を生かした表現を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音を身につけ、全体の響きを聴きながら他者と合わせて歌うことができる。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的・協働的に学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して生活を明るく豊かなものにし、学校生活や日常生活に生かそうとしている。 	<p>【歌唱】【身体表現】</p> <p>手話で表現しながら歌おう。(星影のエール等)</p> <p>卒業式の歌</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容を知る。 ・曲の雰囲気を感じ取り、感想を発表する。 ・手話を交えて歌う。 ・歌詞の内容を理解する。 ・曲にイメージに合わせて歌う。 ・卒業する3年生へ気持ちを込めて歌う。

4	<p>(知及技) ・創意工夫を生かした表現をするために必要な、曲の速度やリズムに合わせて表現する技能や、設定した条件に基づいて、様々な動きを組み合わせて表現する力を身につけることができる。</p> <p>(思判表力) ・身体表現について知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を工夫することができる。</p> <p>(学・人) ・主体的に学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができる。</p>	<p>(知・技) ・創意工夫を生かした表現をするために必要な、曲の速度やリズムに合わせて表現する技能や、設定した条件に基づいて、様々な動きを組み合わせて表現する力が身につけている。</p> <p>(思・判・表) ・身体表現について知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を工夫している。</p> <p>(主学) ・主体的に学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、学校生活や日常生活に生かそうとしている。</p>	<p>【創作】【器楽】 【身体表現】 カップリズムに挑戦しよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「カッパス」の基本的な動きを習得する。 ・テンポに合わせてリズム打ちをする。
留意点 引継ぎ 等				

令和8年度 3年 音楽（選択） 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	3学年 10名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標
 (知及技)
 ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作、身体表現の技能を身につけるようにする。
 (思判表力)
 ・音楽表現を創意工夫することや、音楽を自分なりに評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。
 (学・人)
 ・主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	8	(知及技) ・楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりを理解し、他者と合わせて演奏する技能を身につけることができる。 (思判表力) ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を工夫することができる。 (学・人) ・音楽活動の楽しさを体験することを通して郷土の音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むことができる。	(知・技) ・楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりを理解し、他者と合わせて演奏する技能が身につけている。 (思・判・表) ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を工夫している。 (主学) ・音楽活動の楽しさを体験することを通して郷土の音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育み、日常生活に生かそうとしている。	【器楽】【歌唱】 三線を演奏しよう 歌いながら演奏しよう 自分の演奏したい曲を選ぼう	・指使いを意識して演奏する。 ・生徒の実態に合わせて段階的に様々な曲に挑戦する。 ・伴奏や歌に合わせて演奏する。(三線の花・海の声など)
	4	(知及技) ・鑑賞の活動を通して、曲想及びその変化と音楽の構造と関わりについて理解できる。 (思判表力) ・曲や演奏のよさなどについて自分なりの考えを発表できる。 (学・人) ・主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組み、音楽文化に親しむことができる。	(知・技) ・鑑賞の活動を通して、曲想及びその変化と音楽の構造と関わりについて理解している。 (思・判・表) ・曲や演奏のよさなどについて自分なりの考えを伝えようとしている。 (主学) ・主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組み、音楽文化に親しみ、学校生活や日常生活に生かそうとしている。	【鑑賞】【器楽】 オーケストラについて学ぼう ・キーボードで各楽器の音を出してみよう。	・オーケストラで使用されている楽器の特徴について知る。 ・弦楽器、管楽器、木管楽器の違いについて知る。 ・オーケストラの楽曲を鑑賞する。 ・キーボードの音色機能を使って表現する。(威風堂々など)
	2	(知及技) ・創意工夫を生かした表現をするために必要な、曲の速度やリズムに合わせて表現する技能を身につけることができる。 (思判表力) ・身体表現について知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を工夫することができる。 (学・人) ・音楽活動の楽しさを体験することを通して音楽に親しんでいく態度を養うことができる。	(知・技) ・創意工夫を生かした表現をするために必要な、曲の速度やリズムに合わせて表現する技能が身につけている。 (思・判・表) ・身体表現について知識や技能を得たり生かしたりしながら、身体表現を工夫している。 (主学) ・音楽活動の楽しさを体験することを通して音楽に親しみ、学校生活や日常生活に生かそうとしている。	【創作】【身体表現】 カップリズムを楽しもう	・基本リズムを習得する。

2・3 学期	10	<p>(知及技) ・楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりを理解し、他者と合わせて演奏する技能を身につけることができる。</p> <p>(思判表力) ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を工夫することができる。</p> <p>(学・人) ・主体的に学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度を養うことができる。</p>	<p>(知・技) ・楽器の音色や響きと演奏の仕方との関わりを理解し、他者と合わせて演奏する技能が身につけている。</p> <p>(思・判・表) ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を工夫している。</p> <p>(主学) ・主体的に学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、学校生活や日常生活に生かそうとしている。</p>	<p>【器楽】 ・自分で選曲した曲を自分なりの表現で演奏しよう。(三線、ピアノ、キーボード、ギター、ウクレレ、パーカッション、歌唱等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分で演奏したい曲を選曲する。 ・演奏したい楽器を選ぶ。
	4	<p>(知及技) ・鑑賞の活動を通して、曲想及びその変化と音楽の構造と関わりについて理解できる。</p> <p>(思判表力) ・曲や演奏のよさなどについて自分なりの考えを発表できる。</p> <p>(学・人) ・主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組み、音楽文化に親しむことができる。</p>	<p>(知・技) ・鑑賞の活動を通して、曲想及びその変化と音楽の構造と関わりについて理解している。</p> <p>(思・判・表) ・曲や演奏のよさなどについて自分なりの考えを伝えようとしている。</p> <p>(主学) ・主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組み、音楽文化に親しみ、学校生活や日常生活に生かそうとしている。</p>	<p>【鑑賞】 ・総合芸術について学ぼう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ミュージカル、オペラ、歌舞伎、組踊について、その特徴や使用されている楽器等を知る。
	3	<p>(知及技) ・基本的な操作方法を理解して演奏する技能を身につけることができる。</p> <p>(思判表力) ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を工夫することができる。</p> <p>(学・人) ・音楽活動の楽しさを体験することを通して音楽に親しんでいく態度を養うことができる。</p>	<p>(知・技) ・操作方法を理解して演奏する技能が身につけている。</p> <p>(思・判・表) ・器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現を工夫している。</p> <p>(主学) ・音楽活動の楽しさを体験することを通して音楽に親しみ、学校生活や日常生活に生かそうとしている。</p>	<p>【器楽】 iPadのアプリ(GarageBand)に挑戦しよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・アプリの機能について学ぶ ・画面上での奏法について学ぶ
	4	<p>(知及技) ・創意工夫を生かした表現を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音を身につけ、全体の響きを聴きながら他者と合わせて歌うことができる。</p> <p>(思判表力) ・歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫することができる。</p> <p>(学・人) ・主体的・協働的に学習に取り組み、音楽活動の楽しさを通して生活を明るく豊かなものにしていく態度を養う。</p>	<p>(知・技) ・創意工夫を生かした表現を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音を身につけ、全体の響きを聴きながら他者と合わせて歌うことができる。</p> <p>(思・判・表) ・歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現を創意工夫している。</p> <p>(主学) ・主体的・協働的に学習に取り組み、音楽活動の楽しさを通して生活を明るく豊かなものにし、学校生活や日常生活に生かそうとしている。</p>	<p>【歌唱】 卒業式の歌</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歌詞の内容を理解する。 ・曲にイメージに合わせて歌う。
留意点 引継ぎ 等					

令和 8年度 2年 美術 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	2年生 (20名)		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	<p>(知及技) ○対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。○表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。 (思判表力)想像的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 (学・人)主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとしている。</p>		
------	---	--	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	22	(知及技) 形や色彩、明暗、質感などの効果、全体のイメージなどを捉え、線の強弱や絵の具などの特性を生かして表すことができる。 (思判表力)身近なものの特徴や美しさなどを基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞することができる。 (学・人)身近なものの特徴や美しさなどを捉えて表す創造活動に、主体的に取り組むことができる。	(知・技) 形や色彩、明暗、質感などの効果、全体のイメージなどを捉え、線の強弱や絵の具などの特性を生かして表現する。 (思・判・表)身近なものの特徴や美しさなどを基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想を練り表現する。 (主学)身近なものの特徴や美しさなどを捉えて表す創造活動に、主体的に取り組む。	(絵画) 好きなものを描く	・ものの輪郭、形の特徴をとらえて描く。 ・鏡・鉛筆・消しゴム
		(知及技) テーマに沿った作品を具体的に想像し、イメージを具体化することができる。 (思判表力)作品の完成図を思い描き具体的に想像し構想を練ることができる。 (学・人)ワークシートや参考資料を活用し、表現に合った様々な素材を選び工夫し構成や彩色することができる。	(知・技) 形や色彩、明暗、質感などの効果、全体のイメージなどを捉え、線の強弱や絵の具などの特性を生かして表現する。 (思・判・表)身近なものの特徴や美しさなどを基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想を練り表現する。 (主学)身近なものの特徴や美しさなどを捉えて表す創造活動に、主体的に取り組む。	(絵画) iPadでコラージュ作品を作成する方法を学ぶ	・ものの輪郭、形の特徴をとらえて描く。 ・切り張りのパーツを構成する力を養う。 ・iPad(イラスト用アプリ) 「パーフェクトイメージ」
		(知及技) 構成のよさやバランスを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる。 (思判表力)目的や機能、バランスの取れた美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる。 (学・人)映像メディア表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる。	(知・技) 構成のよさやバランスを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 (思・判・表)目的や機能、バランスの取れた美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 (主学)映像メディア表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。	(鑑賞) 自分の好きなものを紹介する	・作品の画面構成、表現方法などの観点にしぼった鑑賞会を行い発表する。 ・生徒作品、ワークシート ・iPad・プロジェクター
2 学期	27	(知及技) 版画制作に取り組み、自然や自己、生活などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成することができる。 (思判表力)表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて深く考え、創造的な表現の構想を練ることができる。 (学・人)意図に応じて材料や用具の特性を生かすことができる。	(知・技) 版画制作に取り組み、自然や自己、生活などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成する。 (思・判・表)表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて深く考え、創造的な表現の構想を練る。 (主学)意図に応じて材料や用具の特性を生かす。	(絵画・彫刻) 版画制作	・ドライポイント・木版画・一版多色版画の種類を知り、表現したい技法を選択する。 ・版への転写、線の強弱、刷りなど表現方法を工夫することができる。 ・学校生活や日常生活の中で、実際に体験したことを題材に下絵を描く。 ・彫刻刀、画板等
		(知及技) 陶芸の制作方法を踏まえ、意図に応じて材料や用具を生かすとともに、手順や技法を吟味し、創造的に表すことができる。 (思判表力)使う人の願いや心情、使い勝手の良さを追求し、機能と美しさとの調和を考え、制作の構想を練ることができる。 (学・人)使う人の願いや心情、生活を豊かに演出する表現活動の取り組みができる。	(知・技) 陶芸の制作方法を踏まえ、意図に応じて材料や用具を生かすとともに、手順や技法を吟味し、創造的に表現する。 (思・判・表)使う人の願いや心情、使い勝手の良さを追求し、機能と美しさとの調和を考え、制作の構想を練る。 (主学)使う人の願いや心情、生活を豊かに演出する表現活動を主体的に取り組む。	(工芸) 陶芸制作	・用途に合った小物や食器をイメージし、道具や技法を駆使し造形することができる。 ・手回しロクロ ・電動ロクロ ・ワークシート、参考資料
		(知及技) イラストをなぞり描くことで、誰でも楽しく絵を描くことを学び、イメージを具体化することができる。 (思判表力)作品を具体的に想像し、構想を練ることができる。 (学・人)ワークシートや参考資料を活用し、表現に合った様々な画材を選び工夫し構成や彩色することができる。	(知・技) 形や色彩、明暗、質感などの効果、全体のイメージなどを捉え、線の強弱や絵の具などの特性を生かして表現する。 (思・判・表)身近なものの特徴や美しさなどを基に、形や色彩、質感などの効果を考え、構想を練り表現する。 (主学)身近なものの特徴や美しさなどを捉えて表す創造活動に、主体的に取り組む。	(絵画) iPadでイラストを描く方法を学ぶ	・ものの輪郭、形の特徴をとらえて描く。 ・イラストを模写し描写力を養う。 ・iPad(イラスト用アプリ) 「フリッククラブ」

3 学 期	21	<p>(知及技) 卒業式壁画制作に取り組み、表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練ることができる。 (思判表力) 意図に応じて材料や用具の特性を生かすことができる。 (学・人) 表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表すことができる。</p>	<p>(知・技) 卒業式壁画制作に取り組み、表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて考え、創造的な表現の構想を練る。 (思・判・表) 意図に応じて材料や用具の特性を生かす。 (主学) 表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表す。</p>	<p>(絵画・彫刻) 卒業式壁画制作</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・壁画のデザインを考えて下絵を描く。 ・協力し合い一つの作品を完成させる。 ・色画用紙、光沢紙等 ・ワークシート、参考資料
		<p>(知及技) 視覚に関する錯覚の効果を理解し、不思議なイメージを捉え、意図に応じて絵具などの特性を生かして表すことができる。 (思判表力) 錯視やイメージの重なりなどを基に、形や色彩、描くものや配置などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞することができる。 (学・人) 不思議な世界を表す創造活動に、主体的に取り組むことができる。</p>	<p>(知・技) 視覚に関する錯覚の効果を理解し、不思議なイメージを捉え、意図に応じて絵具などの特性を生かして表現する。 (思・判・表) 錯視やイメージの重なりなどを基に、形や色彩、描くものや配置などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞する。 (主学) 不思議な世界を表す創造活動に、主体的に取り組む。</p>	<p>(デザイン) 視覚のトリックを生かして</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・形やイメージの変化や広がり、見立ての効果などを生かし、不思議な世界を表す。 ・iPad・プロジェクターなど ・ワークシート、参考資料
		<p>(知及技) 構成のよさやバランスを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる。 (思判表力) 目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる。 (学・人) 映像メディア表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる。</p>	<p>(知・技) 構成のよさやバランスを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深められる。 (思・判・表) 目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深められる。 (主学) 映像メディア表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深められる。</p>	<p>(鑑賞) 作品鑑賞</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作品の画面構成、表現方法などの観点にしばった鑑賞会を行い発表する。 ・生徒作品、ワークシート ・iPad・プロジェクター
留意点 引継ぎ等					

令和 8年度 3年 美術 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材		
1/35	3年生 (10名)				
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度					
年間目標 (知及技) ○対象や事象を捉える造形的な視点について理解を探している。○表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表している。 (思判表力)想像的なよさや美しさ表現の意図と創造的な工夫、美術の働きについて考え主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 (学・人)主体的に美術の創造的な諸活動に取り組もうとしている。					
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	13	(知及技) 形や色彩、明暗、質感などの効果、全体のイメージなどを捉え、線の強弱や絵の具などの特性を生かして表すことができる。 (思判表力) 身近なものの特徴や美しさを基に形や色彩、質感などの効果や構想を練ったり鑑賞することができる。 (学・人) 身近なものの特徴や美しさなどを捉えて表す創造活動に、主体的に取り組むことができる。	(知・技) やってみたい仕事を具体的に想像し、イメージを具体化する。 (思・判・表) 将来の自分を思い描き、具体的に想像しながら構想する。 (主学) ワークシートや参考資料を活用し、表現に合った様々な画材を選び工夫し構成や彩色する。	(絵画) 色彩について学ぶ	・卒業後、就きたい仕事を想像し、イメージを具体化することができる。 ・表現に合った様々な画材を選び工夫して彩色する ・描いた仕事、仕事内容を相手に分かるように伝える ・ワークシート、参考資料 ・アクリル絵の具
		(知及技) テーマに沿った作品を具体的に想像し、イメージを具体化することができる。 (思判表力) 作品の完成図を思い描き具体的に想像し構想を練ることができる。 (学・人) ワークシートや参考資料を活用し、表現に合った様々な素材を選び工夫し構成や彩色することができる。	(知・技) 形や色彩、明暗、質感などの効果、全体のイメージなどを捉え、線の強弱や絵の具などの特性を生かして表現する。 (思・判・表) 身近なものの特徴や美しさなどを基に、形や色彩、質感などの効果や構想を練り表現する。 (主学) 身近なものの特徴や美しさなどを捉えて表す創造活動に、主体的に取り組む。	(絵画) iPadでコラージュ作品を作成する方法を学ぶ	・ものの輪郭、形の特徴をとらえて描く。 ・切り張りのパーツを構成する力を養う。 ・iPad(イラスト用アプリ) 「パーフェクトイメージ」
		(知及技) 構成のよさやバランスを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる。 (思判表力) 目的や機能、バランスの取れた美しさを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる。 (学・人) 映像メディア表現の特質や表現効果などを感じ取り作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる。	(知・技) 構成のよさやバランスを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 (思・判・表) 目的や機能、バランスの取れた美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。 (主学) 映像メディア表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。	(鑑賞) 好きなものを紹介する	・作品の画面構成、表現方法などの観点にしばった鑑賞会を行い発表する。 ・生徒作品、ワークシート ・iPad・プロジェクター
2 学期	14	(知及技) 版画制作に取り組み、自然や自己、生活などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成することができる。 (思判表力) 表現形式の特性を生かし形体や色彩、構成などについて深く考え、創造的な表現の構想を練ることができる。 (学・人) 意図に応じて材料や用具の特性を生かすことができる。	(知・技) 版画制作に取り組み、自然や自己、生活などを見つめ感じ取ったことや考えたこと、夢や想像などから主題を生成する。 (思・判・表) 表現形式の特性を生かし、形体や色彩、構成などについて深く考え、創造的な表現の構想を練る。 (主学) 意図に応じて材料や用具の特性を生かす。	(絵画・彫刻) 版画制作	・ドライポイント・木版画・一版多色版画の種類を知り、表現したい技法を選択する。 ・版への転写、線の強弱、刷りなど表現方法を工夫することができる。 ・学校生活や日常生活の中で、実際に体験したことを題材に下絵を描く。 ・彫刻刀、画板等
		(知及技) 陶芸の制作方法を踏まえ、意図に応じて材料や用具を生かすとともに、手順や技法を吟味し、創造的に表すことができる。 (思判表力) 使う人の願いや心情、使い勝手の良さを追求し機能と美しさとの調和を考え制作の構想を練ることができる。 (学・人) 使う人の願いや心情、生活を豊かに演出する表現活動の取り組みができる。	(知・技) 構図の取り方や構成を踏まえ、意図に応じて色彩や明暗を生かすとともに、手順や技法を吟味し、創造的に表現する。 (思・判・表) カレンダーの使い勝手の良さを追求し、機能と美しさとの調和を考え、制作の構想を練る。 (主学) 使う人の願いや心情、生活を豊かに演出する表現活動を主体的に取り組む。	(デザイン) カレンダー製作	・四季をイメージして描くことができる。 ・自分なりの発想で季節をイメージして表現することができる。 ・ワークシート、参考資料
		(知及技) イラストをなぞり描くことで、誰でも楽しく絵を描くことを学び、イメージを具体化することができる。 (思判表力) 作品を具体的に想像し、構想を練ることができる。 (学・人) ワークシートや参考資料を活用し、表現に合った様々な画材を選び工夫し構成や彩色することができる。	(知・技) 形や色彩、明暗、質感などの効果、全体のイメージなどを捉え、線の強弱や絵の具などの特性を生かして表現する。 (思・判・表) 身近なものの特徴や美しさなどを基に、形や色彩、質感などの効果や構想を練り表現する。 (主学) 身近なものの特徴や美しさなどを捉えて表す創造活動に、主体的に取り組む。	(絵画) iPadでイラストを描く方法を学ぶ	・ものの輪郭、形の特徴をとらえて描く。 ・イラストを模写し描写力を養う。 ・iPad(イラスト用アプリ) 「フリッククラブ」
3 学期	8	(知及技) 作品の全体像を具体的に想像し、イメージを具体化することができる。 (思判表力) 作品のイメージを思い描き具体的に想像し構想を練ることができる。 (学・人) ワークシートや参考資料を活用し、表現に合った様々な画材を選び工夫し構成や彩色することができる。	(知・技) 形や色彩、明暗、質感などの効果、全体のイメージなどを捉え、線の強弱や絵の具などの特性を生かして表現する。 (思・判・表) 身近なものの特徴や美しさなどを基に、形や色彩、質感などの効果や構想を練り表現する。 (主学) 身近なものの特徴や美しさなどを捉えて表す創造活動に、主体的に取り組む。	(絵画) iPadでコマ撮リアニメーションを作成する方法を学ぶ	・作品の構成を絵コンテで表現し、完成のイメージを高める。 ・iPad(イラスト用アプリ) 「コマコマ」
		(知及技) 構成のよさやバランスを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる。 (思判表力) 目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる。 (学・人) 映像メディア表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる。	(知・技) 構成のよさやバランスを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深められる。 (思・判・表) 目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深められる。 (主学) 映像メディア表現の特質や表現効果などを感じ取り、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深められる。	(鑑賞) 作品鑑賞	・作品の画面構成、表現方法などの観点にしばった鑑賞会を行い発表する。 ・生徒作品、ワークシート ・iPad・プロジェクター
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 1年 保健体育 年間指導計画

単位数 / 配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
3/105	1学年 20人		実技教材、ワークシート 視聴覚教材等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 各種の運動の特性に応じた技能等並びに個人生活及び社会生活における健康・安全についての理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 各種の運動や健康・安全についての自他や社会の課題を発見し、その解決に向けて仲間と思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (学・人) 生涯にわたって継続して運動に親しむことや、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	35	(知及技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を理解し、仲間と積極的に関わり、様々な動きを高めることができる。 (思判表力) 自他の課題を発見し、その解決策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 多様な経験を通して、決まりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技) 体ほぐしの運動や体の動きを高める運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法を理解し、仲間と積極的に関わり、様々な動きを高めることができる。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、その解決策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学) 多様な経験を通して、決まりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。	オリエンテーション 体づくり運動 (集団行動、新体カテスト等)	・ 集団行動を通して、集団の中で共通のルールや行動を身に付ける。 ・ 新体カテストを通して、自己の身体や体力について理解し、健康や体力の保持・増進のために必要な運動を知り、今後に役立てることを意識する。 ・ 教師の説明を聞いたり、手本を見たりして、行い方やルールを理解し、健康・安全に留意して取り組む。 ・ 仲間と協力して、用具の準備・片付けを行う。 ・ 学習カードを記入し、学習の振り返りを行う。
		(知及技) 球技の楽しさや、喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思判表力) 自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技) 球技の楽しさや、喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行っている。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学) 多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。	選択球技(男子：テニス、女子：卓球) (簡単な技能を習得し、ゲームを楽しもう)	・ ランニング、準備運動を行う。 ・ 基本的な技能を習得し、ラリーを中心に簡易化されたゲームに参加する。 ・ チーム決めや作戦などの話し合いを行い、仲間と連携した攻防を展開できるように練習をする。 ・ 球技の特性を理解し、健康・安全に留意して取り組む。 ・ 仲間と協力して、用具の準備・片付けを行う。 ・ 学習カードを記入し、学習の振り返りを行う。
		(知及技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等理解するとともに、健康で安全な個人生活及び営むための技能を身に付けることができる。 (思判表力) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等についての学習に主体的に取り組むことができる。	(知・技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等について、理解したことを言ったり書いたりしているとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けている。 (思・判・表) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等についての学習に主体的に取り組もうとしている。	保健 (健康の成り立ち、喫煙、飲酒、薬物乱用、熱中症の予防等、心身の機能発達に関すること)	・ 視聴覚教材を活用した教師の説明を聞き、ワークシートを記入する。 ・ 自分が疑問に思っていることや取り組める対策について、情報通信ネットワーク等を活用して調べ、まとめる。 ・ 考えたことやまとめたことを発表する。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
		(知及技) 球技の楽しさや、喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行うことができる。 (思判表力) 自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。 (学・人) 多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をすることができる。	(知・技) 球技の楽しさや、喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行っている。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学) 多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動をしている。	選択球技(男子：卓球、女子：バスケットボール) (簡単な技能を習得し、ゲームを楽しもう)	・ ランニング、準備運動を行う。 ・ 基本的な技能を習得し、簡易化されたゲームに参加する。 ・ チーム決めや作戦などの話し合いを行い、仲間と連携した攻防を展開できるように練習をする。 ・ 球技の特性を理解し、健康・安全に留意して取り組む。 ・ 仲間と協力して、用具の準備・片付けを行う。 ・ 学習カードを記入し、学習の振り返りを行う。

2 学 期	40	<p>(知及技) 陸上競技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けることができる。</p> <p>(思判表力) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。</p> <p>(学・人) 多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動することができる。</p>	<p>(知・技) 陸上競技の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解し、技能を身に付けている。</p> <p>(思・判・表) 自他の課題を発見し、その解決策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。</p> <p>(主学) 多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動している。</p>	陸上競技(短距離走・リレー)	<ul style="list-style-type: none"> ランニング、準備運動を行う。 視聴覚教材を活用した教師の説明を聞き、スタートの姿勢、腕の振り方など基本的な動きのポイントを確認する。 基本的な動きを身に付けるための練習を行う。 リレーのバトンパスの方法を確認し、グループに分かれてバトンパスの効率的な受け渡し方について考え、練習する。 仲間と協力して、用具の準備・片付けを行う。 学習カードを記入し、学習の振り返りを行う。
		<p>(知及技) 武道の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解し、基本動作や基本となる技を用いて、簡単な攻防を展開することができる。</p> <p>(思判表力) 自他の課題を発見し、その解決策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。</p> <p>(学・人) 多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動することができる。</p>	<p>(知・技) 武道の楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解し、基本動作や基本となる技を用いて、簡単な攻防を展開している。</p> <p>(思・判・表) 自他の課題を発見し、その解決策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。</p> <p>(主学) 多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動している。</p>	男女教習選択授業(空手、ダンス、エイサー)	<ul style="list-style-type: none"> (空手、ダンス、エイサー) 準備運動を行う。 教師の手本を見たり、視聴覚教材を活用した教師の説明を聞いたたりして、空手、ダンスやエイサーなどの基本動作を確認し、習得に向けて練習する。 基本動作の発表を行い、自他の課題を考え改善していく。 基本となる技を用いて、攻防を展開する。 武道の特性を理解し、健康・安全に留意して取り組む。 仲間と協力して、用具の準備・片付けを行う。 学習カードを記入し、学習の振り返りを行う。
		<p>(知及技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解し、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができる。</p> <p>(思判表力) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。</p> <p>(学・人) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等についての学習に主体的に取り組むことができる。</p>	<p>(知・技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等について、理解したことを言ったり書いたりしているとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けている。</p> <p>(思・判・表) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。</p> <p>(主学) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	保健(がん教育、疾病の予防、思春期の心身の発達、エイズに関すること)	<ul style="list-style-type: none"> 視聴覚教材を活用した教師の説明を聞き、ワークシートを記入する。 自分が疑問に思ったことや取り組める対策について、情報通信ネットワーク等を活用して調べ、まとめる。 考えたことやまとめたことを発表する。
学 期	時 数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
3 学 期	30	<p>(知及技) 陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けることができる。</p> <p>(思判表力) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。</p> <p>(学・人) 陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動することができる。</p>	<p>(知・技) 陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けている。</p> <p>(思・判・表) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えている。</p> <p>(主学) 陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に取り組んでいる。</p>	陸上競技(長距離走、駅伝)	<ul style="list-style-type: none"> ランニング、準備運動を行う。 視聴覚教材を活用した教師の説明を聞き、ペース配分や呼吸法、リズムカルで力みのない腕振りや走り方など長距離走に必要な基本的な動きを確認する。 駅伝競走でのタスキの渡し方を確認する。 時間走とペース走などの練習を行う。 一定のペースで走れるよう練習する。 仲間と協力して、用具の準備・片付けを行う。 学習カードを記入し、学習の振り返りを行う。
		<p>(知及技) 球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。</p> <p>(思判表力) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを目的や状況に応じて他者に伝えることができる。</p> <p>(学・人) 多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したりし、見通しを持って自主的に運動することができる。</p>	<p>(知・技) 球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行えている。</p> <p>(思・判・表) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを目的や状況に応じて他者に伝えている。</p> <p>(主学) 多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したりし、見通しを持って自主的に運動をしている。</p>	選択球技(男子：バスケットボール、女子：テニス)(基本的な技能を習得し、簡易的なゲームを楽しむ)	<ul style="list-style-type: none"> ランニング、準備運動を行う。 基本的な技能を習得し、簡易化されたゲームに参加する。 チーム決めや作戦などの話し合いを行い、仲間と連携した攻防を展開できるように練習をする。 球技の特性を理解し、健康・安全に留意して取り組む。 仲間と協力して、用具の準備・片付けを行う。 学習カードを記入し、学習の振り返りを行う。
		<p>(知及技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解し、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けることができる。</p> <p>(思判表力) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えることができる。</p> <p>(学・人) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等についての学習に主体的に取り組むことができる。</p>	<p>(知・技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等について、理解したことを言ったり書いたりしているとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けている。</p> <p>(思・判・表) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、その解決策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。</p> <p>(主学) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	保健(交通事故と自然災害、ストレスへの対処等、心身の機能発達に関すること)	<ul style="list-style-type: none"> 視聴覚教材を活用した教師の説明を聞き、ワークシートを記入する。 自分が疑問に思ったことや取り組める対策について、情報通信ネットワーク等を活用して調べ、まとめる。 考えたことやまとめたことを発表する。
留意点 引継ぎ等		○技能テスト(記録測定など)、活動の様子、提出物(体育カード、ワークシートなど)、持ち物管理、積極的な準備、片付け等で評価する。			

令和8年度 2年 保健体育 年間指導計画

単位数 / 配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3 / 105	2学年 20人		実技教材、ワークシート 視聴覚教材等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 各種の運動の特性に応じた技能等並びに個人生活及び社会生活についての理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付ける。 (思判表力) 各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、その解決に向けて仲間と思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (学・人) 生涯にわたって継続して運動に親しむことや、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	35	(知及技) 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法の理解を深めるとともに、仲間と自主的に関わったり、動きを持続する能力を高める運動をしたりするとともに、それらを組み合わせることができる。 (思判表力) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (学・人) 多様な経験を通して、決まりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動することができる。	(知・技) 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法の理解を深めるとともに、仲間と自主的に関わったり、動きを持続する能力を高める運動をしたりするとともに、それらを組み合わせることができる。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えている。 (主学) 多様な経験を通して、決まりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。	オリエンテーション 体づくり運動 (集団行動、新体力テスト等)	・集団行動を通して、集団の中で共通のルールや行動を身に付ける。 ・新体力テストを通して、自己の身体や体力について理解し、健康や体力の保持・増進のために必要な運動を知り、今後に役立てることを意識する。 ・教師の説明を聞いたり、手本を見たりして、行い方やルールを理解し、健康・安全に留意して取り組む。 ・仲間と協力して、用具の準備・片付けを行う。 ・学習カードを記入し、学習の振り返りを行う。
		(知及技) 球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。 (思判表力) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (学・人) 多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したりし、見通しを持って自主的に運動することができる。	(知・技) 球技の楽しさや、喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行えている。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学) 多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動している。	選択球技(男子：テニス、女子：バスケットボール) (基本的な技能を習得し、ラリーやゲームを楽しもう)	・ランニング、準備運動を行う。 ・基本的な技能を習得し、ゲームに参加する。 ・チーム決めや作戦などの話し合いを行い、仲間と連携した攻防を展開できるように練習をする。 ・球技の特性を理解し、健康・安全に留意して取り組む。 ・仲間と協力して、用具の準備・片付けを行う。 ・学習カードを記入し、学習の振り返りを行う。
		(知及技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解を深めるとともに、健康で安全な個人生活を営むための目的に応じた技能を身に付けることができる。 (思判表力) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりよいその解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (学・人) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等についての学習に主体的に取り組むことができる。	(知・技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等について、理解したことを言ったり書いたりしているとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けている。 (思・判・表) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりよいその解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えている。 (主学) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等についての学習に主体的に取り組もうとしている。	保健 (疾病の予防、熱中症、喫煙・飲酒、薬物乱用等)	・視聴覚教材を活用した教師の説明を聞き、ワークシートを記入する。 ・自分が疑問に思ったことや取り組める対策について、情報通信ネットワーク等を活用して調べ、まとめる。 ・考えたことやまとめたことを発表する。
		(知及技) 球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。 (思判表力) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (学・人) 多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したりし、見通しを持って自主的に運動することができる。	(知・技) 球技の楽しさや、喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行えている。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学) 多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動している。	選択球技(男子：卓球、女子：テニス) (基本的な技能を習得し、ラリーやゲームを楽しもう)	・ランニング、準備運動を行う。 ・基本的な技能を習得し、ゲームに参加する。 ・チーム決めや作戦などの話し合いを行い、仲間と連携した攻防を展開できるように練習をする。 ・球技の特性を理解し、健康・安全に留意して取り組む。 ・仲間と協力して、用具の準備・片付けを行う。 ・学習カードを記入し、学習の振り返りを行う。

2 学期	40	<p>(知・技) 陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けることができる。 (思判表力) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (学・人) 陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動することができる。</p>	<p>(知・技) 陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けている。 (思判表) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えている。 (主学) 陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に取り組んでいる。</p>	陸上競技(短距離走・リレー)	<ul style="list-style-type: none"> ランニング、準備運動を行う。 視聴覚教材を活用した教師の説明を聞き、スタートの姿勢、腕の振り方など基本的な動きのポイントを確認する。 基本的な動きを身に付けるための練習を行う。 リレーのバトンパスの方法を確認し、グループに分かれてバトンパスの効率的な受け渡し方について考え、練習する。 仲間と協力して、用具の準備・片付けを行う。 学習カードを記入し、学習の振り返りを行う。
		<p>(知・技) 武道やダンスの楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、基本動作や基本となる技を用いて、相手の動きの変化に応じた攻防を展開したり、演技発表することができる。 (思判表力) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (学・人) 多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しを持って自主的に運動することができる。</p>	<p>(知・技) 武道やダンスの楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、基本動作や基本となる技を用いて、相手の動きの変化に応じた攻防を展開したり、演技発表をしている。 (思判表) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えている。 (主学) 多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しを持って自主的に運動している。</p>	男女共習選択授業 (空手、ダンス、エイサー)	<p>(空手、ダンス、エイサー)</p> <ul style="list-style-type: none"> 準備運動を行う。 教師の手本を見たり、視聴覚教材を活用した教師の説明を聞いたりして、空手、ダンスなどの基本動作を確認し、習得に向けて練習する。 基本動作やダンスの発表を行い、自他の課題を考え改善していく。 基本となる技を用いて、攻防を展開する。 武道の特性を理解し、健康・安全に留意して取り組む。 情報通信ネットワーク等を活用して調べ、演技を構成し発表を行う。 仲間と協力して、用具の準備・片付けを行う。 学習カードを記入し、学習の振り返りを行う。
		<p>(知・技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解を深めるとともに、健康で安全な個人生活を営むための目的に応じた技能を身に付けることができる。 (思判表力) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりよいその解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (学・人) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等についての学習に主体的に取り組むことができる。</p>	<p>(知・技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等について、理解したことを言ったり書いたりしているとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けている。 (思判表) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりよいその解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えている。 (主学) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	保健 (出産、妊娠、性感染症、エイズ等)	<ul style="list-style-type: none"> 視聴覚教材を活用した教師の説明を聞き、ワークシートを記入する。 自分が疑問に思ったことや取り組める対策について、情報通信ネットワーク等を活用して調べ、まとめる。 考えたことやまとめたことを発表する。
3 学期	30	<p>(知・技) 陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けることができる。 (思判表力) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (学・人) 陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動することができる。</p>	<p>(知・技) 陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けている。 (思判表) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えている。 (主学) 陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に取り組んでいる。</p>	陸上競技(長距離走、駅伝)	<ul style="list-style-type: none"> ランニング、準備運動を行う。 視聴覚教材を活用した教師の説明を聞き、ペース配分や呼吸法、リズムカルで力みのない腕振りや走り方など長距離走に必要な基本的な動きを確認する。 駅伝競走でのタスキの渡し方を確認する。 時間走とペース走などの練習を行う。 一定のペースで走れるよう練習する。 仲間と協力して、用具の準備・片付けを行う。 学習カードを記入し、学習の振り返りを行う。
		<p>(知・技) 球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。 (思判表力) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (学・人) 多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したりし、見通しを持って自主的に運動をすることができる。</p>	<p>(知・技) 球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行っている。 (思判表) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを目的や状況に応じて他者に伝えている。 (主学) 多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したりし、見通しを持って自主的に運動をしている。</p>	選択球技(男子:バスケットボール、女子:バレーボール) (基本的な技能を習得し、ゲームを楽しもう)	<ul style="list-style-type: none"> ランニング、準備運動を行う。 基本的な技能を習得し、ゲームに参加する。 チーム決めや作戦などの話し合いを行い、仲間と連携した攻防を展開できるように練習をする。 球技の特性を理解し、健康・安全に留意して取り組む。 仲間と協力して、用具の準備・片付けを行う。 学習カードを記入し、学習の振り返りを行う。
		<p>(知・技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解を深めるとともに、健康で安全な個人生活を営むための目的に応じた技能を身に付けることができる。 (思判表力) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりよいその解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (学・人) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等についての学習に主体的に取り組むことができる。</p>	<p>(知・技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等について、理解したことを言ったり書いたりしているとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けている。 (思判表) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりよいその解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えている。 (主学) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	保健 (ストレスへの対処、交通事故と自然災害等)	<ul style="list-style-type: none"> 視聴覚教材を活用した教師の説明を聞き、ワークシートを記入する。 自分が疑問に思ったことや取り組める対策について、情報通信ネットワーク等を活用して調べ、まとめる。 考えたことやまとめたことを発表する。
	○技能テスト(記録測定など)、活動の様子、提出物(体育カード、ワークシートなど)、持ち物管理、積極的な準備、片付け等で評価する。				
	留意点 引継ぎ等				

令和8年度 3年 保健体育 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
3 / 105	3学年 20人		実技教材、ワークシート、 視聴覚教材等

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 各種の運動の特性に応じた技能等並びに個人生活及び社会生活についての理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身につける。 (思判表力) 各種の運動や健康・安全な生活を営むための自他の課題を発見し、その解決に向けて仲間と思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 (学・人) 生涯にわたって継続して運動に親しむことや、健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	10	(知及技) 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法の理解を深めるとともに、仲間と自主的に関わったり、動きを持続する能力を高める運動をしたりするとともに、それらを組み合わせることができる。 (思判表力) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (学・人) 体を動きを高める運動の多様な経験を通して、決まりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動することができる。	(知・技) 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方や方法の理解を深めるとともに、仲間と自主的に関わったり、動きを持続する能力を高める運動をしたりするとともに、それらを組み合わせることができる。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (主学) 体を動きを高める運動の多様な経験を通して、決まりを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動をしている。 ○活動の様子、記録測定、持ち物管理、小テスト、体育カード提出で評価する。	オリエンテーション 体づくり運動 (集団行動、新体力テスト等)	・体育授業の基礎・基本及び年間指導計画について ・健康管理について (基本的な生活習慣など) ・集団行動について (気を付け、整列、方向転換、列の増減など) ・ストレッチ体操や体づくり運動について ・新体力テストの各種名称や測定方法について ・自己の身体や体力について理解し、健康や体力の保持・増進のために必要な運動を知り、今後に役立てることを意識する。 ・教師の説明を聞いたり、手本を見たりして、行い方やルールを理解し、健康・安全に留意して取り組む。 ・仲間と協力して、用具の準備・片付けを行う。 ・学習カードを記入し、学習の振り返りを行う。
	18	(知及技) 球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。 (思判表力) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (学・人) 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したりし、見通しを持って自主的に運動することができる。	(知・技) 球技の楽しさや、喜びを味わい、その特性に応じた技能を理解するとともに技能を身に付け、簡易化されたゲームを行えている。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、その解決のための方策を工夫したり、仲間と考えたりしたことを他者に伝えている。 (主学) 球技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、自主的に運動している。 ○活動の様子、持ち物管理、技能テスト、体育カード提出で評価する。	選択球技(バドミントン・卓球・バスケットボール・バレーボールポッチャ・モルック等) (基本的な技能を習得し、ペアでのラリーやゲームを楽しもう)	・ランニング、準備運動を行う。 ・基本的な技能を習得し、ラリーを中心に簡易化されたゲームに参加する。 ・ダブルスのチーム決めや作戦などの話し合いを行い、仲間と連携した攻防を展開できるように練習をする。 ・球技の特性を理解し、健康・安全に留意して取り組む。 ・仲間と協力して、用具の準備・片付けを行う。 ・学習カードを記入し、学習の振り返りを行う。
	4	(知及技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解を深めるとともに、健康で安全な個人生活を営むための目的に応じた技能を身に付けることができる。 (思判表力) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりよいその解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (学・人) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等についての学習に主体的に取り組むことができる。	(知・技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等について、理解したことを言ったり書いたりしているとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けている。 (思・判・表) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりよいその解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えている。 (主学) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等についての学習に主体的に取り組もうとしている。 ○ワークシート、授業の様子、持ち物管理、小テスト、課題提出で評価する。	保健 (傷害の予防、熱中症と応急手当、喫煙・飲酒、薬物乱用等)	・視聴覚教材を活用した教師の説明を聞き、ワークシートを記入する。 ・自分が疑問に思ったことや取り組める対策について、情報通信ネットワーク等を活用して調べ、まとめる。 ・考えたことやまとめたことを発表する。

2	<p>(知及技) 運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義に関する基礎的な知識を身に付けることができる。 (思判表力) 運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、他者に伝えることができる。 (学・人) 運動やスポーツの多様性、効果的と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義について学習に自主的に取り組むことができる。</p>	<p>(知・技) 運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義に関する基礎的な知識を身に付けている。 (思・判・表) 運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、他者に伝えている。 (主学) 運動やスポーツの多様性、効果的と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義について学習に自主的に取り組んでいる。</p> <p>○ワークシート、授業の様子、持ち物管理、小テストで評価する。</p>	<p>スポーツの安全な行い方、マナーやルール、フェアプレイの精神を学ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚教材を活用した教師の説明を聞き、ワークシートを記入する。 ・自分が疑問に思ったことや取り組み方法について、情報通信ネットワーク等を活用して調べ、まとめる。 ・考えたことやまとめたことを発表する。
10	<p>(知及技) 球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。 (思判表力) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (学・人) 多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したりし、見通しを持って自主的に運動をすることができる。</p>	<p>(知・技) 球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行えている。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを目的や状況に応じて他者に伝えている。 (主学) 多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したりし、見通しを持って自主的に運動をしている。</p> <p>○活動の様子、持ち物管理、技能テスト、体育カード提出で評価する。</p>	<p>選択球技(バスケットボール、バレーボール) (基本的な技能を習得し、ゲームを楽しもう)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ランニング、準備運動を行う。 ・基本的な技能を習得し、簡易化されたゲームに参加する。 ・チーム決めや作戦などの話し合いを行い、仲間と連携した攻防を展開できるように練習をする。 ・球技の特性を理解し、健康・安全に留意して取り組む。 ・仲間と協力して、用具の準備・片付けを行う。 ・学習カードを記入し、学習の振り返りを行う。
18	<p>(知及技) 陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けることができる。 (思判表力) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (学・人) 陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動することができる。</p>	<p>(知・技) 陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けている。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えている。 (主学) 陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に取り組んでいる。</p> <p>○活動の様子、タイム測定、持ち物管理、実技テスト、体育カード提出で評価する。</p>	<p>陸上競技(短距離走・リレー)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ランニング、準備運動を行う。 ・視聴覚教材を活用した教師の説明を聞き、スタートの姿勢、腕の振り方など基本的な動きのポイントを確認する。 ・基本的な動きを身に付けるための練習を行う。 ・リレーのバトンパスの方法を確認し、グループに分かれてバトンパスの効率的な受け渡し方について考え、練習する。 ・仲間と協力して、用具の準備・片付けを行う。 ・学習カードを記入し、学習の振り返りを行う。
12	<p>(知及技) 武道やダンスの楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、基本動作や基本となる技を用いて、相手の動きの変化に応じた攻防を展開したり、演技発表することができる。 (思判表力) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (学・人) 武道やダンスの多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しを持って自主的に運動することができる。</p>	<p>(知・技) 武道やダンスの楽しさや喜びを味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、基本動作や基本となる技を用いて、相手の動きの変化に応じた攻防を展開したり、演技発表をしている。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えている。 (主学) 武道やダンス多様な経験を通して、きまりや伝統的な行動の仕方を守り、仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しを持って自主的に運動している。</p> <p>○活動の様子(演技発表等) 持ち物管理、体育カード提出で評価する。</p>	<p>選択授業 (空手、ダンス、【エイサー】)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・準備運動を行う。 ・教師の手本を見たり、視聴覚教材を活用した教師の説明を聞いたりして、空手やダンスなどの基本的な動作の習得に向けて練習する。 ・型や演技の発表を行い、自他の課題を考え改善していく。 ・武道やダンスの特性を理解し、健康・安全に留意して取り組む。 ・仲間と協力して、用具の準備・片付けを行う。 ・学習カードを記入し、学習の振り返りを行う。 ・情報通信ネットワーク等を活用して調べ、演技を構成し、発表を行う。
4	<p>(知及技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解を深めるとともに、健康で安全な個人生活を営むための目的に応じた技能を身に付けることができる。 (思判表力) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりよいその解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (学・人) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等についての学習に主体的に取り組むことができる。</p>	<p>(知・技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等について、理解したことを言ったり書いたりしているとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けている。 (思・判・表) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりよいその解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えている。 (主学) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>○ワークシート、授業の様子、持ち物管理、小テストで評価する。</p>	<p>保健 (出産、妊娠、性感染症、エイズ等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚教材を活用した教師の説明を聞き、ワークシートを記入する。 ・自分が疑問に思ったことや取り組み方法について、情報通信ネットワーク等を活用して調べ、まとめる。 ・考えたことやまとめたことを発表する。

3 学期	2	<p>(知及技) 運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義に関する基礎的な知識を身に付けることができる。 (思判表力) 運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、他者に伝えることができる。 (学・人) 運動やスポーツの多様性、効果的と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義について学習に自主的に取り組むことができる。</p>	<p>(知・技) 運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義に関する基礎的な知識を身に付けている。 (思・判・表) 運動やスポーツの多様性、効果と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義についての課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、他者に伝えている。 (主学) 運動やスポーツの多様性、効果的と学び方、安全な行い方及び文化としてのスポーツの意義について学習に自主的に取り組んでいる。</p> <p>○ワークシート、授業の様子、持ち物管理、小テストで評価する。</p>	<p>スポーツの多様性、オリンピック・パラリンピック、地域の障がい者スポーツ大会等を学ぶ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚教材を活用した教師の説明を聞き、ワークシートを記入する。 ・自分が疑問に思ったことや取り組み方法について、情報通信ネットワーク等を活用して調べ、まとめる。 ・考えたことやまとめたことを発表する。
	12	<p>(知及技) 陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けることができる。 (思判表力) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (学・人) 陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に運動することができる。</p>	<p>(知・技) 陸上競技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付けている。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えている。 (主学) 陸上競技の多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したり、場や用具の安全を確保したりし、見通しをもって自主的に取り組んでいる。</p> <p>○活動の様子（記録測定）、持ち物管理、体育カード提出で評価する。</p>	<p>陸上競技（長距離走、駅伝）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ランニング、準備運動を行う。 ・視聴覚教材を活用した教師の説明を聞き、ペース配分や呼吸法、リズムカルで力みのない腕振りや走り方など長距離走に必要な基本的な動きを確認する。 ・駅伝競走でのタスキの渡し方を確認する。 ・時間走とペース走などの練習を行う。 ・一定のペースで走れるよう練習する。 ・仲間と協力して、用具の準備・片付けを行う。 ・学習カードを記入し、学習の振り返りを行う。
	10	<p>(知及技) 球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行うことができる。 (思判表力) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (学・人) 多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したりし、見通しを持って自主的に運動をすることができる。</p>	<p>(知・技) 球技の楽しさや喜びを深く味わい、その特性に応じた技能の理解を深めるとともに、目的に応じた技能を身に付け、ゲームを行えている。 (思・判・表) 自他の課題を発見し、よりよい解決のために仲間と思考し判断したことを目的や状況に応じて他者に伝えている。 (主学) 多様な経験を通して、きまりやルール、マナーなどを守り、自己の役割を果たし仲間と協力したりし、見通しを持って自主的に運動をしている。</p> <p>○活動の様子、持ち物管理、技能テスト、体育カード提出で評価する。</p>	<p>選択球技(ティーボール、ポッチャ) (基本的な技能を習得し、ゲームを楽しもう)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ランニング、準備運動を行う。 ・基本的な技能を習得し、簡易化されたゲームに参加する。 ・チーム決めや作戦などの話し合いを行い、仲間と連携した攻防を展開できるように練習をする。 ・球技の特性を理解し、健康・安全に留意して取り組む。 ・仲間と協力して、用具の準備・片付けを行う。 ・学習カードを記入し、学習の振り返りを行う。
3	<p>(知及技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等を理解を深めるとともに、健康で安全な個人生活を営むための目的に応じた技能を身に付けることができる。 (思判表力) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりよいその解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えることができる。 (学・人) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等についての学習に主体的に取り組むことができる。 ※プロスポーツ観戦（県内プロ野球キャンプ等）の見学。公共施設利用の仕方、観戦マナーの学習の一環として取り組む。</p>	<p>(知・技) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等について、理解したことを言ったり書いたりしているとともに、健康で安全な個人生活を営むための技能を身に付けている。 (思・判・表) 健康・安全に関わる自他の課題を発見し、よりよいその解決のために仲間と思考し判断したことを、目的や状況に応じて他者に伝えている。 (主学) 心身の発育・発達、傷害の防止及び疾病の予防等についての学習に主体的に取り組もうとしている。 ○ワークシート、活動の様子、持ち物管理、小テストで評価する。 ※集団行動、観戦マナーの指導をおこなう。</p>	<p>保健 (ストレスへの対処、交通事故と自然災害、加齢にともなう健康等)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚教材を活用した教師の説明を聞き、ワークシートを記入する。 ・自分が疑問に思ったことや取り組める対策について、情報通信ネットワーク等を活用して調べ、まとめる。 ・考えたことやまとめたことを発表する。 <p>※校外学習計画書の提出</p>	
	留意点 引継ぎ等				

令和8年度 1年 職業 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	1年生 (20名)		<ul style="list-style-type: none"> ・新 見て分かるビジネス マナー集 ・くらしに役立つソシヤ ルスキル

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。 (学・人) よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して指導		(知及技) ・進路決定までの流れについて知り、見通しをもつことができる。 (思判表力) ・進路決定までの流れをイメージすることができる。 (学・人) ・職業の学習に関心を持ち、主体的に学習に取り組むことができる。	(知・技) ・進路決定までの流れについて理解している。 (思・判・表) ・予定表から進路決定までの流れをイメージすることができる。 (主学) ・職業の学習内容について関心を持ち、学んだことを様々な場面に当てはめて考えようとしている。	「オリエンテーション」	・職業の学習について知る。 ・進路決定までの流れについて知る。
		(知及技) ・働く目的を理解することができる。 (思判表力) ・働く生活を想像し、働くことで得られることについて考えることができる。 (学・人) ・働く目的について他の生徒と意見を交換することができる。	(知・技) ・働く目的について理解することができる。 (思・判・表) ・働くことで得られることについて、自分の考えを表現することができる。 (主学) ・自ら自分の意見を伝え、他の意見にも耳を傾けることができる。	「職業生活」	・働く目的について知る。 ・働くことで得られるメリットについて考える。
		(知及技) ・日常生活で身だしなみを意識できるよう、整えるための手段、方法を身に付けることができる。 (思判表力) ・天候に合わせた衣服の調整を判断したりすることができる。 (学・人) ・身だしなみを整えることが社会のルールであることを理解し、常に心掛けることができる。	(知・技) ・身だしなみを整えるための手段、方法を理解している。 (思・判・表) ・着替えにかかる時間を意識したり、天候に合わせて衣服を準備することができる。 (主学) ・身だしなみを意識し、その都度乱れに気が付き、整えることができる。	「身だしなみ」	・いつも清潔できちんとした身なりを保つ。
		(知及技) ・場にふさわしい言葉づかい、姿勢をとることができる。 (思判表力) ・場にふさわしい言葉遣いや態度を判断することができる。 (学・人) ・メモ取り練習では素早く書けるように自分に合った書き方を探すことができる。	(知・技) ・場にふさわしい言葉遣いを意識できる。 (思・判・表) ・自分の置かれている場を把握することができる。 (主学) ・メモ取り練習では素早く書くために自分に合った方法を探そうとすることができる。	「仕事をする上での基礎学習」	・正しい言葉づかい ・注意を受けた時の姿勢について ・できごと発表 ・メモ取り練習 ・依頼、報告の仕方 ・いろいろな職業を知ろう
		(知及技) ・就業体験の概要(目的・日程・持ち物・作業内容)を理解することができる。 (思判表力) ・就業体験に必要な心構え、態度について考えることができる。 (学・人) ・働くことを通して、就労意欲を高めながら、卒業後の進路について考えることができる。	(知・技) ・就業体験の概要を理解している。 (思・判・表) ・就業体験に必要な心構え、適切な態度について考えている。 (主学) ・就業体験を振り返り、今後の学校生活で取り組むべきことについて考えている。	「就業体験 事前・事後学習」	・就業体験の目的、日程、持ち物、作業内容について知る。 ・就業体験先での必要な心構えや態度を知る。 ・就業体験を振り返り、良さと課題などについて考える。 ・卒業後を見据えた、今後の目標について考える。
		(知及技) ・卒業後の職業生活に必要な知識や態度、技能を理解することができる。 (思判表力) ・実習を通して、自己の適性を理解することができる。 (学・人) ・働くことを通して、就労意欲を高めながら、卒業後の進路について考えることができる。	(知・技) ・実習で学んだ技術、態度について考えることができる。 (思・判・表) ・実習での成果、課題について考えることができる。 (主学) ・実習を振り返り、今後の学校生活で取り組むべき事について考えている。	「就業体験 事前・事後学習」	・実習でできたこと、できなかったことを振り返る。 ・次の実習の目標を立てる。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して指導		(知及技) ・自己理解の意義について理解することができる。 (思判表力) ・将来の職業生活を見据え、生活する力、働く力を自己評価することができる。 (学・人) ・将来の進路に向けて、現在の課題に向けた取り組みができる。	(知・技) ・自己理解の意義について具体的に理解している。 (思・判・表) ・評価票をもとに、働く力、生活する力を自己評価し、自分の長所と短所を考慮することができる。 (主学) ・今後の生活で改善すべきことを考えることができる。	「自己理解」	・自分ができていることを伸ばし、苦手なことを改善する。 ・自分の働く能力や職種の適性を知るために、保護者・先生・友達に相談したり、日々の学習・実習に取り組む。
		(知及技) ・身の回りの仕事、卒業生の仕事を知り、様々な職業について知ることができる。 (思判表力) ・様々な職業や職種について知り、必要な力について考え表現することができる。 (学・人) ・様々な職業で必要な力について知り、勤労意欲を高めることができる。	(知・技) ・様々な職業や職種があることを理解している。 (思・判・表) ・様々な職業、職種と必要な力との関連性を理解し、考えを深め発表できる。 (主学) ・自身の活動を振り返り、自身の適正について考え、前向きに受け入れることができる。	「いろいろな職業」	・卒業生やクラスメイトの実習の写真を振り返り、様々な職業があることを知る。 ・それらの職業で必要な力についてプリントにまとめ発表する。 ・職業と適正について、自分に置き換えて現実的に考える。
		(知及技) ・講話を聞くことで、働くために必要な力や態度について知ることができる。 (思判表力) ・将来の職業生活を見据え、必要な課題を設定することができる。 (学・人) ・講話を通して、今後に向けた目標を設定することができる。	(知・技) ・講話の内容から、働くために必要な力を確認することができる。 (思・判・表) ・講話の内容で自分に必要なこと、課題に気付きメモすることができる。 (主学) ・講話を振り返り、自分の生活に必要な力と今後の目標について考えることができる。	「社会のしくみと職業」	・講話を聞く態度を知る。 ・講師への質問を考える。 ・講話を通して、感想をまとめ、今後の生活に生かせるように目標を立てる。 ・履歴書の書き方を学習する。 ・模擬面接を行う。
		(知及技) ・将来の職業生活を見据えて、健康管理やTP0に応じた身だしなみについて知ることができる。 (思判表力) ・困った時の適切な対応について考え、表現することができる。 (学・人) ・卒業後の自立した生活について考え、より充実した生活を送るための意欲と態度を身につけることができる。	(知・技) ・健康を管理、維持するための行動について理解している。 (思・判・表) ・状況に応じた適切な言動について知り、望ましい行動について具体的に考えることができる。 (主学) ・日常生活の中で、働くために必要な力について考え、行動できる。	「勤労と生活」	・職業生活での健康管理、身だしなみの大切さを知る。 ・規則正しい生活リズム(仕事、生活環境に応じた生活スタイル)について知る。 ・安定し、自立した生活を送るために必要なスキル(報告・連絡・相談)について知る。 ・相談できる機関(中ぼつ、福祉事業所、計画相談)について知る。 ・困った時の適切な行動について考える。(グループワーク)
		(知及技) ・1年間の学習を振り返り、学んだことを整理し、働く力について理解を深めることができる。 (思判表力) ・将来的に社会人として、どのような生活を送りたいか考えることができる。 (学・人) ・2学年に向けて、成果と課題を整理し、目標を立てることができる。	(知・技) ・様々な働く力について理解している。 (思・判・表) ・自分の将来の生活について考え、そのために必要な力と具体的な行動について考え、表現することができる。 (主学) ・1年間の学習を振り返り、姓か今後の課題を考えることができる。	「まとめ」	・1年間の職業の学習を振り返る。 ・働くことの意義と働く力について考える。 ・1年間の学習について振り返り、成果と課題を整理する。
	留意点 引継ぎ等				

令和8年度 2年 職業 年間指導計画

単位数 / 配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	2年生 (20名)		くらしに役立つ ソーシャルスキルよりよく暮らす・働く・楽しむー

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。 (学・人) よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	1	(知及技) ・進路決定までの流れについて知り、見通しをもつことができる。 (思判表力) ・進路決定までの流れをイメージすることができる。 (学・人) ・職業の学習に関心をもち、主体的に学習に取り組むことができる。	(知・技) ・進路決定までの流れについて理解している。 (思・判・表) ・予定表から進路決定までの流れをイメージすることができる。 (主学) ・職業の学習内容について関心をもち、学んだことを様々な場面に当てはめて考えようとしている。	「オリエンテーション」	・職業の学習について知る。 ・進路決定までの流れについて知る。
	2	(知及技) ・働く目的を理解することができる。 (思判表力) ・働く生活を想像し、働くことで得られることについて考えることができる。 (学・人) ・働く目的について他の生徒と意見を交換することができる。	(知・技) ・働く目的について理解することができる。 (思・判・表) ・働くことで得られることについて、自分の考えを表現することができる。 (主学) ・自ら自分の意見を伝え、他の意見にも耳を傾けることができる。	「職業生活」	・働く目的について知る。 ・働くことで得られるメリットについて考える。
	2	(知及技) ・日常生活で身だしなみを意識できるように、整えるための手段、方法を身に付けることができる。 (思判表力) ・天候に合わせた衣服の調整を判断したりすることができる。 (学・人) ・身だしなみを整えることが社会のルールであることを理解し、常に心掛けることができる。	(知・技) ・身だしなみを整えるための手段、方法を理解している。 (思・判・表) ・着替えにかかる時間を意識したり、天候に合わせて衣服を準備することができる。 (主学) ・身だしなみを意識し、その都度乱れに気が付き、整えることができる。	「身だしなみ」	・いつも清潔できちんとした身なりを保つ。
	3	(知及技) ・場にあさわしい言葉づかい、姿勢をとることができる。 (思判表力) ・場にあさわしい言葉遣いや態度を判断することができる。 (学・人) ・メモ取り練習では素早く書けるように自分に合った書き方を探ることができる。	(知・技) ・場にあさわしい言葉遣いを意識できる。 (思・判・表) ・自分の置かれている場を把握することができる。 (主学) ・メモ取り練習では素早く書くために自分に合った方法を探そうとすることができる。	「仕事をする上での基礎学習」	・正しい言葉づかい ・注意を受けた時の姿勢について ・できごと発表 ・メモ取り練習 ・依頼、報告の仕方 ・いろいろな職業を知ろう
	2	(知及技) ・就業体験の概要(目的・日程・持ち物・作業内容)を理解することができる。 (思判表力) ・就業体験に必要な心構え、態度について考えることができる。 (学・人) ・働くことを通して、就労意欲を高めながら、卒業後の進路について考えることができる。	(知・技) ・就業体験の概要を理解している。 (思・判・表) ・就業体験に必要な心構え、適切な態度について考えている。 (主学) ・就業体験を振り返り、今後の学校生活で取り組むべきことについて考えている。	「就業体験 事前・事後学習」	・就業体験の目的、日程、持ち物、作業内容について知る。 ・就業体験先での必要な心構えや態度を知る。 ・就業体験を振り返り、良さや課題などについて考える。 ・卒業後を見据えた、今後の目標について考える。
	4	(知及技) ・卒業後の職業生活に必要な知識や態度、技能を理解することができる。 (思判表力) ・実習を通して、自己の適性を理解することができる。 (学・人) ・働くことを通して、就労意欲を高めながら、卒業後の進路について考えることができる。	(知・技) ・実習で学んだ技術、態度について考えることができる。 (思・判・表) ・実習での成果、課題について考えることができる。 (主学) ・実習を振り返り、今後の学校生活で取り組むべき事について考えている。	「就業体験・校内実習」 「適職診断」	・実習でできたこと、できなかったことを振り返る。 ・次の実習の目標を立てる。 ・適職診断等を活用し、生徒の職業の幅を広げる。

2 学 期	4	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己理解の意義について理解することができる。 (思判表力) 将来の職業生活を見据え、生活する力、働く力を自己評価することができる。 (学・人) 将来の進路に向けて、現在の課題に向けた取り組みができる。 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己理解の意義について具体的に理解している。 (思・判・表) 評価票をもとに、働く力、生活する力を自己評価し、自分の長所と短所を考えることができる。 (主学) 今後の生活で改善すべきことを考えることができる。 	「自己理解」	<ul style="list-style-type: none"> 自分ができていることを伸ばし、苦手なことを改善する。 自分の働く能力や職種の適性を知るために、保護者・先生・友達に相談したり、日々の学習・実習に取り組む。
	8	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 身の回りの仕事、卒業生の仕事を知り、様々な職業について知ることができる。 (思判表力) 様々な職業や職種について知り、必要な力について考え表現することができる。 (学・人) 様々な職業で必要な力について知り、勤労意欲を高めることができる。 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な職業や職種があることを理解している。 (思・判・表) 様々な職業、職種と必要な力との関連性を理解し、考えを深め発表できる。 (主学) 自身の活動を振り返り、自身の適正について考え、前向きに受け入れることができる。 	「いろいろな職業」 「職業調べ」	<ul style="list-style-type: none"> 卒業生やクラスメイトの実習の写真を振り返り、様々な職業があることを知る。 それらの職業で必要な力についてプリントにまとめ発表する。 職業と適正について、自分に置き換えて現実的に考える。 職業について調べ、見通しを持った職業選択に繋げる。
	4	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 講話を聞くことで、働くために必要な力や態度について知ることができる。 (思判表力) 将来の職業生活を見据え、必要な課題を設定することができる。 (学・人) 講話を通して、今後に向けた目標を設定することができる。 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 講話の内容から、働くために必要な力を確認することができる。 (思・判・表) 講話の内容で自分に必要なこと、課題に気付きメモすることができる。 (主学) 講話を振り返り、自分の生活に必要な力と今後の目標について考えることができる。 	「社会のしくみと職業」	<ul style="list-style-type: none"> 講話を聞く態度を知る。 講師への質問を考える。 講話を通して、感想をまとめ、今後の生活に生かせるように目標を立てる。
3 学 期	2	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 将来の職業生活を見据えて、健康管理やTP01に応じた身だしなみについて知ることができる。 (思判表力) 困った時の適切な対応について考え、表現することができる。 (学・人) 卒業後の自立した生活について考え、より充実した生活を送るための意欲と態度を身につけることができる。 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康を管理、維持するための行動について理解している。 (思・判・表) 状況に応じた適切な言動について知り、望ましい行動について具体的に考えることができる。 (主学) 日常生活の中で、働くために必要な力について考え、行動できる。 	「勤労と生活」	<ul style="list-style-type: none"> 職業生活での健康管理、身だしなみの大切さを知る。 規則正しい生活リズム（仕事、生活環境に応じた生活スタイル）について知る。 安定し、自立した生活を送るために必要なスキル（報告・連絡・相談）について知る。 相談できる機関（中ぽつ、福祉事業所、計画相談）について知る。 困った時の適切な行動について考える。（グループワーク）
	3	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1年間の学習を振り返り、学んだことを整理し、働く力について理解を深めることができる。 (思判表力) 将来的に社会人として、どのような生活を送りたいか考えることができる。 (学・人) 3学年に向けて、成果と課題を整理し、目標を立てることができる。 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な働く力について理解している。 (思・判・表) 自分の将来の生活について考え、そのために必要な力と具体的な行動について考え、表現することができる。 (主学) 2年間の学習を振り返り、姓かど今後の課題を考えることができる。 	「まとめ」	<ul style="list-style-type: none"> 1年間の職業の学習を振り返る。 働くことの意義と働く力について考える。 2年間の学習について振り返り、成果と課題を整理する。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 3年 職業 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	3年生 (20名)		くらしに役立つ ソーシャルスキル ーよりよく暮らす・働く・楽しむー

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 職業に関する事柄について理解を深めるとともに、将来の職業生活に係る技能を身に付けるようにする。 (思判表力) 将来の職業生活を見据え、必要な事柄を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現する力を養う。 (学・人) よりよい将来の職業生活の実現や地域社会への貢献に向けて、生活を改善しようとする実践的な態度を養う。
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	1	(知及技) ・進路決定までの流れについて知り、見直しをもつことができる。 (思判表力) ・進路決定までの流れをイメージすることができる。 (学・人) ・職業の学習に関心をもち、主体的に学習に取り組むことができる。	(知・技) ・進路決定までの流れについて理解している。 (思・判・表) ・予定表から進路決定までの流れをイメージすることができる。 (主学) ・職業の学習内容について関心をもち、学んだことを様々な場面に当てはめて考えようとしている。	「オリエンテーション」	・職業の学習について知る。 ・進路決定までの流れについて知る。
	2	(知及技) ・働く目的を理解することができる。 (思判表力) ・働く生活を想像し、働くことで得られることについて考えることができる。 (学・人) ・働く目的について他の生徒と意見を交換することができる。	(知・技) ・働く目的について理解することができる。 (思・判・表) ・働くことで得られることについて、自分の考えを表現することができる。 (主学) ・自ら自分の意見を伝え、他の意見にも耳を傾けることができる。	「職業生活」	・働く目的について知る。 ・働くことで得られるメリットについて考える。
	2	(知及技) ・日常生活で身だしなみを意識できるよう、整えるための手段、方法を身に付けることができる。 (思判表力) ・天候に合わせた衣服の調整を判断したりすることができる。 (学・人) ・身だしなみを整えることが社会のルールであることを理解し、常に心掛けることができる。	(知・技) ・身だしなみを整えるための手段、方法を理解している。 (思・判・表) ・着替えにかかる時間を意識したり、天候に合わせて衣服を準備することができる。 (主学) ・身だしなみを意識し、その都度乱れに気が付き、整えることができる。	「身だしなみ」	・いつも清潔できちんとした身なりを保つ。
	3	(知及技) ・場にふさわしい言葉づかい、姿勢をとることができる。 (思判表力) ・場にふさわしい言葉遣いや態度を判断することができる。 (学・人) ・メモ取り練習では素早く書けるように自分に合った書き方を探ることができる。	(知・技) ・場にふさわしい言葉遣いを意識することができる。 (思・判・表) ・自分の置かれている場を把握することができる。 (主学) ・メモ取り練習では素早く書くために自分に合った方法を探そうとすることができる。	「仕事をする上での基礎学習」	・正しい言葉づかい ・注意を受けた時の姿勢について ・できごと発表 ・メモ取り練習 ・依頼、報告の仕方 ・いろいろな職業を知ろう
	2	(知及技) ・就業体験の概要(目的・日程・持ち物・作業内容)を理解することができる。 (思判表力) ・就業体験に必要な心構え、態度について考えることができる。 (学・人) ・働くことを通して、就労意欲を高めながら、卒業後の進路について考えることができる。	(知・技) ・就業体験の概要を理解している。 (思・判・表) ・就業体験に必要な心構え、適切な態度について考えている。 (主学) ・就業体験を振り返り、今後の学校生活で取り組むべきことについて考えている。	「就業体験 事前・事後学習」	・就業体験の目的、日程、持ち物、作業内容について知る。 ・就業体験先での必要な心構えや態度を知る。 ・就業体験を振り返り、良さや課題などについて考える。 ・卒業後を見据えた、今後の目標について考える。
	4	(知及技) ・卒業後の職業生活に必要な知識や態度、技能を理解することができる。 (思判表力) ・実習を通して、自己の適性を理解することができる。 (学・人) ・働くことを通して、就労意欲を高めながら、卒業後の進路について考えることができる。	(知・技) ・実習で学んだ技術、態度について考えることができる。 (思・判・表) ・実習での成果、課題について考えることができる。 (主学) ・実習を振り返り、今後の学校生活で取り組むべき事について考えている。	「就業体験・校内実習」 「適職診断」	・実習でできたこと、できなかったことを振り返る。 ・次の実習の目標を立てる。 ・適職診断等を活用し、生徒の職業の幅を広げる。

2 学期	4	<p>(知及技) ・自己理解の意義について理解することができる。</p> <p>(思判表力) ・将来の職業生活を見据え、生活する力、働く力を自己評価することができる。</p> <p>(学・人) ・将来の進路に向けて、現在の課題に向けた取り組みができる。</p>	<p>(知・技) ・自己理解の意義について具体的に理解している。</p> <p>(思・判・表) ・評価票をもとに、働く力、生活する力を自己評価し、自分の長所と短所を考えることができる。</p> <p>(主学) ・今後の生活で改善すべきことを考えることができる。</p>	「自己理解」	<ul style="list-style-type: none"> ・自分ができることを伸ばし、苦手なことを改善する。 ・自分の働く能力や職種の適性を知るために、保護者・先生・友達に相談したり、日々の学習・実習に取り組む。
	8	<p>(知及技) ・身の回りの仕事、卒業生の仕事を知り、様々な職業について知ることができる。</p> <p>(思判表力) ・様々な職業や職種について知り、必要な力について考え表現することができる。</p> <p>(学・人) ・様々な職業で必要な力について知り、勤労意欲を高めることができる。</p>	<p>(知・技) ・様々な職業や職種があることを理解している。</p> <p>(思・判・表) ・様々な職業、職種と必要な力の関連性を理解し、考えを深め発表できる。</p> <p>(主学) ・自身の活動を振り返り、自身の適正について考え、前向きに受け入れることができる。</p>	<p>「いろいろな職業」</p> <p>「職業調べ」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・卒業生やクラスメイトの実習の写真を振り返り、様々な職業があることを知る。 ・それらの職業で必要な力についてプリントにまとめ発表する。 ・職業と適正について、自分に置き換えて現実的に考える。 ・職業について調べ、見通しを持った職業選択に繋げる。
	4	<p>(知及技) ・講話を聞くことで、働くために必要な力や態度について知ることができる。</p> <p>(思判表力) ・将来の職業生活を見据え、必要な課題を設定することができる。</p> <p>(学・人) ・講話を通して、今後に向けた目標を設定することができる。</p>	<p>(知・技) ・講話の内容から、働くために必要な力を確認することができる。</p> <p>(思・判・表) ・講話の内容で自分に必要なこと、課題に気付きメモすることができる。</p> <p>(主学) ・講話を振り返り、自分の生活に必要な力と今後の目標について考えることができる。</p>	「社会のしくみと職業」	<ul style="list-style-type: none"> ・講話を聞く態度を知る。 ・講師への質問を考える。 ・講話を通して、感想をまとめ、今後の生活に生かせるように目標を立てる。
3 学期	2	<p>(知及技) ・将来の職業生活を見据えて、健康管理やTPOに応じた身だしなみについて知ることができる。</p> <p>(思判表力) ・困った時の適切な対応について考え、表現することができる。</p> <p>(学・人) ・卒業後の自立した生活について考え、より充実した生活を送るための意欲と態度を身につけることができる。</p>	<p>(知・技) ・健康を管理、維持するための行動について理解している。</p> <p>(思・判・表) ・状況に応じた適切な言動について知り、望ましい行動について具体的に考えることができる。</p> <p>(主学) ・日常生活の中で、働くために必要な力について考え、行動できる。</p>	「勤労と生活」	<ul style="list-style-type: none"> ・職業生活での健康管理、身だしなみの大切さを知る。 ・規則正しい生活リズム（仕事、生活環境に応じた生活スタイル）について知る。 ・安定し、自立した生活を送るために必要なスキル（報告・連絡・相談）について知る。 ・相談できる機関（中ぼつ、福祉事業所、計画相談）について知る。 ・困った時の適切な行動について考える。（グループワーク）
	3	<p>(知及技) ・1年間の学習を振り返り、学んだことを整理し、働く力について理解を深めることができる。</p> <p>(思判表力) ・社会人として、どのような生活を送りたいか考えることができる。</p> <p>(学・人) ・卒業後に向けて、成果と課題を整理し、目標を立てることができる。</p>	<p>(知・技) ・様々な働く力について理解している。</p> <p>(思・判・表) ・自分の将来の生活について考え、そのために必要な力と具体的な行動について考え、表現することができる。</p> <p>(主学) ・3年間の学習を振り返り、姓か今後の課題を考えることができる。</p>	「まとめ」	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間の職業の学習を振り返る。 ・働くことの意義と働く力について考える。 ・3年間の学習について振り返り、成果と課題を整理する。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 1年 家庭 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	1年生(20名)		ウェルビーイングにつなぐ 家庭総合(教育図書)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) ・家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けようとする。 (思判表力) ・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。 (学・人) ・家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	2	(知及技) ・被服実習における教室利用方法と基本的な注意事項を確認することができる。 (思判表力) ・学習内容と実習の心構え、年間計画を理解し、見通しを持つことができる。 (学・人) ・よりよい生活の実現に向け、自立を意識し主体的に取り組むことができる。	(知・技) ・被服実習における教室利用方法と基本的な注意事項を確認している。 (思・判・表) ・学習内容、実習の心構えなどを理解しプリントに記入している。 (主学) ・家庭科で身につけたい内容について考え、プリントに記入している。	・オリエンテーション ・被服実習の心構え	・学習内容・年間計画 ・教室利用の仕方 ・注意事項、マナー、被服実習態度について ・ワークシート (iPad・視覚教材・PowerPoint)
	8	(知及技) ・用具の安全な取り扱いについて理解し、適切に活動できる。 (思判表力) ・目的に応じた縫い方について考え、工夫できる。 (学・人) ・道具の準備・片づけを協力して行うことができる。	(知・技) ・裁縫用具の名称を覚え、安全に気を付け、手縫いができる。 (思・判・表) ・毎時間まとめプリントへ学習内容・目標・自己評価、感想反省を記入し、実習を振り返っている。 (主学) ・共同で使うアイロンの準備・片づけを、お互い声掛け合い協力して行っている。	・基礎技術(手縫い)	・裁縫用具の名称と取り扱い ・手縫いの基礎技術(玉結び、玉止め、なみ縫い、返し縫い) ・まとめプリント (iPad・視覚教材・PowerPoint)
2学期	3	(知及技) ・人の生活と衣服の関り、衣服の主な機能について理解する。 (思判表力) ・快適な着装について問題を見出して課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして、課題を解決する力を身につける。 (学・人) ・自分の衣服計画について、振り返り、家庭生活の充実向上を目指し課題解決に向けて主体的に取り組むことができる。	(知・技) ・衣服のおもな機能について理解している。 (思・判・表) ・自分の着装について問題を見出して、課題を設定し、課題解決に向けて工夫している。 (主学) ・取り扱い表示を理解し、適切な洗濯方法について工夫して生活の中に取り入れ実践している。	・衣服の表示 ・日常着の手入れ	・取り扱い表示、洗剤の種類 ・TPOに応じた衣服の選択と手入れ ・ワークシート (iPad・視覚教材・PowerPoint)
	7	(知及技) ・用具の取り扱いについて理解し、適切に活動できる。 (思判表力) ・目的に応じた縫い方について考え、工夫できる。 (学・人) ・道具の準備・片づけを協力して行うことができる。	(知・技) ・安全に気を付け、被服製作ができる。 (思・判・表) ・毎時間まとめプリントへ学習内容・目標・自己評価、感想反省を記入し、実習を振り返っている。 (主学) ・共同で使うアイロンやミシンなどの準備・片づけを、お互い声掛け合い協力して行っている。	・被服製作(刺し子コースター)	・手縫いの基礎技術 ・まとめプリント (iPad・視覚教材・PowerPoint)

2 学期	3	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地震や台風などの災害の種類や、暮らしへの影響について基本的なことを理解している。 災害から身を守るための行動(避難のしかた、危険な場所の確認など)を知っている。 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の家や学校、地域で起こり得る災害を考えている。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害から自分の命を守ることの大切さに気付き、関心をもって学ぶことができる。 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 地震や台風などの主な災害の特徴や、生活への影響について基本的な内容を理解している。 安全に行動するための方法(避難の仕方や備え)を説明できる。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の生活(家庭・学校・地域)における災害の危険性について考えている。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害や防災について関心を持ち、自分の生活と結び付けて学習に取り組んでいる。 	<p>住生活</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害・防災について 	<ul style="list-style-type: none"> 地震・台風・津波の特徴をクイズ形式で確認 ワークシート <p>(iPad・視覚教材等)</p>
	2	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全と衛生に留意しながら調理器具を扱い、災害食の調理ができる。 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考えることができる。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> 仲間と協力し調理に必要な道具の準備や片づけ、調理の役割分担について確認できる。 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全と衛生に気を付け、災害食の調理を適切に行っている。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> まとめプリントへ学習内容・目標・自己評価、反省感想を記入し、実習を振り返っている。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> 仲間と話し合いながら、協力して調理を進めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 食品衛生 災害食の調理 	<ul style="list-style-type: none"> レトルト食品をアレンジしたメニュー 災害時に活用できる道具等 まとめプリント <p>(iPad・視覚教材・PowerPoint)</p>
3 学期	10	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 用具の取り扱いについて理解し、適切に活動できる。 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的に応じた縫い方について考え、工夫できる。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> 道具の準備・片づけを協力して行うことができる。 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全に気を付け、被服製作ができる。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎時間まとめプリントへ学習内容・目標・自己評価、感想反省を記入し、実習を振り返っている。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> 共同で使うアイロンやミシンなどの準備・片づけを、お互い声掛け合い協力して行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎技術(ミシン) 被服製作(クッション) 	<ul style="list-style-type: none"> ミシン縫いの基礎技術 被服製作(クッション) まとめプリント <p>(iPad・視覚教材・PowerPoint)</p>
留意点 引継ぎ等		※基本的に、学期毎に筆記テストや実技テストを行う。また、製作物や提出物、授業態度等、総合的に評価を行う。			

令和8年度 2年 家庭 年間指導計画

単位数 /配当時 数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	2年生(20名)		Survive!!

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) ・家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けようとする。 (思判表力) ・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。 (学・人) ・家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。		
------	---	--	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期 2 6	2	(知及技) ・被服実習における教室利用方法と基本的な注意事項を確認することができる。 (思判表力) ・学習内容と実習の心構え、年間計画を理解し、見直しを持つことができる。 (学・人) ・よりよい生活の実現に向け、自立を意識し主体的に取り組むことができる。	(知及技) ・被服実習における教室利用方法と基本的な注意事項を確認している。 (思・判・表) ・学習内容、実習の心構えなどを理解しプリントに記入している。 (学・人) ・家庭科で身につけたい内容について考え、プリントに記入している。	・オリエンテーション ・被服実習の心構え	・教室利用の仕方 ・注意事項、マナー、被服実習態度について ・学習内容・年間計画 ・ワークシート (iPad・視覚教材・PowerPoint)
	14	(知及技) ・用具の安全な取り扱いについて理解し、適切に活動できる。 (思判表力) ・目的に応じた縫い方について考え、工夫できる。 (学・人) ・道具の準備・片づけを協力して行うことができる。	(知・技) ・裁縫用具の名称を覚え、安全に気を付け、手縫い、ミシン縫いができる。 (思・判・表) ・プリントに学習内容・目標・自己評価、感想反省を記入し、実習を振り返っている。 (学・人) ・共同で使うアイロンやミシンなどの準備・片づけを、お互い声を掛け合い協力して行っている。	・基礎技術 ・ミシンの使用方法 ・被服製作	・裁縫用具の取り扱い ・基礎縫い(手縫い) ・ミシンの基本 ・エプロン製作、刺し子 (iPad・視覚教材・PowerPoint)
	6	(知及技) ・調理実習の心構えについて知り、調理器具の名称と用具の安全な取り扱いについて理解できる。 (思判表力) ・調理実習における学習内容を確認し、見直しを持つことができる。 (学・人) ・よりよい生活の実現に向け、自立を意識し主体的に取り組むことができる。	(知及技) ・調理器具の名称と用具の安全な取り扱いについてプリントにまとめ確認している。 (思・判・表) ・調理実習における教室利用の仕方や実習の心構え、学習内容などを理解しプリントにまとめている。 (学・人) ・作ってみたいレシピについて考えまとめている。	・調理実習の心構え ・調理器具の取り扱いと保管	・調理室利用の仕方 ・注意事項、マナー、調理実習態度について ・食器洗いの仕方 ・ワークシート (PowerPoint)
	4	(知及技) ・安全と衛生に留意しながら調理器具を扱い、日常食の調理ができる。 (思判表力) ・基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考えることができる。 (学・人) ・仲間と協力し調理に必要な道具の準備や片づけ、調理の役割分担について確認できる。	(知・技) ・安全と衛生に気を付け、基本的な日常食の調理を適切に行っている。 (思・判・表) ・まとめプリントに学習内容・目標・自己評価、反省感想を記入し、実習を振り返っている。 (学・人) ・仲間と話し合いながら、協力して調理を進めることができる。	・食品衛生 ・調理の基礎(ホットケーキ)	・調理の際の身支度・準備・調理・片付け ・日常食の調理 ・まとめプリント (iPad・視覚教材・PowerPoint)
2 学期	4	(知及技) ・生活の中で食事が果たす役割について理解できる。 (思判表力) ・健康に良い食習慣を目指して、自分なりに工夫して課題学習に取り組むことができる。 (学・人) ・栄養バランスを意識した一日の献立について考えることができる。	(知・技) ・食事が果たす役割について確認し、ワークシートに記入することができる。 (思・判・表) ・健康に良い食習慣について考え、自らの食生活について振り返っている。 (主学) ・5大栄養素など、学習したことを振り返り、献立を考えている。	・食事の役割 ・五大栄養素 ・ホームプロジェクト	・食事が果たす役割について ・栄養素の種類と働きについて ・健康に良い食習慣について ・課題学習 (iPad・視覚教材・PowerPoint)
	8	(知及技) ・衣服と社会生活のかかわりについて理解し、TPOに応じた衣服選択ができる。 (思判表力) ・衛生と健康について考え工夫することができる。 (学・人) ・取り扱い絵表示を見て、衣服の素材や靴など状態に応じた手入れの方法を知り実践できる。	(知・技) ・家庭生活の中で目的や場所に合った衣服を考え、工夫して生活の中に取り入れ実践している。 (思・判・表) ・日常着や靴などの適切な手入れの仕方を学び、実際に取り組んだことをまとめて発表している。 (主学) ・取り扱い表示を理解し、適切な洗濯方法について工夫して生活の中に取り入れ実践している。	・衣生活	・衣服の役割 ・衣服の素材と種類 ・TPOに応じた衣服の選択 ・ワークシート (iPad・視覚教材・PowerPoint)

期 2 8	12	(知及技) ・安全と衛生に留意しながら調理器具を扱い、日常食の調理ができる。 (思判表力) ・基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考えることができる。 (学・人) ・仲間と協力し調理に必要な道具の準備や片づけ、調理の役割分担について確認できる。	(知・技) ・安全と衛生に気を付け、基本的な日常食の調理を適切に行っている。 (思・判・表) ・まとめプリントに学習内容・目標・自己評価、反省感想を記入し、実習を振り返っている。 (学・人) ・仲間と話し合いながら、協力して調理を進めることができる。	・食品衛生 ・調理の基礎	・調理の際の身支度・準備・調理・片付け ・日常食の調理 ・まとめプリント (iPad・視覚教材・PowerPoint)
	4	(知及技) ・住まいの主な機能や、ライフステージと住生活の特徴について理解する。 (思判表力) ・自分の住生活について、問題を見出して課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして、課題を解決する力を身につける。 (学・人) ・安全で快適な住まいのための計画・管理について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭生活の充実向上を目指して実践しようとする。	(知・技) ・住まいの主な機能について理解している。 (思・判・表) ・自分の住生活について問題を見出して課題を設定し、課題解決に向けて工夫している。 (主学) ・安全で快適な住まいのための計画・管理について課題の解決に主体的に取り組もうとしている。	・人と住まい ・ライフスタイルと住まい ・安全な住まい	・住まいの機能と役割 ・住まいの様式の変化 ・快適な住空間を考える ・家庭内事故への対策 ・自然災害等への対策 ・ワークシート (PowerPoint)
3 学 期 1 6	10	(知及技) ・購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解できる。 (思判表力) ・物資サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、工夫することができる。 (学・人) ・お金の稼ぎ方やお金との付き合い方について自分事として考え、取り組むことができる。	(知・技) ・自立に向けて身近な消費生活や環境などについて自分の生活と結びつけて考え、基礎的な知識を身につけて生活に生かそうとしている。 (思・判・表) ・消費者被害の種類と回避する方法を学び、自分の経済状況に合った物資サービスを選択できる。 (主学) ・自分の消費活動を振り返り、自分事として考え取り組んでいる。	・消費生活・環境	・自分の消費行動 ・悪徳商法 ・クレジット、ローン ・消費者問題 ・情報収集と意思決定 (iPad・視覚教材・ワークシート、ボードゲーム)
	6	(知及技) ・安全と衛生に留意しながら調理器具を扱い、日常食の調理ができる。 (思判表力) ・基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考えることができる。 (学・人) ・仲間と協力し調理に必要な道具の準備や片づけ、調理の役割分担について確認できる。	(知・技) ・安全と衛生に気を付け、基本的な日常食の調理を適切に行っている。 (思・判・表) ・まとめプリントに学習内容・目標・自己評価、反省感想を記入し、実習を振り返っている。 (学・人) ・仲間と話し合いながら、協力して調理を進めることができる。	・調理の基礎	・調理の際の身支度・準備・調理・片付け ・簡単な日常食 ・まとめプリント (iPad・視覚教材・PowerPoint)
留意点 引継ぎ等	※基本的に、学期毎に筆記テストや実技テストを行う。また、製作物や提出物、授業態度等、総合的に評価を行う。				

令和8年度 3年 家庭 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	3年生(20名)		Survive!!

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	<p>(知及技) ・家族・家庭の機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けようとする。</p> <p>(思判表力) ・家庭や地域における生活の中から問題を見だして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。</p> <p>(学・人) ・家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。</p>
------	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期 2 6	2	<p>(知及技) ・調理実習の心構えについて知り、調理器具の名称と用具の安全な取り扱いについて理解できる。</p> <p>(思判表力) ・調理実習における学習内容を確認し、見直しを持つことができる。</p> <p>(学・人) ・よりよい生活の実現に向け、自立を意識し主体的に取り組むことができる。</p>	<p>(知・技) ・調理器具の名称と用具の安全な取り扱いについてプリントにまとめ確認している。</p> <p>(思・判・表) ・調理実習における教室利用の仕方や実習の心構え、学習内容などを理解しプリントにまとめている。</p> <p>(主学) ・身に付けたい内容について考え、プリントに記入している。</p>	<p>・オリエンテーション</p> <p>・調理実習の心構え</p> <p>・調理器具の取り扱いと保管</p>	<p>・学習内容・年間計画</p> <p>・調理室利用の仕方</p> <p>・注意事項、マナー、調理実習態度について</p> <p>・ワークシート (PowerPoint)</p>
	6	<p>(知及技) ・安全と衛生に留意しながら調理器具を扱い、日常食の調理ができる。</p> <p>(思判表力) ・基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考えることができる。</p> <p>(学・人) ・仲間と協力し調理に必要な道具の準備や片づけ、調理の役割分担について確認できる。</p>	<p>(知・技) ・安全と衛生に気を付け、基本的な日常食の調理を適切に行っている。</p> <p>(思・判・表) ・毎時間まとめプリントへ学習内容・目標・自己評価、反省感想を記入し、実習を振り返っている。</p> <p>(主学) ・仲間と話し合いながら、協力して調理を進めることができている。</p>	<p>・食品衛生</p> <p>・調理の基礎</p>	<p>・調理の際の身支度・準備・調理・片付け</p> <p>・日常食の調理</p> <p>・まとめプリント (iPad・視覚教材・PowerPoint)</p>
	2	<p>(知及技) ・被服実習における教室利用方法と基本的な注意事項を確認することができる。</p> <p>(思判表力) ・学習内容と実習の心構え、計画を理解し、見直しを持つことができる。</p> <p>(学・人) ・よりよい生活の実現に向け、自立を意識し主体的に取り組むことができる。</p>	<p>(知・技) ・被服実習における教室利用方法と基本的な注意事項を確認している。</p> <p>(思・判・表) ・学習内容、実習の心構えなどを理解しプリントに記入している。</p> <p>(主学) ・家庭科で身につけたい内容について考え、プリントに記入している。</p>	<p>・被服実習の心構え</p>	<p>・教室利用の仕方</p> <p>・注意事項、マナー、被服実習態度について</p> <p>・ワークシート (iPad・視覚教材・PowerPoint)</p>
	6	<p>(知及技) ・衣服と社会生活のかかわりについて理解し、TPOに応じた衣服選択ができる。</p> <p>(思判表力) ・衛生と健康について考え工夫することができる。</p> <p>(学・人) ・取り扱い絵表示を見て、衣服の素材や靴など状態に応じた手入れの方法を知り実践できる。</p>	<p>(知・技) ・家庭生活の中で目的や場所に合った衣服を考え、工夫して生活の中に取り入れ実践している。</p> <p>(思・判・表) ・日常着や靴などの適切な手入れの仕方を学び、実際に取り組んだことをまとめて発表している。</p> <p>(主学) ・取り扱い表示を理解し、適切な洗濯方法について工夫して生活の中に取り入れ実践している。</p>	<p>・衣生活</p> <p>・日常着や靴などの手入れ</p> <p>・社会人の身だしなみ</p>	<p>・衣服の役割</p> <p>・衣服の素材と種類</p> <p>・取り扱い表示、洗剤の種類</p> <p>・TPOに応じた衣服の選択と手入れ、靴の洗い方</p> <p>・ワークシート</p> <p>・まとめプリント (iPad・視覚教材・PowerPoint)</p>
	10	<p>(知及技) ・用具の安全な取り扱いについて理解し、適切に活動できる。</p> <p>(思判表力) ・目的に応じた縫い方について考え、工夫できる。</p> <p>(学・人) ・道具の準備・片づけを協力して行うことができる。</p>	<p>(知・技) ・裁縫用具の名称を覚え、安全に気を付け、手縫い、ミシン縫いができる。</p> <p>(思・判・表) ・毎時間まとめプリントへ学習内容・目標・自己評価、感想反省を記入し、実習を振り返っている。</p> <p>(主学) ・共同で使うアイロンやミシンなどの準備・片づけを、お互い声を掛け合い協力して行っている。</p>	<p>・基礎技術</p> <p>・ミシンの使用方法</p> <p>・被服製作</p>	<p>・裁縫用具の名称と取り扱い</p> <p>・ミシンの糸掛け、ミシン縫い</p> <p>・刺し子ランチマット、リバーシブルトートバック (採寸、裁断、しるし付け、ミシンでの縫製、展示)</p> <p>・まとめプリント (iPad・視覚教材・PowerPoint)</p>

2 学 期	8	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会人として必要な食事のマナーを理解することができる。 ・安全と衛生に留意しながら調理器具を扱い、日常食の調理ができる。 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考えることができる。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間と協力し調理に必要な道具の準備や片づけ、調理の役割分担について確認できる。 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和洋、ビュッフェの食事マナーを理解し、マナーを守ってナイフやフォークを扱うことができる。 ・安全と衛生に気を付け、基本的な日常食の調理を適切に行っている。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎時間まとめプリントへ学習内容・目標・自己評価、反省感想を記入し、実習を振り返っている。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間と話し合いながら、協力して調理を進めることができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食品衛生 ・調理の基礎 ・食事のマナー 	<ul style="list-style-type: none"> ・調理の際の身支度・準備・調理・片付け ・日常食等の調理 ・まとめプリント (iPad・視覚教材・PowerPoint)
	6	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活の中で食事が果たす役割について理解できる。 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康に良い食習慣を目指して、自分なりに工夫して課題学習に取り組むことができる。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栄養バランスを意識した一日の献立について考えることができる。 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事が果たす役割について確認し、ワークシートに記入することができる。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康に良い食習慣について考え、自らの食生活について振り返っている。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5大栄養素など、学習したことを振り返り、献立を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の役割 ・五大栄養素 ・ホームプロジェクト 	<ul style="list-style-type: none"> ・食事が果たす役割について ・栄養素の種類と働きについて ・健康に良い食習慣について ・課題学習 (iPad・視覚教材・PowerPoint)
	2 8	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・用具の安全な取り扱いについて理解し、適切に活動できる。 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じた縫い方について考え、工夫できる。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道具の準備・片づけを協力して行うことができる。 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・裁縫用具の名称を覚え、安全に気を付け、手縫い、ミシン縫いができる。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎時間まとめプリントへ学習内容・目標・自己評価、感想反省を記入し、実習を振り返っている。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共同で使うアイロンやミシンなどの準備・片づけを、お互い声を掛け合い協力して行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎技術 ・ミシンの使用方法 ・被服製作 	<ul style="list-style-type: none"> ・裁縫用具の名称と取り扱い ・ミシンの糸掛け、ミシン縫い ・刺し子ランチマット、ウォールポケット (採寸、裁断、しるし付け、ミシンでの縫製、展示) ・まとめプリント (iPad・視覚教材・PowerPoint)
	6	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・購入方法や支払い方法の特徴が分かり、計画的な金銭管理の必要性について理解できる。 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物資サービスの選択に必要な情報を活用して購入について考え、工夫することができる。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組むことができる。 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立に向けて身近な消費生活や環境などについて自分の生活と結びつけて考え、基礎的な知識を身につけて生活に生かそうとしている。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者被害の種類と回避する方法を学び、自分の経済状況に合った物資サービスを選択できる。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業や実習等に達成感を得て、計画性をもって主体的に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・消費生活 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の消費行動 ・消費生活 ・悪徳商法 ・クレジット、ローン ・消費者問題 ・情報収集と意思決定 (ワークシート、ボードゲーム、調べ学習)
3 学 期	8	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全と衛生に留意しながら調理器具を扱い、日常食の調理ができる。 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な日常食の調理について、食品の選択や調理の仕方、調理計画を考えることができる。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間と協力し調理に必要な道具の準備や片づけ、調理の役割分担について確認できる。 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全と衛生に気を付け、基本的な日常食の調理を適切に行っている。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎時間まとめプリントへ学習内容・目標・自己評価、反省感想を記入し、実習を振り返っている。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仲間と話し合いながら、協力して調理を進めることができている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食品衛生 ・調理の基礎 ・食事のマナー 	<ul style="list-style-type: none"> ・調理の際の身支度・準備・調理・片付け ・日常食等の調理 ・まとめプリント (iPad・視覚教材・PowerPoint)
	1 6 8	<p>(知及技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住まいの主な機能や、ライフステージと住生活の特徴について理解する。 <p>(思判表力)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の住生活について、問題を見出して課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして、課題を解決する力を身につける。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全で快適な住まいのための計画・管理について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭生活の充実向上を目指して実践しようとする。 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住まいの主な機能について理解している。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の住生活について問題を見出して課題を設定し、課題解決に向けて工夫している。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全で快適な住まいのための計画・管理について課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人と住まい ・ライフスタイルと住まい ・安全な住まい 	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの機能と役割 ・住まいの様式の変化 ・快適な住空間を考える ・家庭内事故への対策 ・自然災害等への対策 ・ワークシート (PowerPoint)
留意点 引継ぎ等	<p>※基本的に、学期毎にテスト及び実技テストを行う。 ※調理実習については、年間を通して実施する。</p>				

令和8年度 1年 英語 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	1学年(20名)		くらしに役立つ英語

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間 目標		<p>(知及技) 外国語の音声や文字、語彙、表現、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思判表力) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。</p> <p>(学・人) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	4	<p>(知及技) ・英語の音声や文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などの違いに気付くことができる。</p> <p>(思判表力) ・数字や日付などの身近で簡単な事柄について、表示などを参考にしながら具体的な情報を聞き取ることができる。</p> <p>(学・人) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。</p>	<p>(知・技) ・英語の音声や文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などの違いに気付いている。</p> <p>(思・判・表) ・数字や日付などの身近で簡単な事柄について、表示などを参考にしながら具体的な情報を聞き取ろうとしている。</p> <p>(主学) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。</p>	英語をたくさん使おう	<ul style="list-style-type: none"> ・10カ国語の「こんにちは」を覚えて発表する ・始めと終わりのあいさつを英語で行う ・日にちの確認を英語で行う ・アルファベットの大文字と小文字を確認する ・自分と級友の名前をへボン式のローマ字で表記する
	5	<p>(知及技) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。</p> <p>(思判表力) ・活字体の大文字、小文字を区別して自己紹介文を書くことができる。</p> <p>(学・人) ・簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の得意なことを伝えたり、簡単な質問に答えたりして伝え合うことができる。</p> <p>(学・人) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。</p>	<p>(知・技) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで自分の得意なことについて相手に伝わることに気付いている。</p> <p>(思・判・表) ・活字体の大文字、小文字を区別して自己紹介文を書いている。</p> <p>(主学) ・簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の得意なことを伝えたり、簡単な質問に答えたりして伝え合っている。</p> <p>(学・人) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。</p>	教科書 Unit 1 Self-introduction 基本文 My name is ○ ○.など	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介の文章を読む ・自己紹介文を作成する ・書いた文を読む練習をする ・自己紹介を行う ・クラスメイトの誕生日一覧表を作成する
	4	<p>(知及技) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気づくことができる。</p> <p>(思判表力) ・簡単な語句や基本的な表現で話される会話を映像を見ながら聞き、その会話の一部を聞き取ることができる。</p> <p>(学・人) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。</p>	<p>(知・技) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気づくことができる。</p> <p>(思・判・表) ・簡単な語句や基本的な表現で話される会話を、映像を見ながら聞き取ろうとしている。</p> <p>(主学) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。</p>	アニメのワンシーンを再現 映画鑑賞①	<ul style="list-style-type: none"> ・短い動画を視聴し、話されている言葉を言えるように練習する ・映画を鑑賞し、聞き取れたセリフを書き留めたり、外国の歴史や文化について学ぶ

2 学期	5	<p>(知及技) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。</p> <p>(思判表力) ・簡単な事柄について、伝えようとした内容を整理した上で、簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。</p> <p>(学・人) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。</p>	<p>(知・技) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付いている。</p> <p>(思・判・表) ・簡単な事柄について、伝えようとした内容を整理した上で、簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。</p> <p>(主学) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。</p>	<p>教科書 Unit 2 On the phone</p> <p>基本文 This is ○○ speaking. など</p>	<p>・電話での会話を想定した文章を読む</p> <p>・電話での会話の台本を繰り返し読む</p> <p>・電話をかける人または受け取る人になりきって会話を行う(パフォーマンステスト)</p>
	5	<p>(知及技) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで自分の意見や要件が相手に伝わることに気づくことができる。</p> <p>(思判表力) ・自分の関する簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話したり、相手に尋ねたりすることができる。</p> <p>(学・人) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。</p>	<p>(知・技) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで自分の意見や要件が相手に伝わることに気づいている。</p> <p>(思・判・表) ・自分に関する簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話したり、相手に尋ねたりすることができる。</p> <p>(主学) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。</p>	<p>教科書 Unit 3 First meeting</p> <p>基本文 Are you ~? Do you ~?</p>	<p>・簡単な質問とその応答の仕方を学ぶ</p> <p>・二者で質問、応答をしよう</p>
	4	<p>(知及技) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気づくことができる。</p> <p>(思判表力) ・相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ語彙や表現などをもちいてカードを書くことができる。</p> <p>(学・人) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。</p>	<p>(知・技) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気づいている。</p> <p>(思・判・表) ・相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ語彙や表現などをもちいてカードを書こうとしている。</p> <p>(主学) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。</p>	<p>教科書 Unit 23 Christmas in America</p>	<p>・アメリカのクリスマスの過ごし方について学ぶ</p> <p>・クリスマスソングを聴く・歌う</p> <p>・クリスマスカードを書く</p>
3 学期	5	<p>(知及技) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気づくことができる。</p> <p>(思判表力) ・予定や施設の予約などの場面において身近で簡単な事柄について、自分の要件を伝えたり、簡単な質問をしたり質問に答えたりして伝え合うことができる。</p> <p>(学・人) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。</p>	<p>(知・技) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気づくことができている。</p> <p>(思・判・表) ・予定や施設の予約などの場面において身近で簡単な事柄について、自分の要件を伝えたり、簡単な質問をしたり質問に答えたりして伝え合っている。</p> <p>(主学) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。</p>	<p>Ordering at McDonald</p>	<p>・ファストフード店でのやりとりを学ぶ</p> <p>・客と店員に扮してスキットを行う</p>
	3	<p>(知及技) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気づくことができる。</p> <p>(思判表力) ・簡単な語句や基本的な表現で話される会話を映像を見ながら聞き、その会話の一部を聞き取ることができる。</p> <p>(学・人) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。</p>	<p>(知・技) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気づくできている。</p> <p>(思・判・表) ・簡単な語句や基本的な表現で話される会話を、映像を見ながら聞き取ろうとしている。</p> <p>(主学) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。</p>	<p>アニメのワンシーンを再現</p> <p>映画鑑賞②</p>	<p>・短い動画を視聴し、話されている言葉を言えるように練習する</p> <p>・映画を鑑賞し、聞き取れたセリフを書き留めたり、外国の歴史や文化について学ぶ</p>
留意点 引継					

令和8年度 2年 英語 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	2学年(20名)		BLUE SKY English Course 1

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間 目標	<p>(知及技) 外国語の音声や文字、語彙、表現、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思判表力) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。</p> <p>(学・人) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	4	<p>(知及技) ・英語の音声や文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気づくことができる。</p> <p>(思判表力) ・数字や日付などの身近で簡単な事柄について、表示などを参考にしながら具体的な情報を聞き取ることができる。</p> <p>(学・人) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。</p>	<p>(知・技) ・英語の音声や文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付いている。</p> <p>(思・判・表) ・数字や日付などの身近で簡単な事柄について、表示などを参考にしながら具体的な情報を聞き取ろうとしている。</p> <p>(主学) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。</p>	英語をたくさん使おう	<ul style="list-style-type: none"> ・10カ国語の「こんにちは」を覚えて発表する ・始めと終わりのあいさつを英語で行う ・日にちの確認を英語で行う ・自分と級友の名前をへボン式のローマ字で表記する ・春休みの課題(疑問詞)の答え合わせをする
	5	<p>(知及技) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気づくことができる。</p> <p>(思判表力) ・活字体の大文字、小文字を区別して自己紹介文を書くことができる。</p> <p>・簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の得意なことを伝えたり、簡単な質問に答えたりして伝え合うことができる。</p> <p>(学・人) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。</p>	<p>(知・技) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで自分の得意なことについて相手に伝わることに気付いている。</p> <p>(思・判・表) ・活字体の大文字、小文字を区別して自己紹介文を書くことができている。</p> <p>・簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の得意なことを伝えたり、簡単な質問に答えたりして伝え合っている。</p> <p>(主学) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。</p>	教科書 Unit 3 Hello, new friend.	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度3学期の復習として疑問詞を使った質問やその応答を練習する
	4	<p>(知及技) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりなどの働きがあることを感じ取ることができる。</p> <p>(思判表力) ・簡単な語句や基本的な表現で話される会話を映像を見ながら聞き、その会話の一部を聞き取ることができる。</p> <p>(学・人) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。</p>	<p>(知・技) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりなどの働きがあることを感じ取っている。</p> <p>(思・判・表) ・簡単な語句や基本的な表現で話される会話を、映像を見ながら聞き取ろうとしている。</p> <p>(主学) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。</p>	アニメのワンシーンを再現 映画鑑賞①	<ul style="list-style-type: none"> ・短い動画を視聴し、話されている言葉を言えるように練習する ・映画を鑑賞し、聞き取れたセリフを書き留めたり、外国の歴史や文化について学ぶ

2 学期	8	<p>(知及技) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで自分の意見や要件が相手に伝わることに気付くことができる。</p> <p>(思判表力) ・自分に関する簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話したり、相手に尋ねたりすることができる。</p> <p>(学・人) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。</p>	<p>(知・技) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで自分の意見や要件が相手に伝わることに気付いている。</p> <p>(思・判・表) ・自分に関する簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話したり、相手に尋ねたりしている。</p> <p>(主学) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。</p>	教科書 Unit 4 My Brother in Canada	<ul style="list-style-type: none"> ・人やものを紹介する文章を読解する ・自分の紹介したい人やものについて文章を書く ・文章を読む練習をする ・発表する
	2	<p>(知及技) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くことができる。</p> <p>(思判表力) ・簡単な事柄について、伝えようとした内容を理解した上で、簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。</p> <p>(学・人) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。</p>	<p>(知・技) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付いている。</p> <p>(思・判・表) ・簡単な事柄について、伝えようとした内容を理解した上で、簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合っている。</p> <p>(主学) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。</p>	映画鑑賞②	<ul style="list-style-type: none"> ・映画を鑑賞し、聞き取れたセリフを書き留めたり、外国の歴史や文化について学ぶ
	4	<p>(知及技) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。</p> <p>(思判表力) ・相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ語彙や表現などをもちいて書くことができる。</p> <p>(学・人) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。</p>	<p>(知・技) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付いている。</p> <p>(思・判・表) ・相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ語彙や表現などをもちいて書いている。</p> <p>(主学) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。</p>	修学旅行の思い出 クリスマスカード を書こう	<ul style="list-style-type: none"> ・基本文を参考にして、修学旅行の思い出を英語で作文する
3 学期	6	<p>(知及技) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くことができる。</p> <p>(思判表力) ・日常生活に関する身近で簡単な事柄を内容とする文章や掲示、パンフレットなどから自分の必要とする情報を得ることができる。</p> <p>(学・人) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。</p>	<p>(知・技) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付いている。</p> <p>(思・判・表) ・日常生活に関する身近で簡単な事柄を内容とする文章や掲示、パンフレットなどから自分の必要とする情報を得ようとしている。</p> <p>(主学) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。</p>	生活の中の英語 (カタカナ語)	<ul style="list-style-type: none"> ・食材やメニュー、調理法の表現 ・家や学校にあるものの名前 ・英語以外の外国語で名付けられたもの →入試期間の自宅学習課題
	2	<p>(知及技) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くことができる。</p> <p>(思判表力) ・相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝え合うことができる。</p> <p>(学・人) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。</p>	<p>(知・技) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付いている。</p> <p>(思・判・表) ・相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で簡単な語句や基本的な表現などを用いて伝え合うことができている。</p> <p>(主学) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。</p>	映画鑑賞③	<ul style="list-style-type: none"> ・映画を鑑賞し、聞き取れたセリフを書き留めたり、外国の歴史や文化について学ぶ
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 3年 英語 年間指導計画

単位数 / 配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	3学年(20名)		BLUE SKY English Course 1

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間 目標	<p>(知及技) 外国語の音声や文字、語彙、表現、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付くとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。</p> <p>(思判表力) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙などが表す事柄を想像しながら読んだり書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。</p> <p>(学・人) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。</p>
----------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	4	<p>(知及技) ・英語の音声や文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付くことができる。</p> <p>(思判表力) ・数字や日付などの身近で簡単な事柄について、表示などを参考にしながら具体的な情報を聞き取り、書く練習をすることができる。</p> <p>(学・人) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。</p>	<p>(知・技) ・英語の音声や文字を見て読んだり書いたりして日本語の音声や文字などとの違いに気付いている。</p> <p>(思・判・表) ・数字や日付などの身近で簡単な事柄について、表示などを参考にしながら具体的な情報を聞き取り、書こうとしている。</p> <p>(主学) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。</p>	英語をたくさん使おう	<ul style="list-style-type: none"> ・10カ国語の「こんにちは」を覚えて発表する ・始めと終わりのあいさつを英語で行う ・日にちの確認を英語で行う ・自分と級友の名前をへボン式のローマ字で表記する ・春休みの課題(和製英語)の答え合わせをする
	5	<p>(知及技) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。</p> <p>(思判表力) ・簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の得意なことを伝えたり、簡単な質問に答えたりして伝え合うことができる。</p> <p>(学・人) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。</p>	<p>(知・技) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付いている。</p> <p>(思・判・表) ・簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の得意なことを伝えたり、簡単な質問に答えたりして伝え合っている。</p> <p>(主学) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。</p>	教科書 Unit 3 ふだんすること、好きなこと ・I like ~. ・Do you like ~? ・How about you?	<ul style="list-style-type: none"> ・放課後によくすることや週末によくすることを紹介しあう ・自分の好きなことを紹介しあう ・「あなたはどうですか?」と質問する
	4	<p>(知及技) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりなどの働きがあることを感じ取ることができる。</p> <p>(思判表力) ・簡単な語句や基本的な表現で話される会話を映像を見ながら聞き、その会話の一部を聞き取ることができる。</p> <p>(学・人) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。</p>	<p>(知・技) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりなどの働きがあることを感じ取っている。</p> <p>(思・判・表) ・日付や値段、物の名前などを表す表現や、音声中で慣れ親しんだ身近な事柄について、具体的な情報を聞き取ろうとしている。</p> <p>(主学) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。</p>	教科書 Unit 4 数を尋ねる ・How many ~ do you have? 映画鑑賞①	<ul style="list-style-type: none"> ・「いくつ」「何人」を質問する ・名詞の単数形と複数形を確認する ・映画を鑑賞し、聞き取れたセリフを書き留めたり、外国の歴史や文化について学ぶ
2 学期	4	<p>(知及技) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで自分の意見や要件が相手に伝わることに気付くことができる。</p> <p>(思判表力) ・自分の関する簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話したり、相手に尋ねたりすることができる。</p> <p>(学・人) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。</p>	<p>(知・技) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりなどの働きがあることを感じ取っている。</p> <p>(思・判・表) ・簡単な語句や基本的な表現で話される会話を、映像を見ながら聞き取ろうとしている。</p> <p>(主学) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。</p>	教科書 裏表紙 ルーティーン 生活の中の英語	<ul style="list-style-type: none"> ・一日の行動を英語で表現する ・普段の生活に入り込んでいる英語を探す

	6	<p>(知及技) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くことができる。</p> <p>(思判表力) ・簡単な事柄について、伝えようとした内容を理解した上で、簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる。</p> <p>(学・人) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。</p>	<p>(知・技) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付いている。</p> <p>(思・判・表) ・簡単な事柄について、伝えようとした内容を理解した上で、簡単な語句などを用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合っている。</p> <p>(主学) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。</p>	<p>店員さんの英語 レストラン編</p>	<p>・レストラン店員に扮して接客を行う</p> <p>パフォーマンステスト</p>
	4	<p>(知及技) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付くことができる。</p> <p>(思判表力) ・相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ語彙や表現などを用いてカードに書き写すことができる。</p> <p>(学・人) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。</p>	<p>(知・技) ・簡単な語句や基本的な表現などが表す内容を知り、それらを使うことで要件が相手に伝わることに気付いている。</p> <p>(思・判・表) ・相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ語彙や表現などを用いてカードに書き写している。</p> <p>(主学) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。</p>	<p>クリスマスについて 学ぼう</p> <p>映画鑑賞②</p>	<p>・クリスマスカードを書く</p> <p>・クリスマスソングを聞く</p> <p>・映画を鑑賞し、聞き取れたセリフを書き留めたり、外国の歴史や文化について学ぶ</p>
3 学期	4	<p>(知及技) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くことができる。</p> <p>(思判表力) ・身近で簡単な事柄について、音声で慣れ親しんだ語彙などが表す事柄を想像しながら読むことができる。</p> <p>(学・人) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。</p>	<p>(知・技) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付いている。</p> <p>(思・判・表) ・身近で簡単な事柄について、音声で慣れ親しんだ語彙などが表す事柄を想像しながら読むものとして読む。</p> <p>(主学) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。</p>	<p>教科書 Unit10 日本のマンガ文化</p>	<p>日本のマンガ文化について 書かれた文章の読解</p>
	4	<p>(知及技) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付くことができる。</p> <p>(思判表力) ・相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ語彙などを書き写すことができる。</p> <p>(学・人) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ることができる。</p>	<p>(知・技) ・英語の音声や文字も、事物の内容を表したり、要件を伝えたりするなどの働きがあることに気付いている。</p> <p>(思・判・表) ・相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ語彙などを書き写している。</p> <p>(主学) ・外国語の背景にある文化について理解し、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図っている。</p>	<p>お礼状を書こう</p> <p>映画鑑賞③</p>	<p>・先生や家族にお礼状を書く</p> <p>・映画を鑑賞し、聞き取れたセリフを書き留めたり、外国の歴史や文化について学ぶ</p>
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 1年 情報 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	1学年 (20名)		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 身近にある情報と情報技術及びこれらを活用して問題を知り、問題を解決する方法について理解し、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて理解できるようにする。 (思判表力) 身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 (学・人) 身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	(知及技) ・情報の科目について、どのような学習内容なのかを知るとともに、ICT機器についての操作方法を身に付ける。 (思判表力) ・身近な事柄を情報と結び付けて考えとともに、ICT機器の活用方法を身に付けることができる。	(知・技) ・情報の科目について、どのような学習内容なのかを知るとともに、ICT機器についての操作方法を身に付けている。 (思・判・表) ・身近な事柄を情報と結び付けて考えとともに、ICT機器の活用方法を身に付けることができる。	・教科「情報」とは ・パソコンの基礎 ・ICT機器の活用	・「情報」の科目について知る ・パソコン各部の名称と機能を知る ・パソコン操作の基本を理解する ・ローマ字入力ができる (通年) ・Teamsアプリのインストール、基本操作を学習する
	6	(学・人) ・情報モラルを理解し、配慮するとともに、自らも情報技術を活用することができる。	(主学) ・情報モラルを理解し、配慮するとともに、自らも情報技術を活用することができる。	・ワープロソフトの活用 ・インターネットの基礎 ・Wordの使い方	・ワードの画面各部の名称と機能を知る ・操作の基本を理解する ・文章入力、画像の挿入などを学習する ・iPadでウェブアプリの適切な利用方法を知る ・必要な情報の検索ができる
	3			・情報モラル ・1学期のまとめ	・SNSの利活用について話し合い、お互いの経験を共有する ・学んだ学習について振り返る
2学期	6	(知及技) ・ICT機器のアプリケーションの操作方法を身に付けることができる。 (思判表力) ・課題を解決するために、ICT機器を活用する方法を身に付けることができる。 ・著作権などについて学び、情報化社会においてルールや、マナーを身に付けて活用しなければならないことを理解することができる。	(知・技) ・ICT機器のアプリケーションの操作方法を身に付けることができる。 (思・判・表) ・課題を解決するために、ICT機器を活用する方法を身に付けることができる。 ・著作権などについて学び、情報化社会においてルールや、マナーを身に付けて活用しなければならないことを理解しようとしている。	・画像の撮影 ・動画アプリの学習	・iPadで校内の写真などを撮る ・imovieアプリの活用
	2	(学・人) ・学んだ学習を生かし、自ら情報をまとめることができる。	(主学) ・学んだ学習を生かし、自ら情報をまとめることができる。	・情報モラル ・著作権や個人情報について ・SNS誹謗中傷、個人特定	・著作権などについて学習し、情報化社会においてのルールや、マナーの重要性を身に付ける
	6			・表計算ソフトの活用 ・2学期のまとめ	・エクセルの画面各部の名称と機能を知る ・操作の基本を理解する ・数字の入力、関数の活用を学習する ・技能検定 (過去問) ・学んだ学習について振り返る
3学期	5	(知及技) ・動画の編集についてアプリケーションを活用することができる。 (思判表力) ・情報モラルに配慮しながら課題の作成を行うことができる。	(知・技) ・動画の編集についてアプリケーションを活用することができる。 (思・判・表) ・情報モラルに配慮しながら課題の作成を行うことができる。	・スライド作成 ・PowerPoint活用	・iPadアプリを利用する ・画像を利用して動画作成を行う ・テキストなどを挿入する ・音楽を挿入する
	3	(学・人) ・これまでの学習を振り返るとともに、今後の活用について自ら工夫することができる。	(主学) ・これまでの学習を振り返るとともに、今後の活用について自ら工夫しようとしている。	・iPadのメンテナンス ・1年のまとめ	・iPadの設定を確認する ・これまで学習した内容を振り返り、生活に活かせるようにする
留意点 引継ぎ等		・授業開始時に、毎回パソコン検定ソフトにてタイピング練習 ・iPadを活用し、Teamsにて授業内容の説明 ・iPadを活用し、Formsにて自己評価や振り返りシートの記入			

令和8年度 2年 情報 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	2学年 (20名)		情報Ⅰ 図解と実習 (日本文教出版)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 身近にある情報と情報技術及びこれらを活用して問題を知り、問題を解決する方法について理解し、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて理解できるようにする。 (思判表力) 身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 (学・人) 身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	4	(知及技) ・情報の科目について、どのような学習内容なのかを知るとともに、ICT機器についての操作方法を身に付ける。 (思判表力) ・身近な事柄を情報と結び付けて考えとともに、ICT機器の活用方法を身に付けることができる。 (学・人) ・情報モラルを理解し、配慮するとともに、自らも情報技術を活用することができる。	(知・技) ・情報の科目について、どのような学習内容なのかを知るとともに、ICT機器についての操作方法を身に付けている。 (思・判・表) ・身近な事柄を情報と結び付けて考えとともに、ICT機器の活用方法を身に付けることができる。 (主学) ・情報モラルを理解し、配慮するとともに、自らも情報技術を活用することができる。	・パソコンの基礎 (1学年の復習) ・ICT機器の活用	・パソコン各部の名称と機能を知る ・パソコン操作の基本を理解する ・ローマ字入力ができる (通年) ・iPadの基本操作を知り、正しい利用方法を知る
	6			・ワープロソフトの活用 ・インターネットの基礎 ・Wordの使い方 ・Canva アイコン作り ・生成AIの活用 (ChatGPT、Copilot)	・ワードの画面各部の名称と機能を知る ・操作の基本を理解する ・ローマ字入力で作成し、基本的な書式設定を学習する ・画像や表を挿入し、見やすい文書を作成する ・文書を指定された場所へ保存し印刷をする ・検定に興味を持ち、簡単なビジネス文書を作成する ・生成AIに的確な指示を与え、文章や画像を生成することができる。
	3			・インターネットの基礎 ・情報モラル ・1学期のまとめ	・iPadでウェブアプリの適切な利用方法を知る ・必要な情報の検索ができる ・適切なパスワード管理について学習する ・SNSの利活用について話し合い、お互いの経験を共有する ・学んだ学習について振り返る
2学期	6	(知及技) ・ICT機器のアプリケーションの操作方法を身に付けることができる。 (思判表力) ・課題を解決するために、ICT機器を活用する方法を身に付けることができる。 ・著作権などについて学び、情報社会においてルールや、マナーを身に付けて活用しなければならないことを理解することができる。 (学・人) ・学んだ学習を生かし、自ら情報をまとめることができる。	(知・技) ・ICT機器のアプリケーションの操作方法を身に付けることができる。 (思・判・表) ・課題を解決するために、ICT機器を活用する方法を身に付けることができる。 ・著作権などについて学び、情報社会においてルールや、マナーを身に付けて活用しなければならないことを理解しようとしている。 (主学) ・学んだ学習を生かし、自ら情報をまとめることができる。	・画像の撮影 ・動画アプリの学習	・iPadで校内の写真などを撮る ・imovieアプリの活用
	2			・情報モラル ・著作権や個人情報について ・SNS誹謗中傷、個人特定	・著作権などについて学習し、情報社会におけるルールや、マナーの重要性を身に付ける
	6			・表計算ソフトの活用 ・2学期のまとめ	・エクセルの画面各部の名称と機能を知る ・操作の基本を理解する ・数値の入力、関数の活用を学習する ・技能検定 (過去問) ・学んだ学習について振り返る
3学期	5	(知及技) ・動画の編集についてアプリケーションを活用することができる。 (思判表力) ・情報モラルに配慮しながら課題の作成を行うことができる。 (学・人) ・これまでの学習を振り返るとともに、今後の活用について自ら工夫することができる。	(知・技) ・動画の編集についてアプリケーションを活用することができる。 (思・判・表) ・情報モラルに配慮しながら課題の作成を行うことができる。 (主学) ・これまでの学習を振り返るとともに、今後の活用について自ら工夫しようとしている。	・スライド作成 ・PowerPoint活用	・iPadアプリを利用する ・画像を利用して動画作成を行う ・テキストなどを挿入する ・音楽を挿入する
	3			・iPadのメンテナンス ・1年のまとめ	・iPadの設定を確認する ・これまで学習した内容を振り返り、生活に活かせるようにする
留意点 引継ぎ等		・授業開始時に、毎回パソコン検定ソフトにてタイピング練習 ・iPadを活用し、Teamsにて授業内容の説明 ・iPadを活用し、Formsにて自己評価や振り返りシートの記入			

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
1/35	3学年 (20名)		情報I 図解と実習 (日本文教出版)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 身近にある情報と情報技術及びこれらを活用して問題を知り、問題を解決する方法について理解し、基礎的な技能を身に付けるとともに、情報社会と人との関わりについて理解できるようにする。 (思判表力) 身近な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題を知り、問題を解決するために必要な情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。 (学・人) 身近にある情報や情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に参画しようとする態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	4	(知及技) ・情報の科目について、どのような学習内容なのかを知るとともに、ICT機器についての操作方法を身に付ける。 (思判表力) ・身近な事柄を情報と結び付けて考えとともに、ICT機器の活用方法を身に付けることができる。 (学・人) ・情報モラルを理解し、配慮するとともに、自らも情報技術を活用することができる。	(知・技) ・情報の科目について、どのような学習内容なのかを知るとともに、ICT機器についての操作方法を身に付けている。 (思・判・表) ・身近な事柄を情報と結び付けて考えとともに、ICT機器の活用方法を身に付けることができる。 (主学) ・情報モラルを理解し、配慮するとともに、自らも情報技術を活用することができる。	・パソコンの基礎 (2学年の復習) ・ICT機器の活用	・パソコン各部の名称と機能を知る ・パソコン操作の基本を理解する ・ローマ字入力ができる (通年) ・iPadの基本操作を知り、正しい利用方法を知る
	6			・ワープロソフトの活用 ・インターネットの基礎 ・Wordの使い方 ・Canva アイコン作り ・生成AIの活用 (ChatGPT、Copilot)	・ワードの画面各部の名称と機能を知る ・操作の基本を理解する ・ローマ字入力で作成し、基本的な書式設定を学習する ・画像や表を挿入し、見やすい文書を作成する ・文書を指定された場所へ保存し印刷する ・検定に興味を持ち、簡単なビジネス文書を作成する ・生成AIに的確な指示を与え、文章や画像を生成することができる。
	3			・インターネットの基礎 ・情報モラル ・1学期のまとめ	・iPadでウェブアプリの適切な利用方法を知る ・必要な情報の検索ができる ・適切なパスワード管理について学習する ・SNSの利活用について話し合い、お互いの経験を共有する ・学んだ学習について振り返る
2 学期	6	(知及技) ・ICT機器のアプリケーションの操作方法を身に付けることができる。 (思判表力) ・課題を解決するために、ICT機器を活用する方法を身に付けることができる。 ・著作権などについて学び、情報化社会においてルールや、マナーを身に付けて活用しなければならないことを理解することができる。 (学・人) ・学んだ学習を生かし、自ら情報をまとめることができる。	(知・技) ・ICT機器のアプリケーションの操作方法を身に付けることができる。 (思・判・表) ・課題を解決するために、ICT機器を活用する方法を身に付けることができる。 ・著作権などについて学び、情報化社会においてルールや、マナーを身に付けて活用しなければならないことを理解しようとしている。 (主学) ・学んだ学習を生かし、自ら情報をまとめることができる。	・画像の撮影 ・動画アプリの学習	・iPadで校内の写真などを撮る ・imovieアプリの活用
	2			・情報モラル ・著作権や個人情報について ・SNS誹謗中傷、個人特定	・著作権などについて学習し、情報化社会においてのルールや、マナーの重要性を身に付ける
	6			・表計算ソフトの活用 ・2学期のまとめ	・エクセルの画面各部の名称と機能を知る ・操作の基本を理解する ・数字の入力、関数の活用を学習する ・技能検定 (過去問) ・学んだ学習について振り返る
3 学期	5	(知及技) ・動画の編集についてアプリケーションを活用することができる。 (思判表力) ・情報モラルに配慮しながら課題の作成を行うことができる。 (学・人) ・これまでの学習を振り返るとともに、今後の活用について自ら工夫することができる。	(知・技) ・動画の編集についてアプリケーションを活用することができる。 (思・判・表) ・情報モラルに配慮しながら課題の作成を行うことができる。 (主学) ・これまでの学習を振り返るとともに、今後の活用について自ら工夫しようとしている。	・スライド作成 ・PowerPoint活用	・iPadアプリを利用する ・画像を利用して動画作成を行う ・テキストなどを挿入する ・音楽を挿入する
	3			・iPadのメンテナンス ・1年のまとめ	・iPadの設定を確認する ・これまで学習した内容を振り返り、生活に活かせるようにする
留意点 引継ぎ等		・授業開始時に、毎回パソコン検定ソフトにてタイピング練習 ・iPadを活用し、Teamsにて授業内容の説明 ・iPadを活用し、Formsにて自己評価や振り返りシートの記入			

令和8年度 1年 農業(農園芸) 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
2/70	1学年 生徒20名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 農業に関することについて理解しているとともに、関連する技術を身に付けることができる。 (思判表力) 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を身に付けることができる。 (学・人) 職業人として必要な人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	20	(知及技) 産業社会における農業の意義と役割などについて理解し、職業生活に必要な知識、技術を身に付けることができる。 (思判表力) 農業を通して地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する職業人となる視点から、よりよい作物等の栽培などをするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人) 農業の意義と役割について自ら学び、農業生産物の栽培と管理に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技) 産業社会における農業の意義と役割などについて理解し、職業生活に必要な知識、技術を身に付けている。 (思・判・表) 農業を通して地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する職業人となる視点から、よりよい作物等の栽培などをするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現している。 (主学) 農業の意義と役割について自ら学び、農業生産物の栽培と管理に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	(1) 農業の概要 ① 農業の意義と役割 ② 農業の基礎 ③ 農機具や農業機械、情報機器の取扱い (2) 農業生物の栽培と管理 ① 野菜の種類と特徴 ② 草花の種類と特徴 ③ 栽培と管理の工程	(1) 農業の概要 ・野菜の種類と栽培 ・作業に適切な服装、挨拶・返事、働くために必要な態度 ・クワやスコップ、移植ごてなどの農機具、耕耘機などの農業機械の名称や用途 (2) 農業生物の栽培と管理 ・夏野菜の栽培と管理(ナス、ピーマン、エダマメ等) ・夏の草花の栽培と管理、校内装飾(トレニア、ジニア、メランポディウム等) ・栽培に関する知識(播種、育苗、除草、追肥、収穫、調整、販売) ・コーヒーの木の栽培管理
2 学期	30	(知及技) 農業生物の種類と基本的な特徴について理解し、農作物を生産する上での栽培と管理に係わる知識、技術を身につけることができる。 (思判表力) 農業生物の生産において、よりよい生産物を栽培するために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人) 農業生物の栽培と管理について自ら学び、生産物の栽培と管理に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技) 農業生物の種類と基本的な特徴について理解しているとともに、農作物を生産する上での栽培と管理に係わる知識、技術を身に付けている。 (思・判・表) 農業生物の生産において、よりよい生産物を栽培するために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現している。 (主学) 農業生物の栽培と管理について自ら学び、生産物の栽培と管理に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	(1) 農業生物の栽培と管理 ① 野菜の種類と特徴 ② 草花の種類と特徴 ③ 栽培と管理の工程	(1) 農業生物の栽培と管理 ・野菜(タマネギ、サニーレタス、ジャガイモ、シュンギク等)の栽培と管理 ・草花(パゴニア、マリーゴールド、ピオラ等)の栽培と管理 ・野菜と草花に関する栽培計画 ・栽培に関する知識(播種、育苗、除草、追肥、収穫、調整、販売)
3 学期	20	(知及技) 農業生物の種類と基本的な特徴について理解し、農作物を生産する上での栽培と管理に係わる知識、技術を身につけることができる。 (思判表力) 農業生物の生産において、よりよい生産物を栽培するために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人) 農業生物の栽培と管理について自ら学び、生産物の栽培と管理に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技) 農業生物の種類と基本的な特徴について理解しているとともに、農作物を生産する上での栽培と管理に係わる知識、技術を身に付けている。 (思・判・表) 農業生物の生産において、よりよい生産物を栽培するために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現している。 (主学) 農業生物の栽培と管理について自ら学び、生産物の栽培と管理に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	(1) 農業生物の栽培と管理 ① 野菜の種類と特徴 ② 草花の種類と特徴 ③ 栽培と管理の工程	(1) 農業生物の栽培と管理 ・野菜(タマネギ、サニーレタス、ジャガイモ、シュンギク等)の栽培と管理 ・草花(パゴニア、マリーゴールド、ピオラ等)の栽培と管理 ・野菜と草花に関する栽培計画 ・栽培に関する知識(播種、育苗、除草、追肥、収穫、調整、販売)
留意点 引継ぎ等		[基礎的・基本的事項] ・熱中症対策で、水分補給をしっかりとることができる。 ・忘れ物をせず、服装を整えて作業に参加できる。 ・色々な農具や器具の名称を覚え、安全に使用することができる。 ・教師の指示通りに作業することができる。 ・分からない時は質問できる。 ・報告・連絡・相談ができる。 ・道具の準備・後片付けができる。 ・与えられた仕事を最後まで責任を持って行う。 ・仲間と協力して作業する。 ・野菜の栽培→収穫→販売の一連の流れを理解し、作業意欲を高める。			

令和8年度 2年 農業(農園芸) 年間指導計画

単位数 ／配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
4/140	2学年 生徒7名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)農業に関することについて理解しているとともに、関連する技術を身に付けることができる。 (思判表力)農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を身に付けることができる。 (学・人)よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	52	(知及技)農業が社会で果たしている意義と役割などについて理解し、職業生活に必要な技術を生身に付けることができる。 (思判表力)農業を通して地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する職業人となる視点から、よりよい作物等の栽培などをするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人)農業の意義と役割について自ら学ぶことができる。	(知・技)農業が社会で果たしている意義と役割などについて理解するとともに、職業生活に必要な技術を生身に付けている。 (思・判・表)農業を通して地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する職業人となる視点から、よりよい作物等の栽培などをするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現している。 (主学)農業の意義と役割について自ら学んでいる。	(1) 農業の概要 ① 農業の意義と役割 ② 農業の基礎 ③ 農機具や農業機械、情報機器の取扱い (2) 農業生物の栽培と管理 ① 野菜の種類と特徴 ② 草花の種類と特徴 ③ 栽培と管理の工程	(1) 農業の概要 ・県産野菜の種類と栽培 ・作業に適切な服装、挨拶・返事、働くために必要な態度 ・クワやスコップなどの農機具、耕耘機やトラクターなどの農業機械、名称や用途 (2) 農業生物の栽培と管理 ・夏野菜の栽培と管理(ナス、ピーマン、エダマメ、トウガン等) ・夏の草花の栽培と管理(メランポディウム、トレニア等) ・栽培に関する知識(播種、育苗、除草、追肥、収穫、調整、販売) ・観葉植物、多肉植物の栽培と管理
2 学期	56	(知及技)農業生物の種類と基本的な特徴について理解し、農作物を生産する上での栽培と管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思判表力)農業生物の生産において、よりよい生産物を栽培するために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人)農業生物の栽培と管理について自ら学び、生産物の栽培と管理に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技)農業生物の種類と基本的な特徴について理解しているとともに、農作物を生産する上での栽培と管理に係わる技術を身に付けている。 (思・判・表)農業生物の生産において、よりよい生産物を栽培するために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現している。 (主学)農業生物の栽培と管理について自ら学び、生産物の栽培と管理に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	(1) 農業生物の栽培と管理 ① 野菜の種類と特徴 ② 草花の種類と特徴 ③ 栽培と管理の工程	(2) 農業生物の栽培と管理 ・秋冬野菜の栽培と管理(ジャガイモ、葉野菜、タマネギ、シイタケ等) ・秋冬の草花(バゴニア、ピオラ、ゼラニウム等)の栽培と管理 ・シイタケの栽培と管理 ・栽培に関する知識(播種、育苗、除草、追肥、収穫、調整、販売) ・行事(卒業式・入学式)に向けた草花の栽培
3 学期	32	(知及技)農業生物の種類と基本的な特徴について理解し、農作物を生産する上での栽培と管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思判表力)農業生物の生産において、よりよい生産物を栽培するために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人)農業生物の栽培と管理について自ら学び、生産物の栽培と管理に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技)農業生物の種類と基本的な特徴について理解しているとともに、農作物を生産する上での栽培と管理に係わる技術を身に付けている。 (思・判・表)農業生物の生産において、よりよい生産物を栽培するために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現している。 (主学)農業生物の栽培と管理について自ら学び、生産物の栽培と管理に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	(1) 農業生物の栽培と管理 ① 野菜の種類と特徴 ② 草花の種類と特徴 ③ 栽培と管理の工程	(1) 農業生物の栽培と管理 ・秋冬野菜(ジャガイモ、葉野菜、タマネギ、シイタケ等)の栽培と管理。 ・春の草花(パンジー、ピオラ、マリーゴールド等)の栽培と管理 ・栽培に関する知識及び農地の管理、種まき、育苗、除草追肥などの栽培と管理、収穫生産物の販売。 ・行事(卒業式・入学式)に向けた草花の栽培と管理
留意点 引継ぎ等		[基礎的・基本的事項] ・忘れ物をせず、服装を整えて作業に参加できる。 ・色々な農具や器具の名称を覚え、安全に使用することができる。 ・教師の指示通りに作業することができる。 ・分からない時は質問できる。 ・報告・連絡・相談ができる。 ・道具の準備・後片付けができる。 ・与えられた仕事を最後まで責任を持って行う。 ・仲間と協力して作業する。 ・野菜の栽培→収穫→販売の一連の流れを理解し、作業意欲を高める。			

令8年度 3年 農業(農園芸) 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
4/140	3学年 生徒6名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 農業に関することについて理解しているとともに、関連する技術を身に付けることができる。 (思判表力) 農業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を身に付けることができる。 (学・人) よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	52	(知及技) 農業が社会で果たしている意義と役割などについて理解し、職業生活に必要な技術を身に付けることができる。 (思判表力) 農業を通して地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する職業人となる視点から、よりよい作物等の栽培などをするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人) 農業の意義と役割について自ら学ぶことができる。	(知・技) 農業が社会で果たしている意義と役割などについて理解するとともに、職業生活に必要な技術を身に付けている。 (思・判・表) 農業を通して地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する職業人となる視点から、よりよい作物等の栽培などをするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現している。 (主学) 農業の意義と役割について自ら学んでいる。	(1) 農業の概要 ① 農業の意義と役割 ② 農業の基礎 ③ 農機具や農業機械の取り扱い (2) 農業生物の栽培と管理 ① 野菜の種類と特徴 ② 草花の種類と特徴 ③ 栽培と管理の工程	(1) 農業の概要 ・県産野菜の種類と栽培 ・作業に適切な服装、挨拶・返事、働くために必要な態度 ・クワやのこぎりガマなどの農機具、耕耘機や刈り払い機など、農業機械の名称や用途 (2) 農業生物の栽培と管理 ・夏野菜の栽培と管理(ナス、オクラ、エダマメ、葉野菜等) ・夏の草花の栽培と管理(トレニア、ヒマワリ、メランポディウム等) ・栽培に関する知識(播種、育苗、除草、追肥、収穫、調整、販売) ・観葉植物の栽培と管理
2 学期	56	(知及技) 農業生物の種類と基本的な特徴について理解し、農作物を生産する上での栽培と管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思判表力) 農業生物の生産において、よりよい生産物を栽培するために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人) 農業生物の栽培と管理について自ら学び、生産物の栽培と管理に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技) 農業生物の種類と基本的な特徴について理解しているとともに、農作物を生産する上での栽培と管理に係わる技術を身に付けている。 (思・判・表) 農業生物の生産において、よりよい生産物を栽培するために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現している。 (主学) 農業生物の栽培と管理について自ら学び、生産物の栽培と管理に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	(2) 農業生物の栽培と管理 ① 野菜の種類と特徴 ② 草花の種類と特徴 ③ 栽培と管理の工程	(1) 農業生物の栽培と管理 ・秋冬野菜の栽培と管理(ジャガイモ、タマネギ、シタケ等) ・秋冬の草花(ペゴニア、ビオラ、アリッサム等)の栽培と管理 ・栽培に関する知識(播種、育苗、除草、追肥、収穫、調整、販売) ・行事(卒業式・入学式)に向けた草花の栽培
3 学期	32	(知及技) 農業生物の種類と基本的な特徴について理解し、農作物を生産する上での栽培と管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思判表力) 農業生物の生産において、よりよい生産物を栽培するために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人) 農業生物の栽培と管理について自ら学び、生産物の栽培と管理に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技) 農業生物の種類と基本的な特徴について理解しているとともに、農作物を生産する上での栽培と管理に係わる技術を身に付けている。 (思・判・表) 農業生物の生産において、よりよい生産物を栽培するために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現している。 (主学) 農業生物の栽培と管理について自ら学び、生産物の栽培と管理に主体的かつ協働的に取り組んでいる。	(2) 農業生物の栽培と管理 ① 野菜の種類と特徴 ② 草花の種類と特徴 ③ 栽培と管理の工程	(1) 農業生物の栽培と管理 ・秋冬野菜(ジャガイモ、タマネギ、シタケ等)の栽培と管理。 ・春の草花(ペゴニア、ビオラ、マリーゴールド等)の栽培と管理 ・栽培に関する知識(播種、育苗、除草、追肥、収穫、調整、販売) ・行事(卒業式・入学式)に向けた草花の栽培
留意点 引継ぎ等		[基礎的・基本的事項] ・忘れ物をせず、服装を整えて作業に参加できる。 ・色々な農具や器具の名称を覚え、安全に使用することができる。 ・教師の指示通りに作業することができる。 ・分からない時は質問できる。 ・報告・連絡・相談ができる。 ・道具の準備・後片付けができる。 ・与えられた仕事を最後まで責任を持って行う。 ・仲間と協力して作業する。 ・野菜の栽培→収穫→販売の一連の流れを理解し、作業意欲を高める。			

令和8年度 1年 農業（食品加工） 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	1学年(生徒20名)		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食品加工に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (知及技)食品加工について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けることができる。 (思判表力)食品加工に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けることができる。 (学・人)食品加工について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期	26	(知及技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思判表力)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思・判・表)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (主学)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	1. 食品加工について ・オリエンテーション ・衛生面について ・手洗い練習 ・食中毒について	・年間の活動内容について知る。 ・食中毒について(スライド、プリント学習) ・食品加工実習時の服装について(マスク、キャップ、白衣を試着) ・手洗い実習(手洗いチェッカーで確認)
				2. 食品加工実習 ・計量・成形練習 ・団子製造 ・クッキー製造	・計量、成形練習(初めは粘土で) ・みたらし団子製造(計量・成形の実践) ・クッキー製造(スノーボール) (計量・生地作り・成形の実践、オープン操作の注意事項について学習)
2学期	30	(知及技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思判表力)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思・判・表)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (主学)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	3. 食品加工実習(製菓) ・計量・成形練習 ・クッキー製造 ・マフィン製造	・クッキー製造(スノーボール、型抜き等) (計量・生地作り・成形の実践、オープン操作の注意事項について学習) ・マフィン製造 (計量・生地作り実践、オープン操作の注意事項について学習)
				4. 食品加工実習(製パン) ・計量・成形練習 ・パン製造 ・実習室の大清掃	・パン製造(計量・生地作り・成形の実践、発酵について学習)
3学期	14	(知及技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思判表力)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思・判・表)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (主学)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	5. 食品加工実習 ・計量・成形練習 ・リクエストの菓子製造 ・1年間のまとめ	・リクエストの菓子製造(レシビ調べ、菓子製造) ・1年間のまとめ
留意点 引継ぎ等		[基礎的・基本的事項] ・忘れ物をせず、服装を整えて作業に参加できる。 ・色々な調理器具の名称を覚え、安全に使用することができる。 ・教師の指示通りに作業することができる。 ・分からない時は質問できる。 ・報告・連絡・相談ができる。 ・道具の準備・後片付けができる。 ・与えられた仕事を最後まで責任を持って行う。 ・仲間と協力して作業する。 ・食品の加工→包装→販売の一連の流れを理解し、意欲的に作業に参加することができる。			

令和8年度 2年 農業(食品加工) 年間指導計画

単位数 / 配当時間	児童生徒	担当者	教科書／副教材
4/140	2学年 生徒20名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食品加工に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (知及び技)食品加工について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けることができる。 (思判表力)食品加工に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けることができる。 (学・人)食品加工について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及び技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思判表力)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思・判・表)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができたか。 (主学)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができたか。	(1)食品加工の基礎 ア 身だしなみ、態度 イ 食品衛生 ウ 校外学習	(1)食品加工の基礎 ア 作業に適切な服装、挨拶・返事、働くために必要な態度について学習する。 イ 食品衛生が、食品の安全性や品質を確保するとともに、人の生命と健康を守ることを目的としていることを学習する。 ウ 製パン、菓子・ケーキ、その他加工食品等の食品加工工場における、職人の手仕事や生産ラインを実際に見学し、製品に入った原材料や製造ラインを具体的にイメージし、食品の加工と管理の工程について学習する。
	84	(知及び技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思判表力)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思・判・表)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができたか。 (主学)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができたか。	(2)食品の加工と管理の工程 アイ 食品の加工 ウ 食品の加工と管理の工程	(2)食品の加工と管理の工程 ア パン類、菓子類の加工実習。 イ 食品製造における衛生に関する知識、パンや菓子類などの加工、食品の包装、販売などに関する知識と技術、身支度や実習の準備、後片付けなど、食品の加工を行う上での管理と工程について実習を通して学習する。
2 学期	24	(知及び技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思判表力)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思・判・表)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができたか。 (主学)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができたか。	(1)食品加工の基礎 ア 食中毒 イ 食品の分類 ウ 校外学習	(1)食品加工の基礎 ア 食中毒の定義を理解し、食中毒の発生状況及び食中毒にも食中毒菌による食中毒だけでなく、様々な種類があることを学習する。 イ 食品の分類が、農産物・畜産物・水産物による大別のほか、食品成分表や加工法により分類されることを学習する。 ウ 製パン、菓子・ケーキ、その他加工食品等の食品加工工場における、職人の手仕事や生産ラインを実際に見学し、製品に入った原材料や製造ラインを具体的にイメージし、食品の加工と管理の工程について学習する。
	90	(知及び技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思判表力)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思・判・表)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができたか。 (主学)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができたか。	(2)食品の加工と管理の工程 アイ 食品の加工 ウ 食品の加工と管理の工程	(2)食品の加工と管理の工程 ア パン類、菓子類の加工実習。 イ 食品製造における衛生に関する知識、パンや菓子類などの加工、食品の包装、販売などに関する知識と技術、身支度や実習の準備、後片付けなど、食品の加工を行う上での管理と工程について実習を通して学習する。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
3 学期	12	(知及び技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思判表力)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができたか。 (思・判・表)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができたか。 (主学)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができたか。	(1)食品加工の基礎 ア 食品加工の種類と特徴 イ 食品加工に関する機械、コンピューター等の情報機器の取扱い ウ 校外学習	(1)食品加工の基礎 ア パン類、菓子類、沖繩そば、うどんなどの麺類、豆腐、味噌などの大豆製品、漬け物類、切り干し大根、梅干し、ジャム、チーズ、バターなどの乳製品などの特徴について。 イ 食品加工に関する機械、計量器などの名称、その用途、操作手順、保管・管理について。 ウ 製パン、菓子・ケーキ、その他加工食品等の食品加工工場における、職人の手仕事や生産ラインを実際に見学し、製品に入った原材料や製造ラインを具体的にイメージし、食品の加工と管理の工程について学習する。
	46	(知及び技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思判表力)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができたか。 (思・判・表)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができたか。 (主学)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができたか。	(2)食品の加工と管理の工程 ア 食品の加工 イ 食品の加工と管理の工程	(2)食品の加工と管理の工程 ア パン類、菓子類の加工実習。 イ 食品製造における衛生に関する知識、パンや菓子類などの加工、食品の包装、販売などに関する知識と技術、身支度や実習の準備、後片付けなど、食品の加工を行う上での管理と工程について実習を通して学習する。
	留意点 引継ぎ等	<p>[基礎的・基本的事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物をせず、服装を整えて作業に参加できる。 ・色々な調理器具の名称を覚え、安全に使用することができる。 ・教師の指示通りに作業することができる。 ・分からない時は質問できる。 ・報告・連絡・相談ができる。 ・道具の準備・後片付けができる。 ・与えられた仕事を最後まで責任を持って行う。 ・仲間と協力して作業する。 ・食品の加工→包装→販売の一連の流れを理解し、意欲的に作業に参加することができる。 			

令和8年度 3年 農業(食品加工) 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
4/140	3学年 生徒20名		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、食品加工に必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (知及び技)食品加工について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けることができる。 (思判表力)食品加工に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けることができる。 (学・人)食品加工について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けることができる。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	20	(知及び技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思判表力)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思・判・表)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができたか。 (主学)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができたか。	(1)食品加工の基礎 ア 身だしなみ、態度 イ 食品衛生 ウ 校外学習	(1)食品加工の基礎 ア 作業に適切な服装、挨拶・返事、働くために必要な態度について学習する。 イ 食品衛生が、食品の安全性や品質を確保するとともに、人の生命と健康を守ることを目的としていることを学習する。 ウ 製パン、菓子・ケーキ、その他加工食品等の食品加工工場における、職人の手仕事や生産ラインを実際に見学し、製品に入った原材料や製造ラインを具体的にイメージし、食品の加工と管理の工程について学習する。
	84	(知及び技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思判表力)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思・判・表)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができたか。 (主学)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができたか。	(2)食品の加工と管理の工程 アイ 食品の加工 ウ 食品の加工と管理の工程	(2)食品の加工と管理の工程 ア パン類、菓子類の加工実習。 イ 食品製造における衛生に関する知識、パンや菓子類などの加工、食品の包装、販売などに関する知識と技術、身支度や実習の準備、後片付けなど、食品の加工を行う上での管理と工程について実習を通して学習する。
2 学期	24	(知及び技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思判表力)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思・判・表)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができたか。 (主学)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができたか。	(1)食品加工の基礎 ア 食中毒 イ 食品の分類 ウ 校外学習	(1)食品加工の基礎 ア 食中毒の定義を理解し、食中毒の発生状況及び食中毒にも食中毒菌による食中毒だけでなく、様々な種類があることを学習する。 イ 食品の分類が、農産物・畜産物・水産物による大別のほか、食品成分表や加工法により分類されることを学習する。 ウ 製パン、菓子・ケーキ、その他加工食品等の食品加工工場における、職人の手仕事や生産ラインを実際に見学し、製品に入った原材料や製造ラインを具体的にイメージし、食品の加工と管理の工程について学習する。
	90	(知及び技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思判表力)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思・判・表)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができたか。 (主学)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができたか。	(2)食品の加工と管理の工程 アイ 食品の加工 ウ 食品の加工と管理の工程	(2)食品の加工と管理の工程 ア パン類、菓子類の加工実習。 イ 食品製造における衛生に関する知識、パンや菓子類などの加工、食品の包装、販売などに関する知識と技術、身支度や実習の準備、後片付けなど、食品の加工を行う上での管理と工程について実習を通して学習する。

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
3 学期	12	(知及び技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思判表力)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができたか。 (思・判・表)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができたか。 (主学)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができたか。	(1)食品加工の基礎 ア 食品加工の種類と特徴 イ 食品加工に関する機械、コンピューター等の情報機器の取扱い ウ 校外学習	(1)食品加工の基礎 ア パン類、菓子類、沖繩そば、うどんなどの麺類、豆腐、味噌などの大豆製品、漬け物類、切り干し大根、梅干し、ジャム、チーズ、バターなどの乳製品などの特徴について。 イ 食品加工に関する機械、計量器などの名称、その用途、操作手順、保管・管理について。 ウ 製パン、菓子・ケーキ、その他加工食品等の食品加工工場における、職人の手仕事や生産ラインを実際に見学し、製品に入った原材料や製造ラインを具体的にイメージし、食品の加工と管理の工程について学習する。
	46	(知及び技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができる。 (思判表力)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技)食品加工の種類と基本的な特徴について理解するとともに、加工を行う上での食品の管理に係わる技術を身に付けることができたか。 (思・判・表)食品加工品の生産において、よりよい製品を作るために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができたか。 (主学)食品の管理について自ら学び、食品加工に主体的かつ協働的に取り組むことができたか。	(2)食品の加工と管理の工程 ア 食品の加工 イ 食品の加工と管理の工程	(2)食品の加工と管理の工程 ア パン類、菓子類の加工実習。 イ 食品製造における衛生に関する知識、パンや菓子類などの加工、食品の包装、販売などに関する知識と技術、身支度や実習の準備、後片付けなど、食品の加工を行う上での管理と工程について実習を通して学習する。
	留意点 引継ぎ等	<p>[基礎的・基本的事項]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・忘れ物をせず、服装を整えて作業に参加できる。 ・色々な調理器具の名称を覚え、安全に使用することができる。 ・教師の指示通りに作業することができる。 ・分からない時は質問できる。 ・報告・連絡・相談ができる。 ・道具の準備・後片付けができる。 ・与えられた仕事を最後まで責任を持って行う。 ・仲間と協力して作業する。 ・食品の加工→包装→販売の一連の流れを理解し、意欲的に作業に参加することができる。 			

令和 8年度 1年 流通・サービス（トータルクリーニング） 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	1学年（20名）		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 清掃に関することについて理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。 (思判表力) 清掃サービス業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。 (学・人) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
------	--	--	--	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	(知及技) ・清掃業務の内容と特徴を理解し、関連する技術を身につけることができる。 (思判表力) ・清掃業務に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、主体的に課題を解決することができる。 (学・人) ・職業人として必要な豊かな人間性を育み、社会貢献に主体的にかつ協働的に取り組むことができる。	(知・技) ・清掃業務の内容と特徴を理解し、関連する技術を身につけている。 (思・判・表) ・清掃業務に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、主体的に課題を解決しようとしている。 (主学) ・職業人として必要な豊かな人間性を育み、社会貢献に主体的にかつ協働的に取り組んでいる。	(1) サービス業の概要 ア サービス業の意義と役割 イ 清掃活動の内容 ウ 道具の取り扱い (2) 清掃 ア 清掃業務の内容と特徴 イ 清掃の方法	・トータルクリーニングの作業について ・作業を行う基本的な態度 ・体調管理、基礎体力 ・作業を行う上での安全面の諸注意 ・協調性、チームワークの大切さ ・作業の心得を確認 ・作業内容、手順の確認 ・道具の片付け方の確認 [教室清掃、机ふき、窓ふき] ・清掃の手順の理解や清掃技術の習得 ・安全、確実、丁寧に清掃する ・基本的なタオルの洗いや、絞り方、たたみ方 ・基本的なモップの洗いや、絞り方 ・窓の拭き方、スクイジーの使い方 ・アビリンピックへ向けての練習 ・機械（オーボット）の操作方法
2 学期	28	(知及技) ・清掃業務の内容と特徴を理解し、関連する技術を身につけることができる。 (思判表力) ・清掃業務に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、主体的に課題を解決することができる。 (学・人) ・職業人として必要な豊かな人間性を育み、社会貢献に主体的にかつ協働的に取り組むことができる。	(知・技) ・清掃業務の内容と特徴を理解し、関連する技術を身につけている。 (思・判・表) ・清掃業務に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、主体的に課題を解決しようとしている。 (主学) ・職業人として必要な豊かな人間性を育み、社会貢献に主体的にかつ協働的に取り組んでいる。	(1) サービス業の概要 ア (清掃) 機械の取り扱い (2) 清掃 ア 清掃業務の内容と特徴 イ 清掃の方法	・トータルクリーニングの作業について ・作業を行う基本的な態度 ・体調管理、基礎体力 ・作業を行う上での安全面の諸注意 ・協調性、チームワークの大切さ ・作業の心得を確認 ・作業内容、手順の確認 ・道具の片付け方の確認 [窓ふき、モップ、ダスタークロス、床清掃] ・清掃の手順の理解や清掃技術の習得 ・安全、確実、丁寧に清掃する ・基本的なタオルの洗いや、絞り方、たたみ方 ・基本的なモップの洗いや、絞り方 ・窓の拭き方、スクイジーの使い方 ・機械（オーボット）の操作方法 ・技能検定へ向けての練習
3 学期	16	(知及技) ・清掃業務の内容と特徴を理解し、関連する技術を身につけることができる。 (思判表力) ・清掃業務に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、主体的に課題を解決することができる。 (学・人) ・職業人として必要な豊かな人間性を育み、社会貢献に主体的にかつ協働的に取り組むことができる。	(知・技) ・清掃業務の内容と特徴を理解し、関連する技術を身につけている。 (思・判・表) ・清掃業務に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、主体的に課題を解決しようとしている。 (主学) ・職業人として必要な豊かな人間性を育み、社会貢献に主体的にかつ協働的に取り組んでいる。	(1) サービス業の概要 ア (清掃) 機械の取り扱い (2) 清掃 ア 清掃業務の内容と特徴 イ 清掃の方法	・トータルクリーニングの作業について ・作業を行う基本的な態度 ・体調管理、基礎体力 ・作業を行う上での安全面の諸注意 ・協調性、チームワークの大切さ ・作業の心得を確認 ・作業内容、手順の確認 ・道具の片付け方の確認 ・1年間のまとめ [窓ふき、洗車] ・清掃の手順の理解や清掃技術の習得 ・安全、確実、丁寧に清掃する ・基本的なタオルの洗いや、絞り方、たたみ方 ・窓の拭き方、スクイジーの使い方 ・洗車の手順の確認 ・機械（オーボット）の操作方法
留意点 引継ぎ等	※生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図る。 ※実践的・体験的な学習活動の充実を図る。				

令和 8年度 2年 流通・サービス（トータルクリーニング）年間指導計画

単位数 /配当時間	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2 / 70	2学年（各10名）		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 流通サービスに関することについて理解するとともに、関連する技術の向上を図るようにする。 (思判表力) 流通業やサービス業に関する課題や現状を把握し、職業人に求められる倫理観を踏まえ自ら課題を解決する力を養う。 (学・人) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。		
------	---	--	--

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	(知及技) 清掃業務の内容と特徴を理解し、関連する技術の向上を図ることができる。 (思判表力) 清掃業務に関する課題や現状を把握し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、主体的に課題を解決することができる。 (学・人) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、社会貢献に主体的にかつ協働的に取り組むことができる。	(知・技) 清掃業務の内容と特徴を理解し、関連する技術の向上を図る。 (思・判・表) 清掃業務に関する課題や現状を把握し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、主体的に課題を解決する。 (主学) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、社会貢献に主体的にかつ協働的に取り組む。	(1) 流通業やサービス業の概要 ア 流通業やサービス業の意義と役割 イ 流通業の基礎 ウ 道具の取り扱い (4) 清掃 ア 清掃業務の内容と特徴 イ 清掃の方法	・トータルクリーニングの作業について ・作業を行う基本的な態度 ・体調管理、基礎体力 ・作業を行う上での安全面の諸注意 ・協調性、チームワークの大切さ ・作業の心得を確認 ・作業内容、手順の確認 ・道具の片付けの確認 【教室清掃、野外/校外清掃、窓ふき】 ・浦添職業能力開発校・嶺井第一病院清掃等 ・清掃の手順の理解や清掃技術の習得 ・安全、確実、丁寧に清掃する ・基本的なタオルの洗いや、絞り方、たたみ方 ・基本的なモップの洗いや、絞り方 ・窓の拭き方、スクイジーの使い方 ・草刈りや野外整備の仕方
2 学期	28	(知及技) 清掃業務の内容と特徴を理解し、関連する技術や技法を身につけることができる。 (思判表力) 清掃業務に関する課題や現状を把握し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、主体的に課題を解決することができる。 (学・人) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、社会貢献に主体的にかつ協働的に取り組むことができる。	(知・技) 清掃業務の内容と特徴を理解し、関連する技術や技法を身につける。 (思・判・表) 清掃業務に関する課題や現状を把握し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、主体的に課題を解決する。 (主学) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、社会貢献に主体的にかつ協働的に取り組む。	(1) 流通業やサービス業の概要 ウ (清掃) 機械の取り扱い (4) 清掃 ア 清掃業務の内容と特徴 イ 清掃の方法	・トータルクリーニングの作業について ・作業を行う基本的な態度 ・体調管理、基礎体力 ・作業を行う上での安全面の諸注意 ・協調性、チームワークの大切さ ・作業の心得を確認 ・作業内容、手順の確認 ・道具の片付けの確認 【窓ふき、ダスタークロス、野外/校外清掃】 ・浦添職業能力開発校・嶺井第一病院清掃等 ・清掃の手順の理解や清掃技術の習得 ・安全、確実、丁寧に清掃する ・基本的なタオルの洗いや、絞り方、たたみ方 ・基本的なモップの洗いや、絞り方 ・窓の拭き方、スクイジーの使い方 ・機械（オーボット、スーパバー）の操作方法 ・技能検定へ向けての練習 ・草刈りや野外整備の仕方
3 学期	18	(知及技) 清掃業務の内容と特徴を理解し、関連する技術や技法を身につけることができる。 (思判表力) 清掃業務に関する課題や現状を把握し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、主体的に課題を解決することができる。 (学・人) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、社会貢献に主体的にかつ協働的に取り組むことができる。	(知・技) 清掃業務の内容と特徴を理解し、関連する技術や技法を身につける。 (思・判・表) 清掃業務に関する課題や現状を把握し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、主体的に課題を解決する。 (主学) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、社会貢献に主体的にかつ協働的に取り組む。	(1) 流通業やサービス業の概要 ウ (清掃) 機械の取り扱い (4) 清掃 ア 清掃業務の内容と特徴 イ 清掃の方法	・トータルクリーニングの作業について ・作業を行う基本的な態度 ・体調管理、基礎体力 ・作業を行う上での安全面の諸注意 ・協調性、チームワークの大切さ ・作業の心得を確認 ・作業内容、手順の確認 ・道具の片付けの確認 ・1年間のまとめ 【窓ふき、洗車、野外/校外清掃】 ・浦添職業能力開発校・嶺井第一病院清掃等 ・清掃の手順の理解や清掃技術の習得 ・安全、確実、丁寧に清掃する ・基本的なタオルの洗いや、絞り方、たたみ方 ・窓の拭き方、スクイジーの使い方 ・洗車の手順の確認 ・草刈りや野外整備の仕方

留意点 引継ぎ等	※生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図る。 ※実践的・体験的な学習活動の充実を図る。				
-------------	---	--	--	--	--

令和8年度 3年 流通・サービス（トータルクリーニング） 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	3学年（各10名）		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 清掃に関することについて理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。 (思判表力) 清掃サービス業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。 (学・人) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	(知及技) ・清掃業務の内容と特徴を理解し、関連する技術を身につけることができる。 (思判表力) ・清掃業務に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、主体的に課題を解決することができる。 (学・人) ・職業人として必要な豊かな人間性を育み、社会貢献に主体的にかつ協働的に取り組むことができる。	(知・技) ・清掃業務の内容と特徴を理解し、関連する技術を身につけている。 (思・判・表) ・清掃業務に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、主体的に課題を解決しようとしている。 (主学) ・職業人として必要な豊かな人間性を育み、社会貢献に主体的にかつ協働的に取り組んでいる。	(1) サービス業の概要 ア サービス業の意義と役割 イ 清掃活動の内容 ウ 道具の取り扱い (2) 清掃 ア 清掃業務の内容と特徴 イ 清掃の方法	・トータルクリーニングの作業について ・作業を行う基本的な態度 ・体調管理、基礎体力 ・作業を行う上での安全面の諸注意 ・協調性、チームワークの大切さ ・作業の心得を確認 ・作業内容、手順の確認 ・道具の片付け方の確認 【校内清掃】机拭き、窓拭き、モップかけ ・清掃の手順の理解や清掃技術の習得 ・安全、確実、丁寧に清掃する ・基本的なタオルの洗い方、絞り方、たたみ方 ・基本的なモップの洗い方、絞り方 ・窓の拭き方、スクイジーの使い方
2 学期	28	(知及技) ・清掃業務の内容と特徴を理解し、関連する技術を身につけることができる。 (思判表力) ・清掃業務に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、主体的に課題を解決することができる。 (学・人) ・職業人として必要な豊かな人間性を育み、社会貢献に主体的にかつ協働的に取り組むことができる。	(知・技) ・清掃業務の内容と特徴を理解し、関連する技術を身につけている。 (思・判・表) ・清掃業務に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、主体的に課題を解決しようとしている。 (主学) ・職業人として必要な豊かな人間性を育み、社会貢献に主体的にかつ協働的に取り組んでいる。	(1) サービス業の概要 ウ (清掃) 機械の取り扱い (2) 清掃 ア 清掃業務の内容と特徴 イ 清掃の方法	・トータルクリーニングの作業について ・作業を行う基本的な態度 ・体調管理、基礎体力 ・作業を行う上での安全面の諸注意 ・協調性、チームワークの大切さ ・作業の心得を確認 ・作業内容、手順の確認 ・道具の片付け方の確認 【校内、近隣施設の清掃】 窓ふき、モップかけ、ダスタークロス、床清掃 ・清掃の手順の理解や清掃技術の習得 ・安全、確実、丁寧に清掃する ・基本的なタオルの洗い方、絞り方、たたみ方 ・基本的なモップの洗い方、絞り方 ・窓の拭き方、スクイジーの使い方 ・機械（オーボット、スイーパー）の操作方法 ・技能検定：ビルメンテナンス部門の内容確認
3 学期	16	(知及技) ・清掃業務の内容と特徴を理解し、関連する技術を身につけることができる。 (思判表力) ・清掃業務に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、主体的に課題を解決することができる。 (学・人) ・職業人として必要な豊かな人間性を育み、社会貢献に主体的にかつ協働的に取り組むことができる。	(知・技) ・清掃業務の内容と特徴を理解し、関連する技術を身につけている。 (思・判・表) ・清掃業務に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、主体的に課題を解決しようとしている。 (主学) ・職業人として必要な豊かな人間性を育み、社会貢献に主体的にかつ協働的に取り組んでいる。	(1) サービス業の概要 ウ (清掃) 機械の取り扱い (2) 清掃 ア 清掃業務の内容と特徴 イ 清掃の方法	・トータルクリーニングの作業について ・作業を行う基本的な態度 ・体調管理、基礎体力 ・作業を行う上での安全面の諸注意 ・協調性、チームワークの大切さ ・作業の心得を確認 ・作業内容、手順の確認 ・道具の片付け方の確認 ・1年間のまとめ 【窓ふき、洗車】 ・清掃の手順の理解や清掃技術の習得 ・安全、確実、丁寧に清掃する ・基本的なタオルの洗い方、絞り方、たたみ方 ・窓の拭き方、スクイジーの使い方
留意点 引継ぎ等		※生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図る。 ※実践的・体験的な学習活動の充実を図る。 ※学校車、学校バスを定期的に清掃、洗車する。 ※決められた日程で、近隣施設の清掃を行う。（浦添職業能力開発校、嶺井第一病院）			

令和8年度 1年 流通・サービス(サービスオフィス) 年間指導計画

単位数 /配当時間	児童生徒	担当者	教科書/副教材
2/70	1学年(20名)		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 流通やサービスに関することについて理解するとともに、関連する知識や技術を身に付けるようにする。 (思判表力) 流通業やサービス業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。 (学・人) 事務作業や接客練習を通し、職業人として必要な豊かな人間性を育み、自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	24	【(5)事務】 (知及技) 事務作業の内容と特徴について理解するとともに、事務処理の手順や方法など事務作業に関する技術を身に付けることができる。 (思判表力) よりよい事務処理をするために必要な課題を発見し、工夫することができる。 (学・人) 事務作業の内容と特徴などについて自ら学び、事務作業に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技) 事務作業の内容と特徴がわかる。事務処理の手順や方法など事務作業に関する技術を身に付けることができる。 (思・判・表) 事務作業において、課題を発見し、正確さやスピードを向上させるための工夫について考え、表現しようとしている。 (主学) 積極的に事務作業へ取り組んだり、協働が必要な場面で他者へ自ら話しかけたり、関わりをもとうとしている。	【ビジネスマナー】 ・あいさつ ・言葉づかい ・アドバイスの受け方 ・報告、連絡、相談 【ピッキング】 ・指示書の確認 ・ピックアップ作業 【タイピング】 ・ローマ字変換 ・ホームポジション練習 ・文章入力の練習 【ナプキン折り】 ・デルタ折り、王冠	・基本的なビジネスマナーについて学ぶ。 ・ワークサンプル幕張版の教材を利用し、ピッキング作業を行う。 ・日本語のローマ字変換方法を確認し、マナビジョン(ホームポジション編、日本語入力編)を利用してタイピング練習を行う。 ・手順を確認しながら、テーブルクロスを課題の通りに折る。
2 学期	4	【(1)流通業やサービス業の概要】 (知及技) 流通業やサービス業が社会で果たしている意義と役割などについて理解することができる。 (思判表力) 商品の流通やサービスの提供などを通して地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する視点から、顧客のニーズに応じた商品の流通やサービスの提供などのための工夫について考え、表現することができる。 (学・人) 流通業やサービス業の意義と役割などについて自ら学ぶことができる。	(知・技) 流通業やサービス業が社会で果たしている意義と役割などについて理解しようとしている。 (思・判・表) 顧客のニーズに応じた商品の流通やサービスの提供などのための工夫について考え、表現しようとしている。 (主学) 流通業やサービス業の意義と役割などについて自ら学ぼうとしている。	【流通業やサービス業について】 ・意義と役割 ・身近な流通業やサービス業	・身近な商品が、生産者からどのように私たちに届くのかを学習する。 ・県内の流通業やサービス業を担う事業所や市場について学習する。(可能であれば見学を行う)
2 学期	24	【(5)事務】 (知及技) 事務作業の内容と特徴について理解するとともに、事務処理の手順や方法など事務作業に関する技術を身に付けることができる。 (思判表力) よりよい事務処理をするために必要な課題を発見し、工夫することができる。 (学・人) 事務作業の内容と特徴などについて自ら学び、事務作業に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技) 事務作業の内容と特徴がわかる。事務処理の手順や方法など事務作業に関する技術を身に付けることができる。 (思・判・表) 事務作業において、課題を発見し、正確さやスピードを向上させるための工夫について考え、表現しようとしている。 (主学) 積極的に事務作業へ取り組んだり、協働が必要な場面で他者へ自ら話しかけたり、関わりをもとうとしている。	【ビジネスマナー】 ・身だしなみ ・職場への電話のかけ方 ・通勤時に気をつけること 【電卓】 ・電卓技能検定試験 5・6・7級レベル 【物品請求】 ・物品請求書の作成	・プリントを活用し、ビジネスマナーについて学習する。 ・職場への電話のシミュレーション学習を行う。 ・電卓技能検定5・6・7級問題集を利用し、電卓入力の練習を行う。 ・ワークサンプル幕張版の教材(品名カード)を基にカタログで値段や品番などを確認し、物品請求書を作成する。
3 学期	18	【(5)事務】 (知及技) 事務作業の内容と特徴について理解するとともに、事務処理の手順や方法など事務作業に関する技術を身に付けることができる。 (思判表力) よりよい事務処理をするために必要な課題を発見し、工夫することができる。 (学・人) 事務作業の内容と特徴などについて自ら学び、事務作業に主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技) 事務作業の内容と特徴がわかる。事務処理の手順や方法など事務作業に関する技術を身に付けることができる。 (思・判・表) 事務作業において、課題を発見し、正確さやスピードを向上させるための工夫について考え、表現しようとしている。 (主学) 積極的に事務作業へ取り組んだり、協働が必要な場面で他者へ自ら話しかけたり、関わりをもとうとしている。	【数値チェック】 ・請求書の誤入力チェック作業 【電卓】 ・電卓技能検定試験 5・6・7級レベル	・ワークサンプル幕張版の教材(納品書と請求書)を利用し、請求書の数値入力ミスのチェックをし、訂正作業を行う。 ・電卓技能検定5・6・7級問題集を利用し、電卓入力の練習を行う。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 2年 流通・サービス(サービスオフィス) 年間指導計画

単位数 / 相当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2/70	2学年 (20名)		新・見てわかるビジネスマナー集

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技) 流通やサービスに関することについて理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 (思判表力) 流通業やサービス業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。 (学・人) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	【(5)事務】 (知及技) ・事務業務の内容と特徴について理解するとともに、事務処理の手順や方法など事務業務に関する技術を身に付けることができる。 (思判表力) ・事務業務において、企業でのニーズに応じた事務処理のために必要な課題を発見し、よりよい事務処理のための工夫について考え、表現することができる。 (学・人) ・事務業務の内容と特徴などについて自ら学び、事務業務に主体的かつ協動的に取り組むことができる。	(知・技) ・事務業務の内容と特徴について理解しようとしている。 ・事務処理の手順や方法など事務業務に関する技術を身に付けようとしている。 (思・判・表) ・事務業務において、企業でのニーズに応じた事務処理のために必要な課題を発見し、よりよい事務処理のための工夫について考え、表現しようとしている。 (主学) ・事務業務の内容と特徴などについて自ら学び、事務業務に主体的かつ協動的に取り組もうとしている。	【物品請求】 ・物品請求書の作成 【タイピング】 ・ホームポジション練習 【電卓】 ・ブラインドタッチ練習 ・電卓技能検定試験 5・6・7級レベル 【資料つづり】 【テーブルクロス折り】 【ピッキング】 ・指示書の確認 ・ピッキング作業 【数値入力・チェック】 ・数値入力 ・誤入力チェック作業	・ワークサンプル幕張版の教材を利用し、物品請求書の作成を行う。 ・日本語のローマ字変換方法を確認し、マナビジョン(日本語入力編)を利用しタイピング練習を行う。 ・電卓のホームポジションを確認し、電卓を見ずに課題の数字の入力を行う。 ・電卓技能検定試験5・6・7級問題集を利用し、電卓の活用方法や計算の速さや正確性の向上を図る。 ・就業体験の日誌など、資料つづりを行う。 ・手順を確認しながら、テーブルクロスを課題の通りに折る。 ・ワークサンプル幕張版の教材を利用し、ピッキング作業を行う。 ・ワークサンプル幕張版の教材を利用し、数値入力や入力ミスのチェック作業を行う。
2 学期	4	【(1)流通業やサービス業の概要】 (知及技) ・流通業やサービス業が社会で果たしている意義と役割などについて理解するとともに、事務機器の取扱いなどに関する技術を身に付けることができる。 (思判表力) ・商品の流通やサービスの提供などを通して地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する視点から、顧客のニーズに応じた商品の流通やサービスの提供などのための工夫について考え、表現することができる。 (学・人) ・流通業やサービス業の意義と役割などについて自ら学ぶことができる。	(知・技) ・流通業やサービス業が社会で果たしている意義と役割などについて理解しようとしている。 ・事務機器の取扱いなどに関する技術を身に付けようとしている。 (思・判・表) ・商品の流通やサービスの提供などを通して地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する視点から、顧客のニーズに応じた商品の流通やサービスの提供などのための工夫について考え、表現しようとしている。 (主学) ・流通業やサービス業の意義と役割などについて自ら学ぶようとしている。	【流通業やサービス業について】 ・意義と役割 ・身近な流通業やサービス業	・身近な商品が、生産者からどのように私たちに届くのか学習する。 ・県内の流通業やサービス業を担う事業所や市場について学習する。(可能であれば見学を行う)
	24	【(5)事務】 (知及技) ・事務業務の内容と特徴について理解するとともに、事務処理の手順や方法など事務業務に関する技術を身に付けることができる。 (思判表力) ・事務業務において、企業でのニーズに応じた事務処理のために必要な課題を発見し、よりよい事務処理のための工夫について考え、表現することができる。 (学・人) ・事務業務の内容と特徴などについて自ら学び、事務業務に主体的かつ協動的に取り組むことができる。	(知・技) ・事務業務の内容と特徴について理解しようとしている。 ・事務処理の手順や方法など事務業務に関する技術を身に付けようとしている。 (思・判・表) ・事務業務において、企業でのニーズに応じた事務処理のために必要な課題を発見し、よりよい事務処理のための工夫について考え、表現しようとしている。 (主学) ・事務業務の内容と特徴などについて自ら学び、事務業務に主体的かつ協動的に取り組もうとしている。	【物品請求】 ・物品請求書の作成 【タイピング】 ・ホームポジション練習 【電卓】 ・ブラインドタッチ練習 ・電卓技能検定試験 5・6・7級レベル 【資料つづり】 【テーブルクロス折り】 【ピッキング】 ・指示書の確認 ・ピッキング作業 【数値入力・チェック】 ・数値入力 ・誤入力チェック作業	・ワークサンプル幕張版の教材を利用し、物品請求書の作成を行う。 ・日本語のローマ字変換方法を確認し、マナビジョン(日本語入力編)を利用しタイピング練習を行う。 ・電卓のホームポジションを確認し、電卓を見ずに課題の数字の入力を行う。 ・電卓技能検定試験5・6・7級問題集を利用し、電卓の活用方法や計算の速さや正確性の向上を図る。 ・就業体験の日誌など、資料つづりを行う。 ・手順を確認しながら、テーブルクロスを課題の通りに折る。 ・ワークサンプル幕張版の教材を利用し、ピッキング作業を行う。 ・ワークサンプル幕張版の教材を利用し、数値入力や入力ミスのチェック作業を行う。
3 学期	16	【(5)事務】 (知及技) ・事務業務の内容と特徴について理解するとともに、事務処理の手順や方法など事務業務に関する技術を身に付けることができる。 (思判表力) ・事務業務において、企業でのニーズに応じた事務処理のために必要な課題を発見し、よりよい事務処理のための工夫について考え、表現することができる。 (学・人) ・事務業務の内容と特徴などについて自ら学び、事務業務に主体的かつ協動的に取り組むことができる。	(知・技) ・事務業務の内容と特徴について理解しようとしている。 ・事務処理の手順や方法など事務業務に関する技術を身に付けようとしている。 (思・判・表) ・事務業務において、企業でのニーズに応じた事務処理のために必要な課題を発見し、よりよい事務処理のための工夫について考え、表現しようとしている。 (主学) ・事務業務の内容と特徴などについて自ら学び、事務業務に主体的かつ協動的に取り組もうとしている。	【物品請求】 ・物品請求書の作成 【タイピング】 ・ホームポジション練習 【電卓】 ・ブラインドタッチ練習 ・電卓技能検定試験 5・6・7級レベル 【資料つづり】 【テーブルクロス折り】 【ピッキング】 ・指示書の確認 ・ピッキング作業 【数値入力・チェック】 ・数値入力 ・誤入力チェック作業	・ワークサンプル幕張版の教材を利用し、物品請求書の作成を行う。 ・日本語のローマ字変換方法を確認し、マナビジョン(日本語入力編)を利用しタイピング練習を行う。 ・電卓のホームポジションを確認し、電卓を見ずに課題の数字の入力を行う。 ・電卓技能検定試験5・6・7級問題集を利用し、電卓の活用方法や計算の速さや正確性の向上を図る。 ・就業体験の日誌など、資料つづりを行う。 ・手順を確認しながら、テーブルクロスを課題の通りに折る。 ・ワークサンプル幕張版の教材を利用し、ピッキング作業を行う。 ・ワークサンプル幕張版の教材を利用し、数値入力や入力ミスのチェック作業を行う。
留意点 引継ぎ等					

令和 8 年度 3 年 年間指導計画 流通・サービス「サービスオフィス」

単位数 / 配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2 / 70	3 学年 (20名)		

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 流通やサービスに関することについて理解するとともに、関連する技術を向上させるようにする。 (思判表力) 流通業やサービス業に関する課題や現状を把握し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。 (学・人) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	【(5)事務】 (知及技) 事務業務の内容と特徴について理解するとともに、事務処理の手順や方法など事務業務に関する技術を向上させることができる。 (思判表力) 事務業務において、企業でのニーズに応じた事務処理のために必要な課題を発見し、よりよい事務処理のための創意工夫について考え、表現することができる。 (学・人) 事務業務の内容と特徴などについて自ら学び、事務業務に主体的かつ協動的に取り組むことができる。	(知・技) 事務業務の内容と特徴について理解することができる。 事務処理の手順や方法など事務業務に関する技術を向上させることができる。 (思・判・表) 事務業務において、企業でのニーズに応じた事務処理のために必要な課題を発見し、よりよい事務処理のための創意工夫について考え、表現することができる。 (主学) 事務業務の内容と特徴などについて自ら学び、事務業務に主体的かつ協動的に取り組むことができる。	【ピッキング】 【タイピング】 【電卓】 ・ブラインドタッチ練習 ・電卓技能検定試験 5・6・7級レベル 【資料つくり】 【技能検定に向けて】 ・喫茶サービス 【就業体験実習に向けて】 ・ビジネスマナー ・電話のかけ方等 【テーブルクロス折り】	・ワークサンプル幕張版の教材を利用し、物品請求書の作成を行う。 ・日本語のローマ字変換方法を確認し、マナビジョン（日本語入力編）を利用しタイピング練習を行う。 ・電卓のホームポジションを確認し、電卓を見ずに課題の数字の入力を行う。 ・電卓技能検定試験5・6・7級問題集を利用し、電卓の活用方法や計算の速さや正確性の向上を図る。 ・就業体験の日記など、資料つくりを行う。 ・喫茶サービスの一連の動きや台詞の練習をする。 ・手順を確認しながら、テーブルクロスを課題の通りに折る。
2 学期	4	【(1)流通業やサービス業の概要】 (知及技) 流通業やサービス業が社会で果たしている意義と役割などについて理解するとともに、事務機器の取扱いなどに関する技術を身に付けることができる。 (思判表力) 商品の流通やサービスの提供などを通して地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する視点から、顧客のニーズに応じた商品の流通やサービスの提供などのための工夫について考え、表現することができる。 (学・人) 流通業やサービス業の意義と役割などについて自ら学ぶことができる。	(知・技) 流通業やサービス業が社会で果たしている意義と役割などについて理解しようとしている。 事務機器の取扱いなどに関する技術を身に付けることができる。 (思・判・表) 商品の流通やサービスの提供などを通して地域や社会の健全で持続的な発展に寄与する視点から、顧客のニーズに応じた商品の流通やサービスの提供などのための工夫について考え、表現しようとしている。 (主学) 流通業やサービス業の意義と役割などについて自ら学ぼうとしている。	【流通業やサービス業について】 ・意義と役割 ・身近な流通業やサービス業 ・事務機器や情報機器の取扱い	・身近な商品が、生産者からどのように私たちに届くのか学習する。 ・県内の流通業やサービス業を担う事業所や市場について学習する。
	24	【(5)事務】 (知及技) 事務業務の内容と特徴について理解するとともに、事務処理の手順や方法など事務業務に関する技術を身に付けることができる。 (思判表力) 事務業務において、企業でのニーズに応じた事務処理のために必要な課題を発見し、よりよい事務処理のための工夫について考え、表現することができる。 (学・人) 事務業務の内容と特徴などについて自ら学び、事務業務に主体的かつ協動的に取り組むことができる。	(知・技) 事務業務の内容と特徴について理解することができる。 事務処理の手順や方法など事務業務に関する技術を向上させることができる。 (思・判・表) 事務業務において、企業でのニーズに応じた事務処理のために必要な課題を発見し、よりよい事務処理のための工夫について考え、表現することができる。 (主学) 事務業務の内容と特徴などについて自ら学び、事務業務に主体的かつ協動的に取り組むことができる。	【ピッキング】 ・指示書の確認 ・ピッキング作業 【文書作成】 ・ビジネス文書実務検定 速度部門3級 入力練習 【電卓】 ・電卓技能検定試験 5・6・7級レベル 【技能検定に向けて】 ・喫茶サービス 【就業体験実習に向けて】 ・ビジネスマナー ・電話のかけ方等 【テーブルクロス折り】 【資料つくり】	・ワークサンプル幕張版の教材を利用し、ピッキング作業を行う。 ・全商ビジネス文書実務検定問題集3級を利用し、文字入力を行う速度部門の練習を行う。 ・電卓のホームポジションを確認し、電卓を見ずに課題の数字の入力を行う。 ・電卓技能検定試験5・6・7級問題集を利用し、電卓の活用方法や計算の速さや正確性の向上を図る。 ・就業体験の日記など、資料つくりを行う。 ・喫茶サービスの一連の動きや台詞の練習をする。 ・手順を確認しながら、テーブルクロスを課題の通りに折る。
3 学期	16	【(5)事務】 (知及技) 事務業務の内容と特徴について理解するとともに、事務処理の手順や方法など事務業務に関する技術を身に付けることができる。 (思判表力) 事務業務において、企業でのニーズに応じた事務処理のために必要な課題を発見し、よりよい事務処理のための工夫について考え、表現することができる。 (学・人) 事務業務の内容と特徴などについて自ら学び、事務業務に主体的かつ協動的に取り組むことができる。	(知・技) 事務業務の内容と特徴について理解することができる。 事務処理の手順や方法など事務業務に関する技術を向上させることができる。 (思・判・表) 事務業務において、企業でのニーズに応じた事務処理のために必要な課題を発見し、よりよい事務処理のための工夫について考え、表現することができる。 (主学) 事務業務の内容と特徴などについて自ら学び、事務業務に主体的かつ協動的に取り組むことができる。	【ピッキング】 ・指示書の確認 ・ピッキング作業 【数値入力・チェック】 ・数値入力 ・誤入力チェック作業	・ワークサンプル幕張版の教材を利用し、ピッキング作業を行う。 ・ワークサンプル幕張版の教材を利用し、数値入力や入力ミスのチェック作業を行う。
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 1年 工業（ものづくり） 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
2 / 70	1学年（20名）		

目標：（知及技）知識及び技能 （思判表力）思考力、判断力、表現力等 （学・人）学びに向かう力・人間性等
 評価：（知・技）知識・技能 （思・判・表）思考・判断・表現 （主学）主体的に学習に取り組む態度

年間目標	（知及技）ものづくりに関することについて理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。 （思判表力）ものづくりを通して職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を発見し、自ら解決する力を養う。 （学・人）職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	26	（知及技） ・基本的な機械・工具の用途が分かり、適切に扱い、安全に作業する心構えを習得することができる。	（知・技） ・基本的な機械・工具の用途が分かり、適切に扱い、安全に作業する心構えを習得することができる。	・ものづくり学習の目的 ・作業の安全 ・木工作品（ミニBOX、ミニトレイ等）の製作	・ものづくりとは（導入） 授業の進め方と年間の学習計画材料や道具等の取り扱い方 ・製品の工程を理解し、必要な用具の準備・片づけ・製作ができる。 ・就労の具体的なイメージを持つこと及び自己の特性を知る。 ・材料の種類や工具等の扱い方 木材・ノコギリ・差しがね・糸のこ盤・紙やすり・ベルトサンダー・バンドソー・ドライバー・ハンマーなど製作の工程表、作業報告書、完成作品見本 木工作品（ミニBOX等）の製作 ・学期を割り振り、今後の目標を立てる。
		（思判表力） ・報告・連絡・相談しながら作業することができる。	（思・判・表） ・報告・連絡・相談しながら作業することができる。		
		（学・人） ・意欲をもって最後まで集中して取り組むことができる。	（主学） ・意欲をもって最後まで集中して取り組むことができる。		
2 学期	28	（知及技） ・基本的な機械・工具の用途が分かり、適切に扱い、安全に作業する心構えを習得することができる。	（知・技） ・基本的な機械・工具の用途が分かり、適切に扱い、安全に作業する心構えを習得することができる。	・各種木工製品等の製作 ・展示販売などの準備と取り組み ・木工作品（ミニボックス、お盆等）の製作	・材料の準備、片付けがスムーズにできる。 ・材料の種類や工具等の扱い方 木材・ノコギリ・差しがね・糸のこ盤・紙やすり・ベルトサンダー・バンドソー・ドライバー・ハンマーなど製作の工程表、作業報告書、完成作品見本 ・木工作品（ミニBOX、お盆等）の製作 ・販売方法・役割分担・製品の展示 ・2学期の反省
		（思判表力） ・作業の流れを考え見通しをもって行動できる。	（思・判・表） ・作業の流れを考え見通しをもって行動できている。		
		（学・人） ・友達と協力して役割分担しながら意識して行動できる。	（主学） 友達と協力して役割分担しながら意識して行動できている。		
3 学期	16	（知及技） ・基本的な機械・工具の用途が分かり、適切に扱い、安全に作業する心構えを習得することができる。	（知・技） ・基本的な機械・工具の用途が分かり、適切に扱い、安全に作業する心構えを習得することができる。	・展示販売作品製作 ・展示販売の準備 ・木工作品の製作（木工プレート等） ・年間のまとめ	・各種工具や機械の取り扱いかた 木材・ノコギリ・差しがね・糸のこ盤・紙やすり・ベルトサンダー・バンドソー・ドライバー・ハンマーなど製作の工程表、作業報告書、完成作品見本 ・木工作品の製作（木工プレート等） ・ものづくり学習の反省・評価・発表
		（思判表力） ・機械工具の使用の種類が作業によって分かり、報告・連絡・相談しながら作業することができる。	（思・判・表） ・機械工具の使用の種類が作業によって分かり、報告・連絡・相談しながら作業することができる。		
		（学・人） ・友達と協力して役割を分担しながら意識して行動できる。 ・意欲をもって最後まで集中して取り組むことができる。	（主学） ・友達と協力して役割を分担しながら意識して行動できている。 ・意欲をもって最後まで集中して取り組むことができる。		

留意点 引継ぎ等	
-------------	--

令和8年度 2年 工業（ものづくり） 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
4/140	2学年(7名)		

目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	(知及技)ものづくりに関することについて理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。 (思判表力)ものづくりを通して職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を発見し、自ら解決する力を養う。 (学・人)職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	52	(知及技) ・基本的な機械・工具の用途が分かり、適切に扱い、安全に作業することができる。	(知・技) ・基本的な機械・工具の用途が分かり、適切に扱い、安全に作業することができる。	・ものづくり学習の目的 ・作業の安全	・ものづくりとは(導入) 授業の進め方と年間の学習計画材料や道具等の取り扱い方 ・製品の工程を理解し、必要な用具の準備・片づけ・製作ができる。 ・就労の具体的なイメージを持つこと及び自己の特性を知る。 ・材料の種類や工具等の扱い方 木材・ノコギリ・差しがね・糸のご盤・紙やすり・ベルトサンダー・バンドソー・ドライバー・ハンマーなど製作の工程表、作業報告書、完成作品見本 木工作品(BOX)の製作 ・学期を割り振り、今後の目標を立てる。
		(思判表力) ・機械工具の使用の種類が作業によって分かり、報告・連絡・相談しながら作業することができる。	(思・判・表) ・機械工具の使用の種類が作業によって分かり、報告・連絡・相談しながら作業することができる。	・木工作品(BOX)の製作	
		(学・人) ・意欲をもって最後まで集中して取り組むことができる。	(主学) ・意欲をもって最後まで集中して取り組むことができる。		
2 学期	56	(知及技) ・基本的な機械・工具の用途が分かり、適切に扱い、安全に作業する心構えを習得することができる。	(知・技) ・基本的な機械・工具の用途が分かり、適切に扱い、安全に作業する心構えを習得することができる。	・各種木工製品等の製作 ・展示販売などの準備と取り組み	・材料の準備、片付けがスムーズにできる。 ・材料の種類や工具等の扱い方 木材・ノコギリ・差しがね・糸のご盤・紙やすり・ベルトサンダー・バンドソー・ドライバー・ハンマーなど製作の工程表、作業報告書、完成作品見本 ・木工作品(ベンチ)の製作 ・販売方法・役割分担・製品の展示 ・2学期の反省
		(思判表力) ・機械工具の使用の種類が作業によって分かり、報告・連絡・相談しながら作業することができる。	(思・判・表) ・機械工具の使用の種類が作業によって分かり、報告・連絡・相談しながら作業することができる。	・木工作品(ベンチ)の製作	
		(学・人) ・友達と協力して役割を分担しながら意識して行動ができる。	(主学) ・友達と協力して役割を分担しながら意識して行動ができる。		
3 学期	32	(知及技) ・基本的な機械・工具の用途が分かり、適切に扱い、安全に作業する心構えを習得することができる。	(知・技) ・基本的な機械・工具の用途が分かり、適切に扱い、安全に作業する心構えを習得することができる。	・作品製作販売を行う。 ・販売の準備	・各種工具や機械の取り扱いかた 木材・ノコギリ・差しがね・糸のご盤・紙やすり・ベルトサンダー・バンドソー・ドライバー・ハンマーなど製作の工程表、作業報告書、完成作品見本 ・木工作品の製作(木工プレート等) ・ものづくり学習の反省・評価・発表
		(思判表力) ・機械工具の使用の種類が作業によって分かり、報告・連絡・相談しながら作業することができる。	(思・判・表) ・機械工具の使用の種類が作業によって分かり、報告・連絡・相談しながら作業することができる。	・木工作品の製作(木工プレート等)	
		(学・人) ・自分の得意な作業、苦手な作業がわかり、作業内容を選択して取り組むことができる。 ・意欲をもって最後まで集中して取り組むことができる。	(主学) ・自分の得意な作業、苦手な作業がわかり、作業内容を選択して取り組むことができる。 ・意欲をもって最後まで集中して取り組むことができる。	・年間のまとめ	

留意点 引継ぎ等	・ 建材屋で木材購入（各学期に1回程度）を生徒と一緒にいき、搬入搬出の仕事を経験させる。
-------------	--

令和8年度 3年 工業（ものづくり）年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
4/140	3学年(8名)		

目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)ものづくりに関することについて理解するとともに、関連する技術を身につけるようにする。 (思判表力)ものづくりを通して職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を発見し、自ら解決する力を養う。 (学・人)職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価 規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	52	(知及技) ・基本的な機械・工具の用途が分かり、適切に扱い、安全に作業することができる。	(知・技) ・基本的な機械・工具の用途が分かり、適切に扱い、安全に作業することができる。	・ものづくり学習の目的 ・作業の安全 ・木工作品(ミニ椅子)の製作	・ものづくりとは(導入) 授業の進め方と年間の学習計画材料や道具等の取り扱い方 ・製品の工程を理解し、必要な用具の準備・片づけ・製作ができる。 ・就労の具体的なイメージを持つこと及び自己の特性を知る。 ・材料の種類や工具等の扱い方 木材・ノコギリ・差しがね・糸のこ盤・紙やすり・ベルトサンダー・バンドソー・ドライバー・ハンマーなど製作の工程表、作業報告書、完成作品見本 木工作品(ミニ椅子)の製作 ・学期を割り振り、今後の目標を立てる。
		(思判表力) ・作業工程を確認して、次の作業を考え行動することができる。	(思・判・表) ・作業工程を確認して、次の作業を考え行動することができる。		
		(学・人) ・意欲をもって最後まで集中して取り組むことができる。	(主学) ・意欲をもって最後まで集中して取り組むことができる。		
2 学期	64	(知及技) ・作業工程を理解し、自分で作業を進めることができる。	(知・技) ・作業工程を理解し、自分で作業を進めることができる。	・各種木工製品等の製作 ・展示販売などの準備と取り組み ・木工作品(ミニテーブル)の製作	・材料の準備、片付けがスムーズにできる。 ・材料の種類や工具等の扱い方 木材・ノコギリ・差しがね・糸のこ盤・紙やすり・ベルトサンダー・バンドソー・ドライバー・ハンマーなど製作の工程表、作業報告書、完成作品見本 ・木工作品(ミニテーブル)の製作 ・販売方法・役割分担・製品の展示 ・2学期の反省
		(思判表力) ・作業の流れを考え見通しをもって行動できる。	(思・判・表) ・作業の流れを考え見通しをもって行動できる。		
		(学・人) ・友達と協力して役割を分担しながら意識行動できる。 ・意欲をもって最後まで集中して取り組むことができる。	(主学) ・友達と協力して役割を分担しながら意識行動できている。 ・意欲をもって最後まで集中して取り組むことができる。		
3 学期	24	(知及技) ・基本的な機械・工具の使用が安定して行うことができる。道具の保守点検ができる。	(知・技) ・基本的な機械・工具の使用が安定して行うことができる。道具の保守点検ができる。	・作品製作販売を行う。 ・販売の準備 ・木工作品の製作(木工プレート等) ・年間のまとめ	・各種工具や機械の取り扱いかた 木材・ノコギリ・差しがね・糸のこ盤・紙やすり・ベルトサンダー・バンドソー・ドライバー・ハンマーなど製作の工程表、作業報告書、完成作品見本 ・木工作品の製作(木工プレート等) ・ものづくり学習の反省・評価・発表
		(思判表力) ・より良い作業効率を考えて工夫しながら作業、実践することができる。	(思・判・表) ・より良い作業効率を考えて工夫しながら作業、実践することができる。		
		(学・人) ・作業で、自分が何ができて何ができていないかを振り返り、意欲の向上と自立に必要な基礎的・基本的姿勢と態度を身につけることができる。	(主学) ・作業で、自分が何ができて何ができていないかを振り返り、意欲の向上と自立に必要な基礎的・基本的姿勢と態度を身につけることができる。		

留意点 引継ぎ等	・ 建材屋で木材購入（各学期に1回程度）を生徒と一緒にいき、搬入搬出の仕事を経験させる。
-------------	--

令和8年度 1年 福祉 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
2/70	1年生 20名		・こころとからだの理解 (実教出版) ・介護福祉基礎 (実教出版)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技)福祉に関することについて理解するとともに、関連する技術を身につけられるようにする。 (思判表力)福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。 (学・人)職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協動的に取り組む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1学期 (20)	6	(知及技) ・社会福祉が社会で果たしている意義と役割について理解することができる。 (思判表力) ・よりよい社会福祉サービスの提供をするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人) ・社会福祉に係る事項について自ら学び、主体的かつ協動的に取り組むことができる。	(知・技) ・社会福祉が社会で果たしている意義と役割がわかる。 (思・判・表) ・よりよい社会福祉サービスの提供をするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現しようとしている。 (主学) ・社会福祉に係る事項について自ら学び、主体的かつ協動的に取り組もうとしている。	1、社会福祉の概要 (1) 社会福祉の意義と役割	・社会福祉の概念、対象者、領域を考える。 ・社会福祉の制度や社会福祉サービスに関する様々な職業、業務を行うにあたっての心構えや知識、その職業で必要とされる技術などを確認する。 ・ワークシートを使用し、本時の内容の理解を深める。
	6	(知及技) ・家事援助や介護などの業務を行うに当たっての心構えや知識、支援者自身の清潔保持について理解するとともに、関連する技術を身につけることができる。 (思判表力) ・手洗いをするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人) ・手洗いについて自ら学び、実習に主体的かつ協動的に取り組むことができる。	(知・技) ・手洗いの目的がわかる。 ・手洗いの方法を身につけている。 (思・判・表) ・手洗いをするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現しようとしている。 (主学) ・手洗いについて自ら学び、実習に主体的かつ協動的に取り組もうとしている。	2、社会福祉サービスの基礎 (1) 衛生的な手洗い	・蛍光塗料クリーム、ブラックライトを使用し、「流水だけの手洗い」と「石鹸を使用したの普通の手洗い」、「衛生的な手洗い」をした際の手の汚れの残り具合を比較し、ワークシートに記録する。
	8	(知及技) ・車いすの名称を知り、基本的な操作を身につけることができる。 (思判表力) ・車いすユーザーの心理を体感させ、あるべき支援方法、寄り添う態度について考え、表現することができる。 (学・人) ・車いすユーザーへの支援方法について自ら学び、実習に主体的かつ協動的に取り組むことができる。	(知・技) ・車いすの基本的な操作がわかる。 ・スロープ、段差、速度、グレーチングなど、状況に応じた車いす操作技術を身につける。 ・車いすの名称がわかる。 (思・判・表) ・車いすユーザーの心理を体感させ、あるべき支援方法、寄り添う態度について考え、表現しようとしている。 (主学) ・車いすユーザーへの支援方法について自ら学び、実習に主体的かつ協動的に取り組もうとしている。	3、福祉機器や用具、コンピュータ等の情報機器の取り扱い (1) 車いすの操作実習 (2) 車いすを畳んだり、広げたりなど、車いすの基本的な操作について (3) 状況に応じた車いす操作 (4) 車いすの部品の名称	・車いすを畳んだり、広げたりなど、車いすの基本的な操作を行う。 ・実習では2人1組で車いすユーザー体験、支援者の立場を体験し、状況に応じた車いす操作を行う。 ・ワークシートを使用し、車いすの名称を確認する。
2学期 (34)	14	(知及技) ・安全で安楽な支援などについて理解することができる。 (思判表力) ・福祉サービス利用者のニーズに応じ、生活支援をするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人) ・当事者理解体験を通して、感じている、見えている世界の違いを実感させ、今後の学習につなげることができる。	(知・技) ・疑似体験を通して、安全で安楽な支援がわかる。 (思・判・表) ・福祉サービス利用者のニーズに応じ、生活支援をするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現しようとしている。 (主学) ・当事者理解体験を通して、感じている、見えている世界の違いを実感させ、今後の学習につなげようとしている。	4、福祉機器や用具、コンピュータ等の情報機器の取り扱い (1) アイマスク体験 (2) ガイドヘルパー(支援者)の役割 5、介護を必要とする人の理解 (1) 介護を必要とする人の理解 (2) 高齢者疑似体験	・視覚障害、ガイドヘルパー(支援者)の役割についてプリントで学習する。 ・実習は、2人1組で行い、それぞれ視覚障がい体験、支援者の立場を体験する。 ・装具をつけて、高齢者疑似体験を行う。実習後は振り返りを行い、内容、感想をまとめる。

	<p>20</p> <p>(知及技) ・安全で安楽なベッドメイキングについて理解するとともに、関連する技術を身につけることができる。</p> <p>(思判表力) ・「寝る場所」ではなく、「生活する場所」という当事者の心情を理解し、あるべき支援方法について考え、表現することができる。 (学・人) ・ベッドメイキングについて自ら学び、実習に主体的かつ協同的に取り組むことができる。</p>	<p>(知・技) ・物品の準備、片付け方法がわかる。 ・リネン類の準備、正しいたたみ方を身につける。 ・ベッドメイキングの意義と方法を身につける。 ・ベッドメイキングの手順を学び、身につける。 (思・判・表) ・「寝る場所」ではなく、「生活する場所」という当事者の心情を理解し、あるべき支援方法について考え、表現しようとしている。 (主学) ・ベッドメイキングについて自ら学び、実習に主体的かつ協同的に取り組もうとしている。</p>	<p>6、生活支援の技術 (1) ベッドメイキング実習 (2) 物品の準備、片付け方法 (3) リネン類の準備、正しいたたみ方 (4) ベッドメイキングの意義と方法</p>	<p>・リネン類の準備、正しいたたみ方を確認する。 ・ベッドメイキングを行う。</p>
<p>3 学 期 (1 6)</p>	<p>16</p> <p>(知及技) ・安全で安楽なベッドメイキングについて理解するとともに、関連する技術を身につけることができる。</p> <p>(思判表力) ・「寝る場所」ではなく、「生活する場所」という当事者の心情を理解し、あるべき支援方法について考え、表現することができる。 (学・人) ・ベッドメイキングについて自ら学び、実習に主体的かつ協同的に取り組むことができる。</p>	<p>(知・技) ・物品の準備、片付け方法がわかる。 ・リネン類の準備、正しいたたみ方を身につける。 ・ベッドメイキングの意義と方法を身につける。 ・ベッドメイキングの手順を学び、身につける。 (思・判・表) ・「寝る場所」ではなく、「生活する場所」という当事者の心情を理解し、あるべき支援方法について考え、表現しようとしている。 (主学) ・ベッドメイキングについて自ら学び、実習に主体的かつ協同的に取り組もうとしている。</p>	<p>7、生活支援の技術 (1) ベッドメイキング実習 (2) 物品の準備、片付け方法 (3) リネン類の準備、正しいたたみ方 (4) ベッドメイキングの意義と方法</p>	<p>・リネン類の準備、正しいたたみ方を確認する。 ・ベッドメイキングを行う。</p>
<p>留意点 引継ぎ等</p>				

令和8年度 2年 福祉 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書/副教材
4/140	2年生(福祉選択者)6名		・こころとからだの理解(実教出版) ・介護福祉基礎(実教出版)

目標:(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価:(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標		(知及技) 福祉に関することについて理解するとともに、関連する技術を身につけられるようにする。 (思判表力) 福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ課題を解決する力を養う。 (学・人) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	55	(知及技) 介護の意義と役割を理解し、関連する技術を身につけることができる。 (思判表力) 自立と尊敬を意識できる気持ちを育み、ケアを必要とする人に何か必要かイメージし表現することができる。 (学・人) 人間の尊敬を支え自立支援を行うために適切な介護の実践を主体的かつ協働的に取り組むことができる。	(知・技) 介護の意義と役割を理解し、関連する技術を身につけている。 (思・判・表) 自立と尊敬を意識し、ケアを必要とする人に何か必要かイメージし、表現している。 (主学) 人間の尊敬を支え自立支援を行うために適切な介護の実践を主体的かつ協働的に取り組んでいる。	1. 介護・福祉サービスの理解 (1)介護の仕事概要について(介護の職務・基礎) 2. 高齢者理解と介護について(介護を必要とする人の理解) (1)高齢者疑似体験 (2)ベッドメイキング	・介護に関わる仕事や目的を理解する。介護には「生活支援」、「身体介護」、「相談・助言」があることをわかる。 ・サービス利用者が生活する場所によって、どのようにサービスが異なるか考える。 ・高齢者の身体的・精神的特徴を体験し理解する。また、どのような社会が高齢者にとって過しやすい環境か考える。 ・高齢者にとっての「楽しみ」や「生きがい」の大切さを理解する。
		(知及技) 安全で安楽な支援などについて理解することができる。 (思判表力) 福祉サービス利用者のニーズに応じた生活支援をするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現することができる。 (学・人) 当事者体験を通して、感じている、見えている世界の違いを実感することができる。	(知・技) 疑似体験を通して安全で安楽な支援について理解している。 (思・判・表) 福祉サービス利用者のニーズに応じた生活支援をするために必要な課題を発見し、工夫について考え、表現している。 (主学) 当事者体験を通して、感じている、見えている世界の違いを実感させ、福祉の視点で物事を見ている。	3. 介護を必要とする人の理解 (1)アイマスク体験 (2)車イス体験 (3)老々介護体験	・場面やニーズに応じた介護技術を考え、取り組む。 ・実習では2人1組で当事者役・支援者役となり、それぞれの気持ち、目線、適した支援方法を体験的、主体的に学習する。 ・車イスの安全な操作や声かけの方法を身につける。 ・高齢者の状態に応じた介護技術がわかる。 ・疑似体験を通して、介護される側(当事者)の気持ちを理解する。 ・体験を通して、感じたこと、振りかえりをまとめ互いに共有する発表の場を持つ。
2 学期	65	(知及技) ・介護の職場と仕事内容を調べ、福祉の仕事について、理解することができる。 ・ボディメカニクスの原則での介護技術を身につけることができる。 (思判断表力) ・介護職の心構えを知り、高齢者の気持ちについて考え、自立支援について意見を述べるができる。 ・プライバシーの保護の視点での介護方法について考え発表ができる。 (学・人) 介護の基本をおさえ、利用者主体の支援、福祉サービスを提供できるよう主体的、協働的に取り組むことができる。	(知及技) ・介護の職場と仕事内容を調べ、福祉の仕事について、理解することができる。 ・ボディメカニクスの原則での介護技術を身につけている。 (思判断表力) ・介護職の心構えを知り、高齢者の気持ちについて考え、自立支援について意見を述べることができる。 ・プライバシーの保護の視点での介護方法について考え発表できている。 (学・人) 介護の基本をおさえ、利用者主体の支援、福祉サービスを提供できるよう主体的に取り組んでいる。	4. 職務の理解 5. 介護における尊敬の保持・自立の支援 6. 介護の基本 7. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	・様々な福祉施設やサービス内容を調べ、介護の職種や、働く現場について学習する。 ・自己決定、信頼関係、価値観の違いについて理解する。 ・介護の心構えを知り、高齢者の気持ちについて考える。 ・自立支援、プライバシーの保護に留意しながら、介護方法を考える。 ・腰痛予防の観点から、ボディメカニクスの原則を意識して実技を行う。 ・介護保険、障害者差別解消法(改訂)について学ぶ。
		(知及技) ・介護現場での必要なコミュニケーション技術について理解し、実践することができる。 ・老化による物忘れと認知症の違いについて判断することができる。 (思判表力) ・さまざまな事例から家族への対応方法について考え、要因を発見し、解決することができる。 (学・人) ・利用者の背景や家族心理の理解に繋げることができる。	(知・技) ・介護現場での必要なコミュニケーション技術について理解し、実践している。 ・老化による物忘れと認知症の違いについて判断している。 (思・判・表) ・さまざまな事例から家族への対応方法について考え、要因を発見し、解決しようとしている。 (主学) ・利用者の背景や家族心理の理解に繋げている。	8. 介護におけるコミュニケーション技術 9. 老化の理解 10. 認知症の理解	・介護現場で必要なコミュニケーション(傾聴・非言語)について理解する。 ・チームコミュニケーション(報告・連絡・相談)の重要性を理解し、記録の共有化について今の時代の方法を考える。 ・1学期の学びに続き、高齢者の病気や脱水症状について理解する。 ・加齢による物忘れと、認知症の違いについて理解する。 ・認知症利用者の心のうちを理解し、それぞれの問題行動などから要因などを考える。 ・様々な事例から家族への対応方法を考え、家族の関わり方について理解する。
3 学期	20	(知及技) ・ノーマライゼーションの理念を説明することができる。 ・健康チェックとバイタルサインの測定について重要性を理解し身につけることができる。 (思判表力) ・高齢者の住まいの問題を発見し、解決策や必要な道具を発見し、解決することができる。 (学・人) ・高齢者の生きがいについてグループで話し合い、高齢者の立場を理解し、寄り添った支援について主体的に実践することすることができる。	(知及技) ・ノーマライゼーションの理念を説明することができる。 ・健康チェックとバイタルサインの測定について重要性を理解し身につけている。 (思判表力) ・高齢者の住まいの問題を発見し、解決策や必要な道具を発見し、解決している。 (学・人) ・高齢者の生きがいについてグループで話し合い、高齢者の立場を理解しよ、安心・安全な環境作りに取り組もうとしている。	11. 障害の理解 12. こころとからだのしくみと生活支援技術	・ノーマライゼーションの理念と、生活の質(QOL)の考え方を身近な生活と関連させながら学ぶ。 ・身体、知的、精神、発達障害それぞれの特徴を学ぶ。 ・家族の心理や、障害受容プロセスを理解する。 ・健康チェックやバイタルサインのとり方を学ぶ。 ・高齢者の生きがいを見つけることについて考え理解する。 ・高齢者の住みやすい住まいについて、福祉用具と関連させながら考える。
		留意点 引継ぎ等	介護職員初任者研修 ⇒全130時間(2年:60時間、3年生:70時間)		

令和8年度 3年 福祉 年間指導計画

単位数 /配当時数	児童生徒	担当者	教科書／副教材
4 / 140	3年生 (福祉選択者) 7名		・こころからだの理解 (実教出版) ・介護福祉基礎 (実教出版)

目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等
 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度

年間目標	<p>1. 多様な福祉領域の紹介を通し、興味関心を高め、主体的な学びの態度育成に努める。【学・人】</p> <p>2. 福祉・介護に関する知識・技術の獲得を図り、他者に伝えることができる能力育成の指導を通して、自己有用感を高めるアプローチを展開する。【知及技】【思判表力】</p> <p>3. 地域社会で持続可能な福祉社会の発展に寄与する職業人として必要な資質・能力を育成する。【学習指導要領】</p>
------	---

学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
1 学期	4~7 (52)	<p>1. 福祉に関するテーマを探究・発表し福祉の視点の理解を広げることができる。</p> <p>2. 基本的な生活支援技術のポイントを他者に伝えることができる。</p> <p>3. コミュニケーションロボットを体験し、福祉現場での活用方法を考えることができる。</p>	<p>1. 福祉に関するテーマを探究・発表し福祉視点の理解を広げることができる。</p> <p>2. 基本的な生活支援技術のポイントを他者に伝えようとしている。</p> <p>3. コミュニケーションロボットを体験し、福祉現場での活用方法を考えることができる。</p>	<p>1. 福祉探求</p> <p>2. 生活支援技術</p> <p>3. 介護ロボット</p>	<p>1. 福祉探求</p> <p>1) 福祉に関するテーマを各自で設定、探求 ○司書教諭と連携し、幅広い福祉教材を紹介してもらいそこからテーマを絞る。</p> <p>2) プレゼンテーション資料の作成、発表 ○関係サイトからの文言を、自身の言葉で伝えるためのサポートをする。</p> <p>2. 生活支援技術の実践</p> <p>1) コミュニケーション技術</p> <p>2) 環境整備</p> <p>3) 移動介助</p> <p>4) 更衣介助 ○福祉用具等を使用するため、生徒の安全管理に留意する。 ○要介護者の心身状況をイメージさせた生活支援技術の実践を図る。</p> <p>3. 介護ロボット研修</p> <p>1) 介護ロボットの基本操作体験</p> <p>2) 福祉現場での活用方法検討 ○県立総合教育センターの生徒実習要項を遵守する。</p>
2 学期	9~12 (64)	<p>4. 個別に応じた生活支援技術を実践することができる。</p> <p>5. レクリエーションプログラムを企画し、福祉現場で実践することができる。</p> <p>6. 認知症について、理解を深め発表することができる。</p> <p>7. 地域の自助活動を取材し、発表することができる。</p>	<p>4. 個別に応じた生活支援技術を実践することができる。</p> <p>5. レクリエーションプログラムを企画し、福祉現場で実践することができる。</p> <p>6. 認知症について、理解を深め発表することができる。</p> <p>7. 地域の自助活動を取材し、発表することができる。</p>	<p>4. 生活支援技術</p> <p>5. 余暇支援</p> <p>6. 認知症理解</p> <p>7. 地域理解</p>	<p>4. 個別生活支援技術の実践</p> <p>1) 食事、入浴、排泄</p> <p>2) 感染予防 ○福祉用具等を使用するため、生徒の安全管理に留意する。 ○要介護者の心身状況をイメージさせた生活支援技術の実践を図る。</p> <p>5. レクリエーション実習</p> <p>1) 企画・検討</p> <p>2) 実践 ○福祉事業所を訪問し、余暇を一緒に過ごしプログラムを検討する。 ○福祉現場でレクリエーション実習を実施する。</p> <p>6. 認知症理解</p> <p>1) 種類</p> <p>2) 症状</p> <p>3) 支援方法 ○認知症の見え方を体感し、適切な支援方法を考える。 ○認知症サポーター研修会を実施する。</p> <p>7. 地域支え合いの理解と発信</p> <p>1) 各自治会の取材</p> <p>2) 発表 ○地域の自助活動を取材し、地域住民へインタビューする。 ○内容をまとめ、発表する。</p>
3 学期	1~3 (24)	<p>8. 個別に応じた生活支援技術を実践することができる。</p> <p>9. 障害の理解を図り、ノーマライゼーションの視点を持つことができる。</p> <p>10. まとめ</p>	<p>8. 個別に応じた生活支援技術を実践することができる。</p> <p>9. 障害の理解を図り、ノーマライゼーションの視点を持つ姿勢が見られる。</p> <p>10. まとめ</p>	<p>8. 生活支援技術</p> <p>9. 障害理解</p> <p>10. まとめ</p>	<p>8. 個別生活支援技術の実践</p> <p>1) 睡眠</p> <p>2) 移乗 ○福祉用具等を使用するため、生徒の安全管理に留意する。 ○要介護者の心身状況をイメージさせた生活支援技術の実践を図る。</p> <p>9. 3障害の理解</p> <p>1) 身体</p> <p>2) 知的</p> <p>3) 精神</p> <p>4) 障害に応じたコミュニケーション方法 ①手話 ②点字 ○3障害の理解を図る際、生徒自身の状況へ配慮した授業展開に留意する。 ○点字、手話の講座を実施する。</p> <p>10. 「できるようになったこと」「社会での活かし方」のまとめ・発表 ○職業人を目指した学びのまとめを行い、持続可能な社会を「支える側」の視点を持ってもらう。</p>
留意点 引継ぎ等					

令和8年度 1年 道徳 年間指導計画

【指導の重点】集団の一員としての自覚を持ち、思いやりの心を育てる。 【重要内容項目】向上心・個性の伸長(A) 思いやり、感謝(B) よりよい学校生活、集団生活の充実(C)、※健全な異性観					
月	(主題)主として自分自身に関すること	ねらい	展開の大意	留意点	
年間を通して実施する	自主、自律、自由と責任	自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。	周囲や相手の状況を踏まえて行動することの難しさやよさについて、自律的に判断し、責任のある行動をする態度を養う。	① やって良い事、いけない事について考える。 ② 自由と責任について考える。	第2節 道徳科の目標 (「第3章 特別の教科 道徳」の「第1 目標」) 第1章総則の第1の2に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 ※学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の目標と同様に、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。 ※考える道徳、議論する道徳、解決的な学習や体験的な学習など多様な指導方法を活用し、発問を工夫しながら、生徒が毎時間の「テーマ」を自分のこととして考え、自分の生き方の手掛かりとして理解を深めていけるようにする。 ※多様な価値観の、時に対立がある場合を含めて、誠実にそれらの価値に向き合い、道徳としての問題を考え続ける姿勢を育みたい。 ※全学年共通した重要内容項目として「健全な異性観」を置き、計画的に性教育に取り組み。 ワークシート、ロールプレイ、妊婦体験などを取り入れる。
	節度、節制	望ましい生活習慣を身につけ、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け、安全で調和のある生活をする。	社会でまきりを守ることに意義やよさについて自分との関わりで理解し、公共物や公共の場を大切にしようとする実践意欲を高める。	① 物や金銭の使い方について考える。 ② 将来の生活について考える。	
	向上心、個性の伸長	自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。	自分の特徴を多面的・多角的に捉え、長所を伸ばすと共に、短所も自分の特徴の一側面であることに気づき、改善していく努力を重ねながら個性を伸ばそうとする心情を育てる。	① 自分の長所や短所について知る。 ② お互いの長所について話し合う。	
	希望と勇気 努力と強い意志	より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇気を持ち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げること。	自分の目標に向かって努力を続けることの大切さに気づき粘り強くやり抜こうとする心情を育てる。	① 夢を実現した人の生き方に学ぶ。 ② 諦めない強い意志、粘り強い態度について考える。	
	真理の探究、創造	真実を大切に、真理を追究して新しいものを生み出そうと努めること。	好きなことや興味のあることを追究し、真理を求めようとする心情を高める。	① 目標が達成できた経験を話し合う。 ② 自分の理想を求め、実現できる手だてを考える。	
	(主題)「主として人との関わりに関すること」				
	思いやり、感謝	思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深めること。	相手の立場に立ち、誰に対しても思いやりの心をもって接していこうとする心情を育てる。 日々の生活が多々の人々の支えによって成り立っていることに感謝し、それに応えようとする意欲を高める。	① 自分自身のこれまでの経験を語り合う。 ② ソーシャルスキルのワークなどを用いて、場面に合わせた気持ちや行動について考える。	
	礼儀	礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること。	周りの人々を思いやり、深く考えて場をわきまえた行動を取ろうとする態度を養う。	① 挨拶は私たちの生活の中でどんな意義を持つか話し合う。	
	友情、信頼	友情の大切さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていくこと。	相手の身になって考え、信頼関係を築き、困っている時にはお互い助け合おうとする心情を育てる。	① 友達と自分の関わりについて考える。	
	相互理解、寛容	自分の考えや意見を相手に伝えるとき、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていくこと。	年齢や性別、国籍などに関係なく、相手の立場や意見を尊重することの大切さを理解し、つねに相手の立場に立って考え、親切に行動しようとする態度を養う。	① 失敗や過ちを犯したあとの望ましい態度について話し合う。	
	(主題)「主として集団や社会との関わりに関すること」				
	遵法精神、公徳心	法やまじりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切に、義務を果たして、規律ある安定した社会の現実に努めること。	自分がかつ権利の行使について考えを深めて、よりよい社会生活のために大切なことを守ろうとする態度を養う。	① 社会の秩序と規律を高めていくためには、社会の一員としての義務を果たすことの大切さに気づき考えを深める。	
	公正、公平、社会正義	正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努めること。	差別をすることや偏見をもつことが間違っていることについて改めて理解し、誰に対しても公正、公平な態度で接しようとする態度を養う。	① 差別やいじめについて考え、話し合う。	
	社会参画、公共の精神	社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。	社会の一員であるという自覚を持ち、理想的な社会の在り方について考え、よりよい社会の実現に尽くそうとする気持ちを育てる。	① 良い集団、よりよいクラスづくりについて話し合う。 ② ボランティアや社会貢献について考える。	
	勤労	勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通して社会に貢献すること。	働くとは、いつでも自分の役割を自覚し、主体的に責任を果たそうとすることだと気づき、公共のために役立つことをしようとする心情を育てる。	① 勤労生産学習で社会のしくみや勤労について考える。	
	家族愛、家庭生活の充実	父母、祖父母を敬愛し、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くこと。	家族の中で自分の役割や家族を支えることについて考え、家族の一員として思いやり助け合って、進んで家族の役に立とうとする心情を育てる。	① 家族について考える。※指導に当たっては多様な家族構成、家庭状況があることに留意する。 ② 自分自身について見つめる。	
郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	郷土の伝統と文化を大切に、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努めること。	日本に伝わる伝統や文化、それを守ろうとする人の生き方を通して、我が国や郷土の伝統や文化を受け継ぎ、大切にしようとする心情を育てる。	① 郷土の先人について調べる。 ② 彼らの業績から学んだことを発表する。		
国際理解、国際親善	世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与すること。	外国の人々との間にある言語や文化、考え方のちがいについて考え、外国の人々や文化を尊重する心をもち、世界の人々と理解し合おうとする心情を育てる。	① 諸外国の歴史・文化を知り生活や習慣の違いについて考える。		
(主題)主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること					
生命の尊さ	生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重すること。	自分の命がかくさんの支えの中であることを知り、命ある全てのものを大切にしようとする心情を育てる。	① 人命の尊さと戦争の社会悪について理解を深め、平和の尊さについて話し合う。		
自然愛護	自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然の愛護に努めること。	自然や動植物を愛し、自然環境を大切にしようとする心情を育てる。	① 日本や世界の自然環境について考える。 ② 過去から未来へ向けて私たちができることを考える。		
感動、畏敬の念	美しいものや気高いものに感動する心をもち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深めること。	自然の中にある美しいものや不思議なものに感動する心に気づき、今後の生活の中で、それらを大切にしようとする心情を育てる。	① 人間生活と自然との調和、共存について話し合う。 ② 先人たちの生き方、考え方に学ぶ。		
よりよく生きる喜び	人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見いだすこと。	弱さを乗り越えようとする心の存在に気づき、人間としての誇りをもって、よりよく生きようとする態度を育てる。	① 自分の気持ちを見つめる。 ② 人間らしさについて考え自分の生き方につなげる。		

令和8年度 2年 道徳 年間指導計画

【指導の重点】自律の精神を重んじ、自主的に考え判断する態度を育てる。

【重要内容項目】自主・自律、自由と責任(A)相互理解、寛容(B)違法精神、公德心(C)、※健全な異性観

月	(主題)主として自分自身に関すること	ねらい	展開の概要	留意点			
年間を通して実施する	自主、自律、自由と責任	自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。	周囲や相手の状況を踏まえて行動することの難しさやよさについて、自律的に判断し、責任のある行動をする態度を養う。	①やって良い事、いけない事について考える。 ②自由と責任について考える。	第2節 道徳科の目標 (「第3章 特別の教科 道徳」の「第1 目標」) 第1章総則の第1の2に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 ※学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の目標と同様に、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。 ※考える道徳、議論する道徳、解決的な学習や体験的な学習など多様な指導方法を活用し、発問を工夫しながら、生徒が毎時間の「テーマ」を自分のこととして考え、自分の生き方の手掛かりとして理解を深めていくようにする。 ※多様な価値観の、時に対立がある場合を含めて、誠実にそれらの価値に向き合い、道徳としての問題を考え続ける姿勢を育みたい。 ※全学年共通した重要内容項目として「健全な異性観」を置き、計画的に性教育に取り組み。 ワークシート、ロールプレイ、妊婦体験などを取り入れる。		
	節度、節制	望ましい生活習慣を身につけ、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け、安全で調和のある生活をする。	社会でまきりを守ることの意義やよさについて自分との関わりで理解し、公共物や公共の場を大切にしようとする実践意欲を高める。	①物や金銭の使い方について考える。 ②将来の生活について考える。			
	向上心、個性の伸長	自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。	自分の特徴を多面的・多角的に捉え、長所を伸ばすと共に、短所も自分の特徴の一面であることに気付き、改善していく努力を重ねながら個性を伸ばそうとする意欲を育てる。	①自分の長所や短所について知る。 ②お互いの長所について話し合う。			
	希望と勇氣、努力と強い意志	より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇氣をもち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げる。	自分の目標に向かって努力を続けることの大切さに気付き粘り強くやり抜こうとする意欲を育てる。	①夢を実現した人の生き方に学ぶ。 ②諦めない強い意志、粘り強い態度について考える。			
	真理の探究、創造	真実を大切にし、真理を追究して新しいものを生み出そうと努める。	好きなことや興味のあることを追究し、真理を求めようとする意欲を高める。	①目標が達成できた経験を話し合う。 ②自分の理想を求め、実現できる手だてを考える。			
	(主題)「主として人との関わりに関すること」						
	思いやり、感謝	思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに応え、人間愛の精神を深める。	相手の立場に立ち、誰に対しても思いやりの心をもって接していこうとする意欲を育てる。 日々の生活が多くの人の支えによって成り立っていることに感謝し、それに応えようとする意欲を高める。	①自分自身のこれまでの経験を語り合う。 ②ソーシャルスキルのワークなどを用いて、場面に合わせた気持ちや行動について考える。		※挨拶は私たちの生活の中でどんな意義を持つか話し合う。	
	礼儀	礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること。	周りの人々を思いやり、深く考えて場をわきまえた行動を取ろうとする態度を養う。	①友達と自分の関わりについて考える。			
	友情、信頼	友情の大切さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていく。	相手の身になって考え、信頼関係を築き、困っている時にはお互い助け合おうとする意欲を育てる。	①失敗や過ちを犯したあとの望ましい態度について話し合う。			
	相互理解、寛容	自分の考えや意見を相手に伝えるときも、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があつたことを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていく。	年齢や性別、国籍などに関係なく、相手の立場や意見を尊重することの大切さを理解し、つねに相手の立場に立って考え、親切に行動しようとする態度を養う。	①差別やいじめについて考え、話し合う。			
	(主題)「主として集団や社会との関わりに関すること」						
	違法精神、公德心	法やまきりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切に、義務を果たして、規律ある安定した社会の現実に努める。	自分も権利の行使について考えを深めて、よりよい社会生活のために大切なことを守ろうとする態度を養う。	①社会の秩序と規律を高めていくためには、社会の一員としての義務を果たすことの大切さに気づき考えを深める。			
公正、公平、社会正義	正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努める。	差別をすることや偏見をもつことが間違っていることについて改めて理解し、誰に対しても公正、公平な態度で接しようとする態度を養う。	①良い集団、よりよいクラスづくりについて話し合う。 ②ボランティアや社会貢献について考える。				
社会参画、公共の精神	社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努める。	社会の一員であるという自覚を持ち、理想的な社会の在り方について考え、よりよい社会の実現に尽くそうとする気持ちを育てる。	①勤労生産学習で社会のしくみや勤労について考える。				
勤労	勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通して社会に貢献すること。	働くとは、いつでも自分の役割を自覚し、主体的に責任を果たそうとすることだと気付き、公共のために役立つことをしようとする意欲を育てる。					
家族愛、家庭生活の充実	父母、祖父母を敬愛し、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くこと。	家族の中で自分の役割や家族を支えることについて考え、家族の一員として思いやり助け合って、進んで家族の役に立とうとする意欲を育てる。	①家族について考える。※指導に当たっては多様な家族構成、家庭状況があることに留意する。 ②自分自身について見つめる。				
郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	郷土の伝統と文化を大切に、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努める。	日本に伝わる伝統や文化、それを守ろうとする人の生き方を通して、我が国や郷土の伝統や文化を受け継ぎ、大切にしようとする意欲を育てる。	①郷土の先人について調べる。 ②彼らの業績から学んだことを発表する。				
国際理解、国際観	世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与すること。	外国の人々との間にある言語や文化、考え方のちがいでいについて考え、外国の人々や文化を尊重する心をもち、世界の人々と理解し合おうとする意欲を育てる。	①諸外国の歴史・文化を知り生活や習慣の違いについて考える。				
(主題)主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること							
生命の尊さ	生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重すること。	自分の命がたくさんの支えの中であることを知り、命ある全てを大切にしようとする意欲を育てる。	①人命の尊さと戦争の社会悪について理解を深め、平和の尊さについて話し合う。				
自然愛護	自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然の愛護に努める。	自然や動植物を愛し、自然環境を大切にしようとする意欲を育てる。	①日本や世界の自然環境について考える。 ②過去から未来へ向けて私たちができることを考える。				
感動、畏敬の念	美しいものや気高いものに感動する心をもち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深める。	自然の中にある美しいものや不思議なものに感動する心に気付き、今後の生活の中で、それらを大切にしようとする意欲を育てる。	①人間生活と自然との調和、共存について話し合う。 ②先人たちの生き方、考え方に学ぶ。				
よりよく生きる喜び	人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見いだす。	弱さ乗り越えようとする心の存在に気付き、人間としての誇りをもって、よりよく生きようとする態度を育てる。	①自分の気持ちを見つめる。 ②人間らしさについて考え自分の生き方につなげる。				

令和8年度 3年 道徳 年間指導計画

【指導の重点】法やきまりの意義を理解し時と場に応じた適切な言動、態度を育てる。

【重要内容項目】節度、節制 (A) 礼儀 (B) 社会参画、公共の精神 (C) 生命の大切さ (D)、※健全な異性観

月	(主題) 主として自分自身に関すること	ねらい	展開の概要	留意点		
年間を通して実施する	自主、自律、自由と責任	自律の精神を重んじ、自主的に考え、判断し、誠実に実行してその結果に責任をもつこと。	周囲や相手の状況を踏まえて行動することの難しきやよさについて、自律的に判断し、責任のある行動をする態度を養う。	①やって良い事、いけない事について考える。 ②自由と責任について考える。	第2節 道徳科の目標 （「第3章 特別の教科 道徳」の「第1目標」） 第1章総則の第1の2に示す道徳教育の目標に基づき、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 ※学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の目標と同様に、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。 ※考える道徳、議論する道徳、解決的な学習や体験的な学習など多様な指導方法を活用し、発問を工夫しながら、生徒が毎時間の「テーマ」を自分のこととして考え、自分の生き方の手掛かりとして理解を深めていけるようにする。 ※多様な価値観の、時に対立がある場合を含めて、誠実にそれらの価値に向き合い、道徳としての問題を考え続ける姿勢を育みたい。 ※全学年共通した重要内容項目として「健全な異性観」を置き、計画的に性教育に取り組む。 ワークシート、ロールプレイ、妊婦体験などを取り入れる。	
	節度、節制	望ましい生活習慣を身につけ、心身の健康の増進を図り、節度を守り節制に心掛け、安全で調和のある生活をする。	社会できまりを守ることの意義やよさについて自分との関わりで理解し、公共物や公共の場を大切にしようとする実践意欲を高める。	①物や金銭の使い方について考える。 ②将来の生活について考える。		
	向上心、個性の伸長	自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求すること。	自分の特徴を多面的・多角的に捉え、長所を伸ばすと共に、短所も自分の特徴の一面であることを気付き、改善していく努力を重ねながら個性を伸ばそうとする心情を育てる。	①自分の長所や短所について知る。 ②お互いの長所について話し合う。		
	希望と勇氣 努力と強い意志	より高い目標を設定し、その達成を目指し、希望と勇氣をもち、困難や失敗を乗り越えて着実にやり遂げる。	自分の目標に向かって努力を続けることの大切さに気付き粘り強くやり抜こうとする心情を育てる。	①夢を実現した人の生き方に学ぶ。 ②諦めない強い意志、粘り強い態度について考える。		
	真理の探究、創造	真実を大切にし、真理を追究して新しいものを生み出そうと努める。	好きなことや興味のあることを追究し、真理を求めようとする心情を高める。	①目標が達成できた経験を話し合う。 ②自分の理想を求め、実現できる手立てを考える。		
	(主題) 「主として人との関わりに関すること」					
	思いやり、感謝	思いやりの心をもって人と接するとともに、家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や現在の自分があることに感謝し、進んでそれに答え、人間愛の精神を深める。	相手の立場に立ち、誰に対しても思いやりの心をもって接していこうとする心情を育てる。 日々の生活が多くの人々の支えによって成り立っていることに感謝し、それ	①自分自身のこれまでの経験を語り合う。 ②ソーシャルスキルのワークなどを用いて、場面に合わせた気持ちや行動について考える。		①挨拶は私たちの生活の中でどんな意義を持つか話し合う。
	礼儀	礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること。	周りの人々を思いやり、深く考えて場をわきまえた行動を取ろうとする態度を養う。	①友達と自分の関わりについて考える。		
	友情、信頼	友情の大切さを理解して心から信頼できる友達をもち、互いに励まし合い、高め合うとともに、異性についての理解を深め、悩みや葛藤も経験しながら人間関係を深めていく。	相手の身になって考え、信頼関係を築き、困っている時にはお互い助け合おうとする心情を育てる。	①失敗や過ちを犯したあとの望ましい態度について話し合う。		
	相互理解、寛容	自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、それぞれの個性や立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解し、寛容の心をもって謙虚に他に学び、自らを高めていく。	年齢や性別、国籍などに関係なく、相手の立場や意見を尊重することの大切さを理解し、つねに相手の立場に立って考え、親切に行動しようとする態度を養う。	①社会の秩序と規律を高めていくためには、社会の一員としての義務を果たすことの大切さに気づき考えを深める。		
	(主題) 「主として集団や社会との関わりに関すること」					
	遵法精神、公徳心	法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切にし、義務を果たして、規律ある安定した社会の現実	自分もつ権利の行使について考えを深めて、よりよい社会生活のために大切なことを守ろうとする態度を養う。	①差別やいじめについて考え、話し合う。		
	公正、公平、社会正義	正義と公正さを重んじ、誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会の実現に努める。	差別をすることや偏見をもつことが間違っていることについて改めて理解し、誰に対しても公正、公平な態度で接しようとする態度を養う。	①良い集団、よりよいクラスづくりについて話し合う。 ②ボランティアや社会貢献について考える。		
	社会参画、公共の精神	社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努める。	社会の一員であるという自覚を持ち、理想的な社会の在り方について考え、よりよい社会の実現に尽くそうとする気持ちを育てる。	①勤労生産学習で社会のしくみや勤労について考える。		
勤労	勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深め、勤労を通して社会に貢献すること。	働くとは、いつでも自分の役割を自覚し、主体的に責任を果たそうとすることだと気付き、公共のために役立つことをしようとする心情を育てる。	①家族について考える。※指導に当たっては多様な家族構成、家庭状況があることに留意する。 ②自分自身について見つめる。			
家族愛、 家庭生活の充実	父母、祖父母を敬愛し、家族の一員としての自覚をもって充実した家庭生活を築くこと。	家族の中で自分の役割や家族を支えることについて考え、家族の一員として思いやり助け合って、進んで家族の役に立とうとする心情を育てる。	①郷土の先人について調べる。 ②彼らの業績から学んだことを発表する。			
郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	郷土の伝統と文化を大切にし、社会に尽くした先人や高齢者に尊敬の念を深め、地域社会の一員としての自覚をもって郷土を愛し、進んで郷土の発展に努める。	日本に伝わる伝統や文化、それを守ろうとする人の生き方を通して、我が国や郷土の伝統や文化を受け継ぎ、大切にしようとする心情を育てる。	①諸外国の歴史・文化を知り生活や習慣の違いについて考える。			
国際理解、国際親善	世界の中の日本人としての自覚をもち、他国を尊重し、国際的視野に立って、世界の平和と人類の発展に寄与すること。	外国の人々との間にある言語や文化、考え方のちがいについて考え、外国の人々や文化を尊重する心をもち、世界の人々と理解し合おうとする心情を育てる。	①人命の尊さと戦争の社会悪について理解を深め、平和の尊さについて話し合う。			
(主題) 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること						
生命の尊さ	生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重すること。	自分の命がたくさんの支えの中であることを知り、命ある全てのものを大切にしようとする心情を育てる。	①日本や世界の自然環境について考える。 ②過去から未来へ向けて私たちができることを考える。			
自然愛護	自然の崇高さを知り、自然環境を大切にすることの意義を理解し、進んで自然の愛護に努める。	自然や動植物を愛し、自然環境を大切にしようとする心情を育てる。	①人間生活と自然との調和、共存について話し合う。 ②先人たちの生き方、考え方に学ぶ。			
感動、畏敬の念	美しいものや気高いものに感動する心をもち、人間の力を超えたものに対する畏敬の念を深める。	自然の中にある美しいものや不思議なものに感動する心に気付き、今後の生活の中で、それらを大切にしようとする心情を育てる。	①自分の気持ちを見つめる。 ②人間らしさについて考え自分の生き方につなげる。			
よりよく生きる喜び	人間には自らの弱さや醜さを克服する強さや気高く生きようとする心があることを理解し、人間として生きることの喜びを見いだすこと。	弱さを乗り越えようとする心の存在に気付き、人間としての誇りをもって、よりよく生きようとする態度を育てる。				

令和8年度 道徳教育全体計画

陽明高等支援学校

<p>関係法令等</p> <p>日本国憲法 教育基本法 学校教育法 学習指導要領 沖縄県教育振興基本計画</p>	<p>学校教育目標</p> <p>校訓 「自主・創造・敬愛・剛健」</p> <p>教育目標(総合産業科)</p> <p>生徒一人一人の個性を大切にし、社会のニーズに対応した専門教科を中心とした教育を行い、人格の形成と社会的・職業的自立に必要な専門的な知識・技能・態度を養う。また、規範意識を身につけ、自ら考えて行動することができると共に、自他の生命と人権、多様性を尊重できる心豊かな人材を育成する。</p>	<p>生徒の実態</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明るく素直である。 ・協調性があり、学校行事等、協力して取り組むことができる。 ・友達や異性との関わりや距離感などに課題がある生徒がいる。 	
<p>道徳教育の推進体制</p> <p>道徳教育推進教師を中心として、全職員が参画する校内推進体制を充実させる。 ※全体計画、年間指導計画の運用・見直し・再編を行う。</p> <p>担任との情報交換会を設定し、道徳の時間の指導法の研究、教材研究について考える。</p>	<p>めざす生徒像(総合産業科)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康で明るくたくましく心豊かな生徒 2. 強い心を持ち最後までやり抜く生徒 3. 自分で考えて行動できる生徒 4. 地域社会の一員としての役割を意識し社会に貢献できる生徒 	<p>保護者の願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達と仲良く協力して、学校生活を楽しんでほしい。 ・規則正しい生活が送れるようになってほしい。 ・将来に役立つ力を育ててほしい。 ・社会に貢献できる人になってほしい。 	
	<p>道徳教育重点目標</p> <p>学習活動や体験活動を通じて、自分自身の在り方生き方について考え、将来にわたって主体的に生きる態度や他者の立場を尊重し、思いやりの心と協調性の精神、規範意識を高め、社会に貢献する意欲的な態度を育てる。</p> <p>①望ましい集団生活の構築 ②規範意識の育成 ③安全についての意識向上 ④適切な職業観の育成</p>		
	<p>各学年の重点目標</p> <p>[1年] 集団の一員としての自覚を持ち、思いやりの心を育てる。 重要内容項目: 向上心・個性の伸長(A) 思いやり、感謝(B) よりよい学校生活、集団生活の充実(C)、健全な異性観</p> <p>[2年] 自律の精神を重んじ、自主的に考え判断する態度を育てる。 重要内容項目: 自主・自律、自由と責任(A) 相互理解、寛容(B) 遵法精神、公德心(C)、健全な異性観</p> <p>[3年] 法やきまりの意義を理解し時と場に応じた適切な言動、態度を育てる。 重要内容項目: 節度、節制(A) 礼儀(B) 社会参画、公共の精神(C) 生命の大切さ(D) 健全な異性観</p>		
<p>各教科</p> <p>各教科の目標達成に努める中で、道徳的実践力の指導に留意する。 各教科ごとに道徳教育に関する目標を明確にし、豊かな心の教育に努める。</p> <p>進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の特性や将来の生き方を考え、自分にふさわしい進路を選択するとともに、その実現に向けて努力する態度を育てる。 ・職業、就業体験、職業に関する科目の実践を通して、適切な職業観の育成を図る。 	<p>特別活動</p> <p>様々な学校行事、HR活動、生徒会活動を通して他者との関わり合いを学び、自己のよきや可能性を大切に集団行動を行おうとする態度を育てる。</p> <p>生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活において、物事を多面的・多角的に考え、自らの判断により適切な行動を選択し、実践するなど、道徳教育の指導内容が生徒の日常生活に生かされるようにする。 ・学校生活の決まりを守り、正しい生活習慣を身につけ規範意識の育成を図る。 ・安全教育を通して安全についての意識の育成を図る。 ※年2回考える避難訓練の実施 ・いじめの防止や安全の確保といった課題について、道徳教育の特質を生かし、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことで、生徒がそれらの課題に主体的に関わることができるようにする。 ※薬物乱用防止教室 ※スマホ安全教室 	<p>総合的な探究の時間</p> <p>体験的な活動などを通して自信をつけ、自己を肯定的にとらえる感情を高める。問題を主体的に解決する力、情報収集や発表する力を育成する。 ※就業体験</p> <p>特色ある取り組み・豊かな体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「職業」の時間の設定 ・職業科目の充実 ・体育における合同授業 ・職業に関する専門教科の学習や職業(進路活動、清掃活動)、全体清掃等を通して環境美化に努める態度を育成し、緑と花にあふれた潤いのある学校づくりを進める。 	<p>自立活動</p> <p>1, 2年生は8:45~9:00(15分)の自立活動を毎日実施。3年生は週に1h、道徳(0, 5)/自活(0, 5)で実施する。 個別の指導計画を作成し、個々の課題克服に向けた内容を行う。 生徒が教師とコミュニケーションを図りながら自らの課題を確認し活動内容を決めて主体的に取り組んでいけるようにする。</p> <p>家庭・地域等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人々との交流や地域行事への参加を通して、社会の一員としての自覚と郷土の良さへの気づきを促す。 ・三者面談や諸行事などを通して保護者との信頼関係を築く。 ・併設校との交流及び共同学習の推進を図る。 ・生徒の個々の問題については、生徒サポート部(教育相談)を中心に、関係機関とケース会議を持ち、支援の在り方を検討する。

令和8年度 全学年「総合的な探究の時間」年間指導計画

配当時数	対象生徒	担当者	教科書/副教材		
35	全学年 生徒60名		就業体験のしおり・就業体験日誌		
年間目標	<p>探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。</p> <p>(2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。</p> <p>(3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。</p>				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価基準	単元・題材名	単元・題材の活動内容
年間を通して指導		<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間の学習内容を大まかに理解し見直しをもつことができる。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 進路決定までの流れをイメージすることができる。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> 就業体験の学習に関心をもち、主体的に学習に取り組むことができる。 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 年間の学習内容を理解している。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 予定表から進路決定までの流れをイメージしている。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> 進路の学習内容について関心をもち、必要な場面で発言している。 	「就業体験に向けて」	<ul style="list-style-type: none"> 就業体験(校内実習)の年間計画を確認する。 進路決定までの流れについて知る。
		<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習を通して、職業生活に必要な知識や態度、技能を理解することができる。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 実習を通して、自己の適性を理解し、将来の職業生活を見据え、生活する力、働く力を自己評価することができる。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習を通して、勤労意欲を高めながら、卒業後の進路について考えることができる。 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 実習先での学習に必要な態度や礼儀、マナーについて知っている。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 就業体験の実習日誌に目標や成果また課題等を記述し、評価表をもとに、働く力、生活する力を評価し、自分の長所と短所を理解している。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標を達成しようという意欲を高め、今後の課題について考えながら就業体験の振り返りを行っている。 	「事前学習・事後学習」	<ul style="list-style-type: none"> 就業体験に必要な態度や礼儀、マナーについて知る。 実習の目的、日程、持ち物、作業内容等について知る。 振り返りや反省を踏まえ、これからの学校生活や将来に向けた目標を立てる。
		<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業後の職業生活に必要な知識や態度、技能を理解することができる。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 実習を通して、自己の適性を理解することができる。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> 働くことを通して、就労意欲を高めながら、卒業後の進路について考えることができる。 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 実習で学んだ技術、態度について考えている。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 実習での成果、課題について考えている。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> 就業体験を振り返り、今後の学校生活で取り組むべき事について考えている。 	「就業体験(校内実習)」	<ul style="list-style-type: none"> 実習のできたこと、できなかったことを振り返る。 次の実習の目標を立てる。
		<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 進路講話を聞くことで、働くために必要な力や態度について知ることができる。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 将来の職業生活を見据え、必要な課題を設定することができる。 <p>(学・人)</p> <ul style="list-style-type: none"> 進路講話を通して、今後に向けた目標を設定することができる。 	<p>(知・技)</p> <ul style="list-style-type: none"> 講話の内容から、働くために必要な力を理解している。 <p>(思・判・表)</p> <ul style="list-style-type: none"> 講話の内容で自分に必要なこと、課題に気付きメモしている。 <p>(主学)</p> <ul style="list-style-type: none"> 講話を振り返り、自分の生活に必要な力と今後の目標について考えている。 	「進路講話」	<ul style="list-style-type: none"> 講話を聞く態度を知る。 講師の方に聞きたい質問事項を考える。 講師の方に実際に質問をする。 講話を通して、感想をまとめ、今後の生活に生かせるように目標を立てる。
	留意点	引き継ぎ等			

令和8年度 1年 特別活動 年間指導計画				
		生徒	担当者	教科書／副教材
1 / 35		1年 20名		タブレット等
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度				
年間目標 (知及技)多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けることができる。 (思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 (学・人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとすることができる。				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材の活動内容
1学期	12	(ホームルーム活動(1)イ) ・ホームルーム生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践する。 (ホームルーム活動(2)ア) ・自他の個性を理解して尊重し、互いのよさや可能性を發揮し、コミュニケーションを図りながらよりよい集団生活をつくることことができる。 (ホームルーム活動(3)ア) ・現在及び将来の生活や学習と自己実現とのつながりを考えたり、社会的・職業的自立の意義を意識したりしながら、学習の見直しを立て、振り返ることができる。 (ホームルーム活動(3)ウ) ・社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動することができる。 (生徒会活動(2)学校行事への協力) ・多様な他者と協力して、学校行事に協力する活動に取り組むことを通して、学校生活の充実と向上を図ろうとすることができる。 (学校行事(3)) ・心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等の非常時から身を守ることの意義を理解し、必要な行動の仕方などを身に付ける。	(ホームルーム活動(1)イ) ・ホームルーム生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践しようとしている。 (ホームルーム活動(2)ア) ・自他の個性を理解して尊重することの意義や、コミュニケーションを図りながらよりよい集団生活をつくる上で必要となることについて理解している。 (ホームルーム活動(3)ア) ・現在及び将来の生活や学習と自己実現とのつながりを考えたり、社会的・職業的自立の意義を意識したりしながら、学習の見直しを立て、振り返り、実践している。 (ホームルーム活動(3)ウ) ・社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動しようとしている。 (生徒会活動(2)) ・多様な他者と協力して、学校行事に協力する活動に取り組むことを通して、学校生活の充実と向上を図ろうとしている。 (学校行事(3)) ・心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動するための知識や技能が身に付いている。	・学級開き ・1学期の目標と計画 ・新入生歓迎体育祭 ・新入生研修会 ・新入生オリエンテーション ・距離感について ・高校総体選手激励式 ・心身の健康と安全 ・働くことは ・慰霊の日について ・スマホ・SNSの利用について ・1学期の反省と夏休みの過ごし方
2学期	13	(ホームルーム活動(1)ア) ・ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践することができる。 (ホームルーム活動(1)イ) ・ホームルーム生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践する。 (ホームルーム活動(2)イ) ・男女相互について理解するとともに、共に協力し尊重し合い、充実した生活づくりに参画することができる。 (ホームルーム活動(2)オ) ・節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動することができる。 (ホームルーム活動(3)ウ) ・社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動することができる。 (生徒会活動(2)学校行事への協力) ・多様な他者と協力して、学校行事に協力する活動に取り組むことを通して、学校生活の充実と向上を図ろうとすることができる。 (学校行事(3)) ・自己の生活を振り返り、健康、安全、防災、運動や体力の向上に関する課題と解決策について考え、他者と協力して、適切に判断し行動することができる。 (学校行事(4)) ・平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができる。	(ホームルーム活動(1)ア) ・ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践しようとしている。 (ホームルーム活動(1)イ) ・ホームルーム生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践しようとしている。 (ホームルーム活動(2)イ) ・男女における身体的・精神的の違いの理解や、異性と人間関係を築くことに当たってのルールやマナーについて必要なことを理解している。 (ホームルーム活動(2)オ) ・節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動しようとしている。 (ホームルーム活動(3)ウ) ・社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動しようとしている。 (生徒会活動(2)) ・多様な他者と協力して、学校行事に協力する活動に取り組むことを通して、学校生活の充実と向上を図ろうとしている。 (学校行事(3)) ・自己の生活を振り返り、健康、安全、防災、運動や体力の向上に関する課題と解決策について考え、他者と協力して、適切に判断し行動しようとしている。 (学校行事(4)) ・豊かな自然や文化・社会に親しむことの意義を理解するとともに、校外における集団生活の在り方や社会生活上のルール、公衆道徳などについて理解し、必要な行動の仕方を身に付けている。	・2学期の目標と計画 ・自分の適性 ・本に親しむ ・職業と人生 ・健康的な社会生活 ・特別支援学校体育大会に向けて ・陽明祭 ・2学期の振り返りと冬休みの過ごし方
3学期	10	(ホームルーム活動(1)イ) ・ホームルーム生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践する。 (ホームルーム活動(1)ウ) ・生徒会などホームルームの枠を超えた多様な集団における活動や学校行事を通して学校生活の向上を図るため、ホームルームとしての提案や取組を話し合って決めようとしている。 (ホームルーム活動(3)ウ) ・社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動することができる。 (ホームルーム活動(3)エ) ・目標をもって在り方や生き方や進路に関する適切な情報を収集・整理し、自己の個性や興味・関心と照らして考えることができる。 (生徒会活動(2)学校行事への協力) ・多様な他者と協力して、学校行事に協力する活動に取り組むことを通して、学校生活の充実と向上を図ろうとする態度を養う。 (学校行事(1)) ・学校生活に有意義な変化や折り返しを付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開へ動機付けとなるようにする。	(ホームルーム活動(1)イ) ・ホームルーム生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践しようとしている。 (ホームルーム活動(1)ウ) ・生徒会などホームルームの枠を超えた多様な集団における活動や学校行事を通して学校生活の向上を図るため、ホームルームとしての提案や取組を話し合って決めようとしている。 (ホームルーム活動(3)ウ) ・社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動しようとしている。 (ホームルーム活動(3)エ) ・目標をもって在り方や生き方や進路に関する適切な情報を収集・整理し、自己の個性や興味・関心と照らして考えるようとしている。 (生徒会活動(2)学校行事への協力) ・多様な他者と協力して、学校行事に協力する活動に取り組むことを通して、学校生活の充実と向上を図ろうとしている。 (学校行事(1)) ・修了式や高等部卒業式の意義や、場面にふさわしい参加の仕方について理解し、厳粛な場における儀礼やマナー等の規律や気品ある行動の仕方などを身に付けようとしている。	・3学期の目標と計画 ・送別レク、予餞会 ・卒業式に向けて ・1年間の反省

令和8年度 2年 特別活動 年間指導計画

		生徒	担当者	教科書／副教材
1 / 35		2年 20名		タブレット等
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度				
年間目標 (知及技)多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けることができる。(思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。(学・人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとすることができる。				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材の活動内容
1学期	12	(ホームルーム活動(1)イ) ・ホームルーム生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践する。 (ホームルーム活動(2)ア) ・自他の個性を理解して尊重し、互いのよさや可能性を發揮し、コミュニケーションを図りながらよりよい集団生活をつくることことができる。 (ホームルーム活動(3)ア) ・現在及び将来の生活や学習と自己実現とのつながりを考えたり、社会的・職業的自立の意義を意識したりしながら、学習の見通しを立て、振り返ることが出来る。 (ホームルーム活動(3)ウ) ・社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動しようとしている。 (生徒会活動(2)学校行事への協力) ・多様な他者と協力して、学校行事に協力する活動に取り組むことを通して、学校生活の充実と向上を図ろうとすることができる。 (学校行事(3)) ・心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等の非常時から身を守ることの意義を理解し、必要な行動の仕方などを身に付ける。	(ホームルーム活動(1)イ) ・ホームルーム生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践しようとしている。 (ホームルーム活動(2)ア) ・自他の個性を理解して尊重することの意義や、コミュニケーションを図りながらよりよい集団生活をつくる上で必要となることについて理解している。 (ホームルーム活動(3)ア) ・現在及び将来の生活や学習と自己実現とのつながりを考えたり、社会的・職業的自立の意義を意識したりしながら、学習の見通しを立て、振り返り、実践している。 (ホームルーム活動(3)ウ) ・社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動しようとしている。 (生徒会活動(2)) ・多様な他者と協力して、学校行事に協力する活動に取り組むことを通して、学校生活の充実と向上を図ろうとしている。 (学校行事(3)) ・心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動するための知識や技能が身に付いている。	・始業式、1学期終業式 ・入学式後の学級活動 ・学級開き、学年開き ・自己紹介、学級目標、個人目標、各係活動決め ・身なりについて ・新入生歓迎体育祭 ・連休の過ごし方 ・就業体験に向けて ・心身の健康と安全 ・働くこととは ・慰霊の日について ・生徒総会 ・生徒会役員選挙・告示 ・1学期の反省と夏休みの過ごし方
2学期	13	(ホームルーム活動(1)ア) ・ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践することができる。 (ホームルーム活動(1)イ) ・ホームルーム生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践する。 (ホームルーム活動(2)イ) ・男女相互について理解するとともに、共に協力し尊重し合い、充実した生活づくりに参画することができる。 (ホームルーム活動(2)オ) ・節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動することができる。 (ホームルーム活動(3)ウ) ・社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動しようとしている。 (生徒会活動(2)学校行事への協力) ・多様な他者と協力して、学校行事に協力する活動に取り組むことを通して、学校生活の充実と向上を図ろうとすることができる。 (学校行事(3)) ・自己の生活を振り返り、健康、安全、防災、運動や体力の向上に関する課題と解決策について考え、他者と協力して、適切に判断し行動することができる。 (学校行事(4)) ・平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができる。	(ホームルーム活動(1)ア) ・ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践しようとしている。 (ホームルーム活動(1)イ) ・ホームルーム生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践しようとしている。 (ホームルーム活動(2)イ) ・男女における身体的・精神面の違いの理解や、異性と人間関係を築くことに当たったのルールやマナーについて必要なことを理解している。 (ホームルーム活動(2)オ) ・節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動しようとしている。 (ホームルーム活動(3)ウ) ・社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動しようとしている。 (生徒会活動(2)) ・多様な他者と協力して、学校行事に協力する活動に取り組むことを通して、学校生活の充実と向上を図ろうとしている。 (学校行事(3)) ・自己の生活を振り返り、健康、安全、防災、運動や体力の向上に関する課題と解決策について考え、他者と協力して、適切に判断し行動しようとしている。 (学校行事(4)) ・豊かな自然や文化・社会に親しむことの意義を理解するとともに、校外における集団生活の在り方や社会生活上のルール、公衆道徳などについて理解し、必要な行動の仕方を身に付けている。	・2学期の目標と計画 ・陽明祭に向けて ・本に親しむ ・職業と人生 ・自分の適性 ・修学旅行について ・特別支援学校体育大会に向けて ・2学期の振り返りと冬休みの過ごし方
3学期	10	(ホームルーム活動(1)イ) ・ホームルーム生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践する。 (ホームルーム活動(1)ウ) ・生徒会などホームルームの枠を超えた多様な集団における活動や学校行事を通して学校生活の向上を図るため、ホームルームとしての提案や取組を話し合っ決めていくことができる。 (ホームルーム活動(3)ウ) ・社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動しようとしている。 (ホームルーム活動(3)エ) ・目標をもって在り方や生き方や進路に関する適切な情報を収集・整理し、自己の個性や興味・関心と照らして考えることができる。 (生徒会活動(2)学校行事への協力) ・多様な他者と協力して、学校行事に協力する活動に取り組むことを通して、学校生活の充実と向上を図ろうとする態度を養う。 (学校行事(1)) ・学校生活に有意義な変化や折り返しを付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開へ動機付けとなるようにする。	(ホームルーム活動(1)イ) ・ホームルーム生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践しようとしている。 (ホームルーム活動(1)ウ) ・生徒会などホームルームの枠を超えた多様な集団における活動や学校行事を通して学校生活の向上を図るため、ホームルームとしての提案や取組を話し合っ決めていくことができる。 (ホームルーム活動(3)ウ) ・社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動しようとしている。 (ホームルーム活動(3)エ) ・目標をもって在り方や生き方や進路に関する適切な情報を収集・整理し、自己の個性や興味・関心と照らして考えようとしている。 (生徒会活動(2)学校行事への協力) ・多様な他者と協力して、学校行事に協力する活動に取り組むことを通して、学校生活の充実と向上を図ろうとしている。 (学校行事(1)) ・修了式や高等部卒業式の意義や、場面にふさわしい参加の仕方について理解し、厳粛な場における儀礼やマナー等の規律や気品ある行動の仕方などを身に付けようとしている。	・3学期始業式 ・送別レク、予餞会 ・進路を考える ・3年生を送る会 ・学年集会 ・1年間のまとめ、キャリアパスポート ・3年生への進級に向けて ・卒業式 ・修了式

令和8年度 3年 特別活動 年間指導計画

		生徒	担当者	教科書／副教材
1/35		3年 20名		タブレット等
目標：(知及技)知識及び技能 (思判表力)思考力、判断力、表現力等 (学・人)学びに向かう力・人間性等 評価：(知・技)知識・技能 (思・判・表)思考・判断・表現 (主学)主体的に学習に取り組む態度				
年間目標 (知及技)多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けることができる。 (思判表力)集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができる。 (学・人)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、主体的に集団や社会に参画し、生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己実現を図ろうとすることができる。				
学期	時数	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材の活動内容
1学期	12	(ホームルーム活動(1)イ) ・ホームルーム生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践する。 (ホームルーム活動(2)ア) ・自他の個性を理解して尊重し、互いのよさや可能性を発揮し、コミュニケーションを図りながらよりよい集団生活をつくることことができる。 (ホームルーム活動(3)ア) ・現在及び将来の生活や学習と自己実現とのつながりを考えたり、社会的・職業的自立の意義を意識したりしながら、学習の見通しを立て、振り返ることができる。 (ホームルーム活動(3)ウ) ・社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動することができる。 (生徒会活動(2)学校行事への協力) ・多様な他者と協力して、学校行事に協力する活動に取り組むことを通して、学校生活の充実と向上を図ろうとすることができる。 (学校行事(3)) ・心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等の非常時から身を守ることの意義を理解し、必要な行動の仕方などを身に付ける。	(ホームルーム活動(1)イ) ・ホームルーム生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践しようとしている。 (ホームルーム活動(2)ア) ・自他の個性を理解して尊重することの意義や、コミュニケーションを図りながらよりよい集団生活をつくる上で必要となることについて理解している。 (ホームルーム活動(3)ア) ・現在及び将来の生活や学習と自己実現とのつながりを考えたり、社会的・職業的自立の意義を意識したりしながら、学習の見通しを立て、振り返り、実践している。 (ホームルーム活動(3)ウ) ・社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動しようとしている。 (生徒会活動(2)) ・多様な他者と協力して、学校行事に協力する活動に取り組むことを通して、学校生活の充実と向上を図ろうとしている。 (学校行事(3)) ・心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動するための知識や技能が身に付いている。	・HR開き ・1学期の目標と計画 ・新入生歓迎会 ・連休の過ごし方 ・就業体験の心構え ・心身の健康と安全 ・慰霊の日について ・1学期の反省と夏休みの過ごし方
2学期	13	(ホームルーム活動(1)ア) ・ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践することができる。 (ホームルーム活動(1)イ) ・ホームルーム生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践する。 (ホームルーム活動(2)イ) ・男女相互について理解するとともに、共に協力し尊重し合い、充実した生活づくりに参画することができる。 (ホームルーム活動(2)オ) ・節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動することができる。 (ホームルーム活動(3)ウ) ・社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動することができる。 (生徒会活動(2)学校行事への協力) ・多様な他者と協力して、学校行事に協力する活動に取り組むことを通して、学校生活の充実と向上を図ろうとすることができる。 (学校行事(3)) ・自己の生活を振り返り、健康、安全、防災、運動や体力の向上に関する課題と解決策について考え、他者と協力して、適切に判断し行動することができる。 (学校行事(4)) ・平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができる。	(ホームルーム活動(1)ア) ・ホームルームや学校における生活を向上・充実させるための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践しようとしている。 (ホームルーム活動(1)イ) ・ホームルーム生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践しようとしている。 (ホームルーム活動(2)イ) ・男女における身体的・精神面の違いの理解や、異性と人間関係を築くことに当たってのルールやマナーについて必要なことを理解している。 (ホームルーム活動(2)オ) ・節度ある健全な生活を送るなど現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動しようとしている。 (ホームルーム活動(3)ウ) ・社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動しようとしている。 (生徒会活動(2)) ・多様な他者と協力して、学校行事に協力する活動に取り組むことを通して、学校生活の充実と向上を図ろうとしている。 (学校行事(3)) ・自己の生活を振り返り、健康、安全、防災、運動や体力の向上に関する課題と解決策について考え、他者と協力して、適切に判断し行動しようとしている。 (学校行事(4)) ・豊かな自然や文化・社会に親しむことの意義を理解するとともに、校外における集団生活の在り方や社会生活上のルール、公衆道徳などについて理解し、必要な行動の仕方を身に付けている。	・2学期の目標と計画 ・職業と人生 ・自分の適性 ・健康的な社会生活 ・特別支援学校体育大会に向けて ・陽明祭に向けて ・2学期の反省と冬休みの過ごし方
3学期	10	(ホームルーム活動(1)イ) ・ホームルーム生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践する。 (ホームルーム活動(1)ウ) ・生徒会などホームルームの枠を超えた多様な集団における活動や学校行事を通して学校生活の向上を図るため、ホームルームとしての提案や取組を話し合っ決めて決めることができる。 (ホームルーム活動(3)ウ) ・社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動することができる。 (ホームルーム活動(3)エ) ・目標をもって在り方や生き方や進路に関する適切な情報を収集・整理し、自己の個性や興味・関心と照らして考えることができる。 (生徒会活動(2)学校行事への協力) ・多様な他者と協力して、学校行事に協力する活動に取り組むことを通して、学校生活の充実と向上を図ろうとすることができる。 (学校行事(1)) ・学校生活に有意義な変化や折り返しを付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開へ動機付けとなるようにする。 (校外活動) ・プロスポーツ観戦：公共施設の利用の仕方を学ぶと共にプロスポーツにふれる機会とする。	(ホームルーム活動(1)イ) ・ホームルーム生活の充実や向上のため、生徒が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践しようとしている。 (ホームルーム活動(1)ウ) ・生徒会などホームルームの枠を超えた多様な集団における活動や学校行事を通して学校生活の向上を図るため、ホームルームとしての提案や取組を話し合っ決めて決めるようとしている。 (ホームルーム活動(3)ウ) ・社会の一員としての自覚や責任をもち、社会生活を営む上で必要なマナーやルール、働くことや社会に貢献することについて考えて行動しようとしている。 (ホームルーム活動(3)エ) ・目標をもって在り方や生き方や進路に関する適切な情報を収集・整理し、自己の個性や興味・関心と照らして考えようとしている。 (生徒会活動(2)学校行事への協力) ・多様な他者と協力して、学校行事に協力する活動に取り組むことを通して、学校生活の充実と向上を図ろうとしている。 (学校行事(1)) ・修了式や高等部卒業式の意義や、場面にふさわしい参加の仕方について理解し、厳粛な場における儀礼やマナー等の規律や気品ある行動の仕方などを身に付けようとしている。 (校外活動) 公共施設利用の仕方や観戦マナーを学習しようとしている。	・3学期の目標と計画 ・1年間の振り返り ・卒業に向けて

令和8年度 沖縄県立陽明高等支援学校 特別活動全体計画

学校の教育目標	日本国憲法、教育基本法の精神及び校訓「自主・創造・敬愛・剛健」のもと、人格の完成をめざし、総合学科と総合産業科の多種多様な実践を通して、将来、社会に貢献できる知・徳・体の調和のとれた人材を育成する。
生徒の実態	明朗で素直な生徒が多く、様々なことにチャレンジする向上心を持ち、学校行事をはじめとした集団活動に意欲的に参加することができる。
育成を目指す生徒像	生徒一人一人の個性を大切に、社会のニーズに対応した専門教科を中心とした教育を行い、人格の形成と社会的・職業的自立に必要な専門的な知識・技能・態度を養う。また、規範意識を身につけ、自ら考えて行動することができると共に、自他の生命と人権、多様性を尊重できる心豊かな人材を育成する。
育成を目指す資質・能力	○学びを人生や社会に活かそうとする学びに向かう力・人間性の涵養 ○生きて働く知識・技能の習得 ○未知の状況にも対応できる思考・判断・表現等の育成

特別活動の重点目標	特別活動は、望ましい集団生活を通して、それぞれの生徒の人格の発達と個性の伸長を図り集団の一員としてよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての生き方について自覚を深め、自己を生かす能力を養う。 ア 生徒の自発的活動を通して、自主的な生活態度や社会生活にふさわしい態度を身につける。 イ 集団生活の中で、一人一人の特色や個性を生かし、人間尊重の精神を身につける。 ウ 交流及び共同学習の機会を設け、共に尊重し合いながら協働して生活していく態度を育む。
-----------	---

学級(HR)活動	生徒会活動		学校行事	
1学年の目標・指導の方針	重点目標 生徒会活動は、自治的・実践的な集団活動を通して、協働性、責任感、規範意識を育成し、学校生活の充実と改善を図る。 これらの活動を通して身に付けた力を、将来の就労や社会生活に生かそうとする態度を養う。	重点目標	学校行事は、体験的・協働的な活動を通して、多様な他者と関わりながら集団の一員としての役割や責任を理解し、主体的に行動する力を育成する。 また、行事の準備や振り返りを通して、規範意識や協調性を高め、社会生活や将来の自立に必要な資質・能力を養う。	
【基礎・参加】 ・集団の一員としての役割や約束を理解し、他者と関わりながら活動に参加する態度を身につける。 ・話し合いの進め方や意思表示の仕方を知り、集団活動の基礎を学ぶ。				
2学年の目標・指導の方針	年間計画	備考	年間計画	備考
【主体・判断】 ・集団や自己の生活上の課題を見だし、話し合いや協働を通して解決に向けて主体的に判断・行動する力を高める。 ・他者の意見を尊重しながら、合意形成や役割遂行に取り組む態度を養う。	【1学期】 ・HR開き ・新入生歓迎球技大会 ・連休の過ごし方 ・就業体験の心構え ・生徒会役員選挙・告示 ・慰霊の日について ・1学期の反省と夏休みの過ごし方		・3大行事(体育祭・陽明祭・舞台祭)に向けて ・特別支援学校体育大会に向けて ・2学期の反省と冬休みの過ごし方 【3学期】 ・3学期の目標と計画 ・特別支援学校駅伝大会に向けて ・送別レク、予餞会 ・進級・卒業式に向けて ・1年間の反省	
3学年の目標・指導の方針	【2学期】 ・2学期の目標と計画 ・修学旅行に向けて(2年生) ・学年校外学習に向けて(1・3年生)		【儀式的行事】 ・入学式、卒業式 ・始業式、終業式、修了式、離任式	
【社会参画・自立】 ・集団活動で身に付けた力を生かし、社会の一員として責任ある行動を選択し実践しようとする態度を育てる。 ・人間としての在り方生き方を考え、自己実現や社会的自立に向けて主体的に参画する力を深める。				

各教科や総合的な探究の時間との関連
各教科及び自立活動、就業体験等と関連を図りながら、集団や社会の一員として主体的に行動する力を育成することをねらいとする。また、学級活動、生徒会活動、学校行事を通して、望ましい人間関係の形成と社会的自立に必要な資質・能力を段階的に育む。

道徳教育との関連
本校の道徳の重点目標を踏まえ、学級活動、生徒会活動、学校行事等の体験的な活動を通して、望ましい集団生活の構築や規範意識、安全意識、適切な職業観の育成を図る。 各学年の発達段階に応じ、他者を尊重し主体的に行動する態度を養い、社会に貢献しようとする実践的な力を育成する。

その他の教育活動や生徒指導などとの関連
生徒の生活実態の理解に努め、生徒の考え方や問題点及び課題を把握し、生徒との信頼関係を構築しながら指導に努める。 ①自主的・自立的な生活態度を身につける。 ②日常の基本的な生活様式を理解し、習慣化を図る。 ③人間関係の在り方、社会生活を営むための規律を理解し、健全な生活を営む態度を育てる。

家庭、地域、異校種などとの連携・協力
道徳教育や生徒指導、就業体験等の教育活動と相互に関連付け、生徒の生活実態を踏まえた指導を行うとともに、家庭との連携を図る。 また、地域や関係機関、総合学科との交流・協働を通して、社会的・職業自立的するために必要な態度を育成する。

令和8年度 1年 自立活動の時間における指導 年間指導計画

※自立活動の時間における指導計画は、個別に作成されることが基本であり、最初から集団で指導することを前提とするものではない。しかし本校の生徒の場合、2心理的な安定、3人間関係の形成、6コミュニケーションに関する項目に関して改善・克服を要する生徒が多く、その為には集団を構成して指導することが効果的だと考えられる。このことから、「生徒個々の自立活動の個別の指導計画」と合わせて、「学年(指導は学級単位)ごとの自立活動の年間指導計画」も作成し、実践・評価・改善を行う。

3年間を通しての目標 個々の児童又は生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達を基盤を培う。

年間目標
 ※全ての項目について指導を行うわけではない事に留意
 1 健康の保持(健) :日常生活を行うために必要な健康状態の維持・改善を図ることができる。
 2 心理的な安定(心) :自分の気持ちや情緒をコントロールして変化する状況に適切に対応するとともに、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服する意欲の向上を図り、自己のよさに気付くことができる。
 3 人間関係の形成(人) :自他の理解を深め、対人関係を円滑にし、集団参加の基盤を身につけることができる。
 4 環境の把握(環) :感覚を有効に活用し、空間や時間などの概念を手掛かりとして、周囲の状況を把握したり、環境と自己との関係を理解したりして、的確に判断し、行動できる。
 5 身体の動き(身) :日常生活や作業に必要な基本動作を習得し、生活の中で適切な身体の動きができる。
 6 コミュニケーション(コ) :場や相手に応じて、コミュニケーションを円滑に行うことができる。

学期	時数	単元・題材名	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材の活動内容
年間を通して行う	35	身体面 プログラム (認知作業トレーニング)	身(1)姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること 身(5)作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること 環(1)保有する感覚の活用に関すること 環(4)感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握tp状況 ・壮大運動や巧緻動作の不器用さの改善を図ることができる。 ・協調運動の向上を図り、適切な筋力調整、動作の予測ができる。	・自分の身体の動きや使い方、物をコントロールする力の調整ができる。 ・作業に必要な基本動作を習得し、その巧緻性や持続性の向上を図るとともに、作業を円滑に遂行する能力を高めることができる。	【コグトレ】 ・自分の身体トレーニング(力加減と動き) ・物と自分の身体トレーニング(物のコントロール、手指の動き) ・人の身体と自分の身体トレーニング(模倣、動作の言語化)
		学習面 プログラム (認知機能強化トレーニング)	環(5)認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること ・視覚、聴覚制の短期記憶の向上、文章理解の向上を図ることができる。 ・注意力、集中力、処理速度の向上を図ることができる。 ・視覚認知の基礎力(模写、形の把握)の向上を図ることができる。 ・視覚認知の応用力(形の恒常性)の向上を図ることができる。 ・方略、論理的思考、関係性理解、時間概念の向上を図ることができる。	・基礎学習の土台作り(記憶力、言語理解力、注意力、知覚、推論力、判断力など)に積極的に取り組む事ができる。	【コグトレ】 ・「覚える」トレーニング ・「数える」トレーニング ・「写す」トレーニング ・「見つける」トレーニング ・「想像する」トレーニング
		社会面 プログラム (認知ソーシャルトレーニング)	心(1)情緒の安定に関すること・対人関係のスキルの向上を図ることができる。 環(2)他者の意図や感情の理解に関すること 環(3)自己理解と行動の調整に関すること 環(4)集団への参加の基礎に関すること コ(5)状況に応じたコミュニケーションに関すること ・感情統制を図ることができる。 ・適切な自己評価ができる。 ・適切な対人マナーを習得し、円滑なコミュニケーションを図ることができる。	・自分で感情をコントロールし、「他者と適切な関わりを保つことができる。 ・思い付きや、思い込みで行う不適切な行動に気づき、改善することができる。 ・様々な状況での対人マナーを知り、活用することができる。	【コグトレ】 ・段階式感情トレーニング ・危険予知トレーニング ・対人マナートレーニング
		スケジュール管理 活動の振り返り	心(2)状況の理解と変化への対応に関すること ・活動の内容、順序を理解し適切な行動を取ることができる。 ・状況の変化にも落ち着き対応することができる。 環(2)自己理解と行動の調整に関すること ・自分の評価と他者の評価が同じであることや違いがあることに気付くことができる。 環(3)自己理解と行動の調整に関すること ・自分の行動を振り返り、適切な行動かを確認、調整することができる。 コ(5)状況に応じたコミュニケーションに関すること ・自分の行動、思ったことや考えたことの要点をまとめ表現することができる。 ・伝えようとする側と受け取る側との人間関係を、そのときの状況を的確に把握できる。 ・場や相手の状況に応じて、主体的にコミュニケーションを展開できる。	・活動や行動について見直し、目標を持つことができる。 ・自分の行動を振り返り、より良い行動につなげることができる。 ・自分の行動を振り返り、授業や行事でのできごとで考えたこと、思ったこと、要点を相手に伝えるように文章で表現することができる。	・年間、月、週の行事を見直し、活動の内容を確認する。(メモ帳、スケジュール帳の活用) ・1週間の振り返り(連絡帳)を行う。 ・各活動、学期の振り返り(キャリアパスポート)を行う。 ・活動の振り返りを行い、今後の行動改善につなげる。 ・タブレットで動画、写真を確認する活動を常に取り入れる。 ・生徒同士が伝え合う活動を、常に取り入れる。
		自己理解・他者理解	健(4)障害の特性の理解と生活環境の調整に関すること 心(3)障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲 人(3)自己理解と行動の調整 ・自分の障害の特性と学習や生活上における困難なこととの関連について理解し、自分の得意/苦手なことに気づくことができる。 ・自分の障害の状態を理解したり、受容したりして、障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服しようとする意欲の向上を図ることができる。	・障害により学習や生活上における困難なことがあることを理解することができる。 ・自分の得意なこと、不得意なことに気づくことができる。 ・自分自身より良い行動を選択できるために、今後やるべき事を言葉や文字で表現できる。	・障害理解に関する学習 ・「自己理解」に関する学習 ・生徒同士での話し合い活動を通し、自己理解、他者理解を促す。
		生徒個々の課題に応じた行動	生徒個々の目標	目標達成したと見なされる姿	・生徒個々に応じた活動 ・個人面談
		留意点 引継ぎ等			

※自立活動の時間における指導計画は、個別に作成されることが基本であり、最初から集団で指導することを前提とするものではない。しかし本校の生徒の場合、2心理的な安定、3人間関係の形成、6コミュニケーションに関する項目に関して改善・克服を要する生徒が多く、その為には集団を構成して指導することが効果的だと考えられる。このことから、「生徒個々の自立活動の個別の指導計画」と合わせて、「学年(指導は学級単位)ごとの自立活動の年間指導計画」も作成し、実践・評価・改善を行う。

年間を通しての目標 個々の児童又は生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達を基盤を培う。

年間目標
 ※全ての項目について指導を行うわけではない事に留意
 1 健康の保持(健) :日常生活を行うために必要な健康状態の維持・改善を図ることができる。
 2 心理的な安定(心) :自分の気持ちや情緒をコントロールして変化する状況に適切に対応するとともに、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服する意欲の向上を図り、自己のよさに気付くことができる。
 3 人間関係の形成(人) :自他の理解を深め、対人関係を円滑にし、集団参加の基盤を身につけることができる。
 4 環境の把握(環) :感覚を有効に活用し、空間や時間などの概念を手掛かりとして、周囲の状況を把握したり、環境と自己との関係を理解したりして、的確に判断し、行動できる。
 5 身体の動き(身) :日常生活や作業に必要な基本動作を習得し、生活の中で適切な身体の動きができる。
 6 コミュニケーション(コ) :場や相手に応じて、コミュニケーションを円滑に行うことができる。

学期	時数	単元・題材名	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材の活動内容	
年間を通して行う	35 【内訳】 1コマ×35週	改善プログラム	<p>身体面 プログラム (認知作業トレーニング)</p> <p>学習面 プログラム (認知機能強化トレーニング)</p> <p>社会面 プログラム (認知ソーシャルトレーニング)</p>	<p>身(1)姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること 身(5)作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること 環(1)保有する感覚の活用に関すること 環(4)感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握tp状況 ・壮大運動や巧緻動作の不器用さの改善を図ることができる。 ・協調運動の向上を図り、適切な筋力調整、動作の予測ができる。</p> <p>環(5)認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること ・視覚、聴覚制の短期記憶の向上、文章理解の向上を図ることができる。 ・注意力、集中力、処理速度の向上を図ることができる。 ・視覚認知の基礎力(模写、形の把握)の向上を図ることができる。 ・視覚認知の応用力(形の恒常性)の向上を図ることができる。 ・方略、論理的思考、関係性理解、時間概念の向上を図ることができる。</p> <p>心(1)情緒の安定に関すること・対人関係のスキルの向上を図ることができる。 環(2)他者の意図や感情の理解に関すること 環(3)自己理解と行動の調整に関すること 環(4)集団への参加の基礎に関すること コ(5)状況に応じたコミュニケーションに関すること ・感情統制を図ることができる。 ・適切な自己評価ができる。 ・適切な対人マナーを習得し、円滑なコミュニケーションを図ることができる。</p>	<p>・自分の身体の動きや使い方、物をコントロールする力の調整ができる。 ・作業に必要な基本動作を習得し、その巧緻性や持続性の向上を図るとともに、作業を円滑に遂行する能力を高めることができる。</p> <p>・基礎学習の土台作り(記憶力、言語理解力、注意力、知覚、推論力、判断力など)に積極的に取り組む事ができる。</p> <p>・自分で感情をコントロールし、「他者と適切な関わりを保つことができる。 ・思い付きや、思い込みで行う不適切な行動に気づき、改善することができる。 ・様々な状況での対人マナーを知り、活用することができる。</p>	<p>【コグトレ】 ・自分の身体トレーニング(力加減と動き) ・物と自分の身体トレーニング(物のコントロール、手指の動き) ・人の身体と自分の身体トレーニング(模倣、動作の言語化)</p> <p>【コグトレ】 ・「覚える」トレーニング ・「教える」トレーニング ・「写す」トレーニング ・「見つける」トレーニング ・「想像する」トレーニング</p> <p>【コグトレ】 ・段階式感情トレーニング ・危険予知トレーニング ・対人マナートレーニング</p>
		スケジュール管理	<p>心(2)状況の理解と変化への対応に関すること ・活動の内容、順序を理解し適切な行動を取ることができる。 ・状況の変化にも落ち着き対応することができる。 環(2)自己理解と行動の調整に関すること ・自分の評価と他者の評価が同じであることや違いがあることに気付くことができる。 環(3)自己理解と行動の調整に関すること ・自分の行動を振り返り、適切な行動かを確認、調整することができる。 コ(5)状況に応じたコミュニケーションに関すること ・自分の行動、思ったことや考えたことの要点をまとめて表現することができる。 ・伝えようとする側と受け取る側との人間関係や、そのときの状況を的確に把握できる。 ・場や相手の状況に応じて、主体的にコミュニケーションを展開できる。</p>	<p>・活動や行動について見直し、目標を持つことができる。 ・自分の行動を振り返り、より良い行動につなげることができる。 ・自分の行動を振り返り、授業や行事のできごとで考えたこと、思ったこと、要点を相手に伝えるように文章で表現することができる。</p>	<p>・年間、月、週の行事を見直し、活動の内容を確認する。(OKTメモ、スケジュール帳の活用) ・1週間の振り返り(連絡帳)を行う。 ・各活動、学期の振り返り(キャリアパスポート)を行う。 ・活動の振り返りを行い、今後の行動改善につなげる。 ・タブレットで動画、写真を確認する活動を常に取り入れる。 ・生徒同士が伝え合う活動を、常に取り入れる。</p>	
		自己理解・他者理解	<p>健(4)障害の特性の理解と生活環境の調整に関すること 心(3)障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲 人(3)自己理解と行動の調整 ・自分の障害の特性と学習や生活上における困難なこととの関連について理解し、自分の得意/苦手などに気づくことができる。 ・自分の障害の状態を理解したり、受容したりして、障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服しようとする意欲の向上を図ることができる。</p>	<p>・障害により学習や生活上における困難なことがあることを理解することができる。 ・自分の得意なこと、不得意なことに気づくことができる。 ・自分自身より良い行動を選択するために、今後やるべき事を言葉や文字で表現できる。</p>	<p>・「障害理解」に関する学習 ・「自己理解」に関する学習 ・生徒同士での話し合い活動を通し、自己理解、他者理解を促す。</p>	
		健康	<p>健(1)生活リズムや生活習慣の形成に関すること 健(5)健康状態の維持・改善に関すること ・生活リズムを整え日常生活における適切な健康の自己管理ができる。 ・社会生活に適した衛生習慣を身に付けることができる。 健(2)病気の状態の理解と生活管理に関すること ・自分の疾患などを理解し、正しく服薬、薬の管理をすることができる。</p>	<p>・健康のために生活リズムを整え、適切な運動習慣や食生活、薬の服薬の必要性を理解することができる。 ・健康的な生活に向けて自分に必要な自己管理は何かを考えることができる。 ・健康の保持に向け自己管理ができる。</p>	<p>・自分が行った活動をメモをとり、習慣付けを促す。 ・自ら目標を立て、活動を振り返る。 ・睡眠、健康観察、検温、身体の保清(歯磨き、洗顔、着替え、手洗い、消毒、他)、水分補給、運動、栄養バランス、服薬</p>	
		関係構築	<p>心(1)情緒の安定に関すること 人(3)自己理解と行動の調整に関すること ・自分の気持ちを相手に他者に適切に伝えることができる。 ・状況に応じた適切な行動を行うことができる。</p>	<p>・自分の行動を振り返り、思いや考えを適切な言葉で表現することができる。 ・表情や言葉、声の調子や大きさから相手の気持ちを考えるなど状況に応じたコミュニケーションの基礎作りに取り組む事ができる。</p>	<p>・トークンゲーム ・ソーシャルスキルトレーニング ・ロールプレイングゲーム ・アンガーマネジメント ・視覚の言語化 ・感情の言語化 ・その他</p>	
		コミュニケーション	<p>コ(5)状況に応じたコミュニケーションに関すること ・時と場に応じた話題や言葉遣い、言動ができる。 自分の思いや考えを言葉で表現し、状況に応じた会話を楽しむことができる。</p>	<p>・場や相手に応じて適切な話し方ができる。 ・自分の気持ちに合う適切な言葉で表現することができる。 ・活動内容などを分かりやすく要約し伝えることができる。(図解化ができる) ・見聞きしたことや調べたことを、会話の話題にすることができる。</p>	<p>・声のものさし ・トークンゲーム ・ソーシャルスキルトレーニング ・ロールプレイングゲーム ・視覚の言語化 ・感情の言語化 ・図解化</p>	
		生徒個々の課題に応じた活動	生徒個々の目標	目標達成したと見なされる姿	生徒個々に応じた活動 ・個人面談	

※自立活動の時間における指導計画は、個別に作成されることが基本であり、最初から集団で指導することを前提とするものではない。しかし本校の生徒の場合、2心理的な安定、3人間関係の形成、6コミュニケーションに関する項目に関して改善・克服を要する生徒が多く、その為には集団を構成して指導することが効果的だと考えられるため「生徒個々の自立活動の個別の指導計画」と合わせて、「学年(指導は学級単位)ごとの自立活動の年間指導計画」も作成し、実践・評価・改善を行う。

3年間を通しての目標	個々の児童又は生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達を基盤を培う。
------------	---

年間目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 健康の保持(健) :日常生活を行うために必要な健康状態の維持・改善を図ることができる。 2 心理的な安定(心) :自分の気持ちや情緒をコントロールして変化する状況に適切に対応するとともに、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服する意欲の向上を図り、自己のよさに気付くことができる。 3 人間関係の形成(人) :自他の理解を深め、対人関係を円滑にし、集団参加の基盤を身につけることができる。 4 環境の把握(環) :感覚を有効に活用し、空間や時間などの概念を手掛かりとして、周囲の状況を把握したり、環境と自己との関係を理解したりして、的確に判断し、行動できる。 5 身体の動き(身) :日常生活や作業に必要な基本動作を習得し、生活の中で適切な身体の動きができる。 6 コミュニケーション(コ) :場や相手に応じて、コミュニケーションを円滑に行うことができる。
------	--

学期	時数	単元・題材名	単元・題材の目標	単元・題材の評価規準	単元・題材の活動内容
----	----	--------	----------	------------	------------

年間を通して行う	35	【内訳】 1コマ×35週	身体面 プログラム (認知作業トレーニング)	身(1)姿勢と運動・動作の基本的技能に関すること 身(5)作業に必要な動作と円滑な遂行に関すること 環(1)保有感覚の活用に関すること 環(4)感覚を総合的に活用した周囲の状況についての把握tp状況 ・壮大運動や巧緻動作の不器用さの改善を図ることができる。 ・協調運動の向上を図り、適切な筋力調整、動作の予測ができる。	・自分の身体の動きや使い方、物をコントロールする力の調整ができる。 ・作業に必要な基本動作を習得し、その巧緻性や持続性の向上を図るとともに、作業を円滑に遂行する能力を高めることができる。	【コグトレ】 ・自分の身体トレーニング(力加減と動き) ・物と自分の身体トレーニング(物のコントロール、手指の動き) ・人の身体と自分の身体トレーニング(模倣、動作の言語化)
			学習面 プログラム (認知機能強化トレーニング)	環(5)認知や行動の手掛かりとなる概念の形成に関すること ・視覚、聴覚制の短期記憶の向上、文章理解の向上を図ることができる。 ・注意力、集中力、処理速度の向上を図ることができる。 ・視覚認知の基礎力(模写、形の把握)の向上を図ることができる。 ・視覚認知の応用力(形の恒常性)の向上を図ることができる。 ・方略、論理的思考、関係性理解、時間概念の向上を図ることができる。	・基礎学習の土台作り(記憶力、言語理解力、注意力、知覚、推論力、判断力など)に積極的に取り組む事ができる。	【コグトレ】 ・「覚える」トレーニング ・「数える」トレーニング ・「写す」トレーニング ・「見つける」トレーニング ・「想像する」トレーニング
			社会面 プログラム (認知ソーシャルトレーニング)	心(1)情緒の安定に関すること・対人関係のスキルの向上を図ることができる。 環(2)他者の意図や感情の理解に関すること 環(3)自己理解と行動の調整に関すること 環(4)集団への参加の基礎に関すること コ(5)状況に応じたコミュニケーションに関すること ・感情統制を図ることができる。 ・適切な自己評価ができる。 ・適切な対人マナーを習得し、円滑なコミュニケーションを図ることができる。	・自分で感情をコントロールし、「他者と適切な関わりを保つことができる。 ・思い付きや、思い込みで行う不適切な行動に気づき、改善することができる。 ・様々な状況での対人マナーを知り、活用することができる。	【コグトレ】 ・段階式感情トレーニング ・危険予知トレーニング ・対人マナートレーニング
スケジュール管理 活動の振り返り	心(2)状況の理解と変化への対応に関すること ・活動の内容、順序を理解し適切な行動を取ることができる。 ・状況の変化にも落ち着き対応することができる。 環(2)自己理解と行動の調整に関すること ・自分の評価と他者の評価が同じであることや違いがあることに気付くことができる。 環(3)自己理解と行動の調整に関すること ・自分の行動を振り返り、適切な行動かを確認、調整することができる。 コ(5)状況に応じたコミュニケーションに関すること ・自分の行動、思ったことや考えたことの要点をまとめ表現することができる。 ・伝えようとする側と受け取る側との人間関係や、そのときの状況を的確に把握できる。 ・場や相手の状況に応じて、主体的にコミュニケーションを展開できる。	・活動や行動について見直し、目標を持つことができる。 ・自分の行動を振り返り、より良い行動につなげることができる。 ・自分の行動を振り返り、授業や行事でのできごとで考えたこと、思ったこと、要点を相手に伝えるように文章で表現することができる。	・年間、月、週の行事を見直し、活動の内容を確認する。(OKTメモ、スケジュール帳の活用) ・1週間の振り返り(連絡帳)を行う。 ・各活動、学期の振り返り(キャリアパスポート)を行う。 ・活動の振り返りを行い、今後の活動改善につなげる。 ・タブレットで動画、写真を確認する活動を常に取り入れる。 ・生徒同士が伝え合う活動を、常に取り入れる。			
		自己理解・他者理解	健(4)障害の特性の理解と生活環境の調整に関すること 心(3)障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服する意欲 人(3)自己理解と行動の調整 ・自分の障害の特性と学習や生活上における困難なこととの関連について理解し、自分の得意/苦手なことにつづることができる。 ・自分の障害の状態を理解したり、受容したりして、障害による学習上又は生活上の困難を改善・克服しようとする意欲の向上を図ることができる。	・障害により学習や生活上における困難なことがあることを理解することができる。 ・自分の得意なこと、不得意なことにつづることができる。 ・自分自身より良い行動を選択できるために、今後やるべき事を言葉や文字で表現できる。	・「障害理解」に関する学習 ・「自己理解」に関する学習 ・生徒同士での話し合い活動を通して、自己理解、他者理解を促す。	

		生徒個々の課題に応じた活動	生徒個々の目標に関すること	目標達成したと見なされる姿	生徒個々に応じた活動 ・個人面談
--	--	---------------	---------------	---------------	---------------------

留意点 引継ぎ等	生徒の実態に応じた課題設定や目標設定、取り組むべき内容を検討してクラスごとや学年単位での活動を取り入れる。				
-------------	---	--	--	--	--